

消 防 年 報

平成28年版



弘前地区消防事務組合

平成29年8月発行

表 紙

弘前消防署梯子1号車（平成29年度 弘前消防署に配備）

旧弘前消防署梯子1号車は、平成6年3月に配備となったもので、23年を経過したことから今回更新を行ったものです。

当組合は平成25年7月に弘前、黒石、平川、板柳の4消防本部が統合し、管轄面積が広くなり、中高層建築物の数も増加しました。中高層建物火災の発生危険も高まってきたことから、大規模災害にも対応できるよう機能強化を図り、最新鋭のはしご車に更新配備したものであります。このはしご車は、40メートル直進式で、主な特徴は、はしごを利用した高所からの放水がこれまでは毎分500ℓでしたが、新しいはしご車は、従来の4倍、毎分2,000ℓの大量放水が可能となっております。また、救助活動や消火活動の際に隊員が乗り込んでのはしごを操作する「バスケット」の搭乗可能人数が2名から4名に倍増となっており、多数の要救助者を早期に救出することが可能となっております。

はじめに

平成25年7月1日に弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部が統合し、3市3町2村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)を管轄する新たな弘前地区消防事務組合としてスタートしました。

この年報は、弘前地区消防事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成28年中の消防業務等の実態を編集したものです。

当組合の消防行政について、地域住民の認識と理解を深めていただく一助となれば幸いです。

平成29年8月

弘前地区消防事務組合消防本部

目 次

1 総務	
弘前地区消防事務組合の沿革	1
弘前地区消防事務組合管内図 及び消防本部等配置図	2
組合関係市町村の 面積・人口・世帯数	2
弘前地区消防事務組合組織図	3
消防本部及び消防署の事務分掌	4
消防庁舎一覧表	10
消防職員階級別配置状況	11
消防職員階級別年齢調	12
消防職員階級別勤続年数調	13
職員の免許資格取得状況	14
職員研修等実施状況	15
平成29年度予算歳入歳出比較表	16
平成29年度関係市町村負担金状況／消防予算等の推移（5ヶ年間）	17
2 予防	
市町村別防火対象物の状況	18
防火対象物の階級別状況	19
予防査察の実施状況	20
防火管理者資格取得状況／防火管理者選任及び消防計画届出状況	21
訓練指導・講話・広報等状況／防災教育室利用状況	22
届出受付状況	23
平成28年度災害時要援護者防火防災診断実施状況	24
市町村別危険物施設の状況	25
危険物施設の状況／規模別危険物施設の状況	26
危険物施設の推移（5ヶ年間）／危険物関係各種届出・申請件数	27
危険物製造所等の処理状況	28
3 警防	
消防車両等の保有状況	29
車両配置状況	30
主要資機材配置状況	32
林野火災対策機材保有状況	33
消防水利状況（市町村別）／（所属別）	34
4 通信指令	
指令センターの機能について	36
通信設備状況	38
119番通報状況（月別）	39
119番通報状況（時間帯別）	40

1 1 9番通報件数の推移（5ヶ年間）／医療機関紹介状況（科目別・月別）／	
医療機関紹介状況（5ヶ年間）	4 1
5 火災	
平成28年における火災概要	4 2
火災の概況／火災の種別	4 3
住宅用火災警報器の普及	4 4
市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）	4 5
管内火災件数等の推移（5ヶ年間）	4 7
出火原因の状況	4 8
月別発生状況	4 9
市町村別、月別の火災件数／市町村別、曜日別の火災件数	5 0
市町村別、時間帯別の火災件数	5 1
覚知別火災件数	5 2
火災種別ごとの初期消火状況／初期消火の状況	5 3
6 救急	
救急業務の概況／署別救急出動件数の比較（対前年比）	5 4
救急出動件数の推移（5ヶ年間）／市町村別救急出動件数の比較（対前年比）	5 5
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員	5 6
署別、事故種別救急業務実施状況	5 7
事故種別救急出動件数／月別救急出動件数及び搬送人員	5 8
事故種別、覚知方法別出動件数／収容所要時間別、事故種別搬送人員	5 9
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員	6 0
傷病程度別搬送人員／年齢区分別搬送人員／発生場所別搬送人員	6 1
時間帯別救急出動件数／応急手当の普及啓発活動の状況	6 2
救急認定医療機関一覧表	6 3
津軽地域小児救急病院等一覧表	6 4
7 救助	
事故種別救助業務実施状況（対前年比）	6 5
8 消防団	
管内市町村消防団長	6 6
管内市町村消防副団長	6 7
管内市町村消防団車両配備状況	6 8
管内市町村階級別消防団員数	6 9
管内市町村在職年数別消防団員数／管内市町村年齢別消防団員数	7 0
管内市町村階級別消防団員年報酬／管内市町村消防団員出動手当	7 1
9 地域防災組織	
幼・少年消防クラブと婦人防火クラブ	7 2
平成28年度の活動状況（幼年消防クラブ／少年消防クラブ／婦人防火クラブ）	7 3
幼年消防クラブの状況	7 4
少年消防クラブの状況	7 6

婦人防火クラブの状況	77
弘前地区消防防災協会	78
弘前地区消防防災協会部会別・業種別構成	79
弘前地区消防防災協会役員事業所名簿	80
弘前地区消防防災協会事業	81
10 付録	
明治以降の主な火災	82
明治以降の主な災害（火災を除く）	84
歴代消防長等	87
旧弘前地区消防事務組合の沿革	95
旧黒石地区消防事務組合の沿革	99
旧平川市消防本部の沿革	100
旧板柳町消防本部の沿革	101

総務

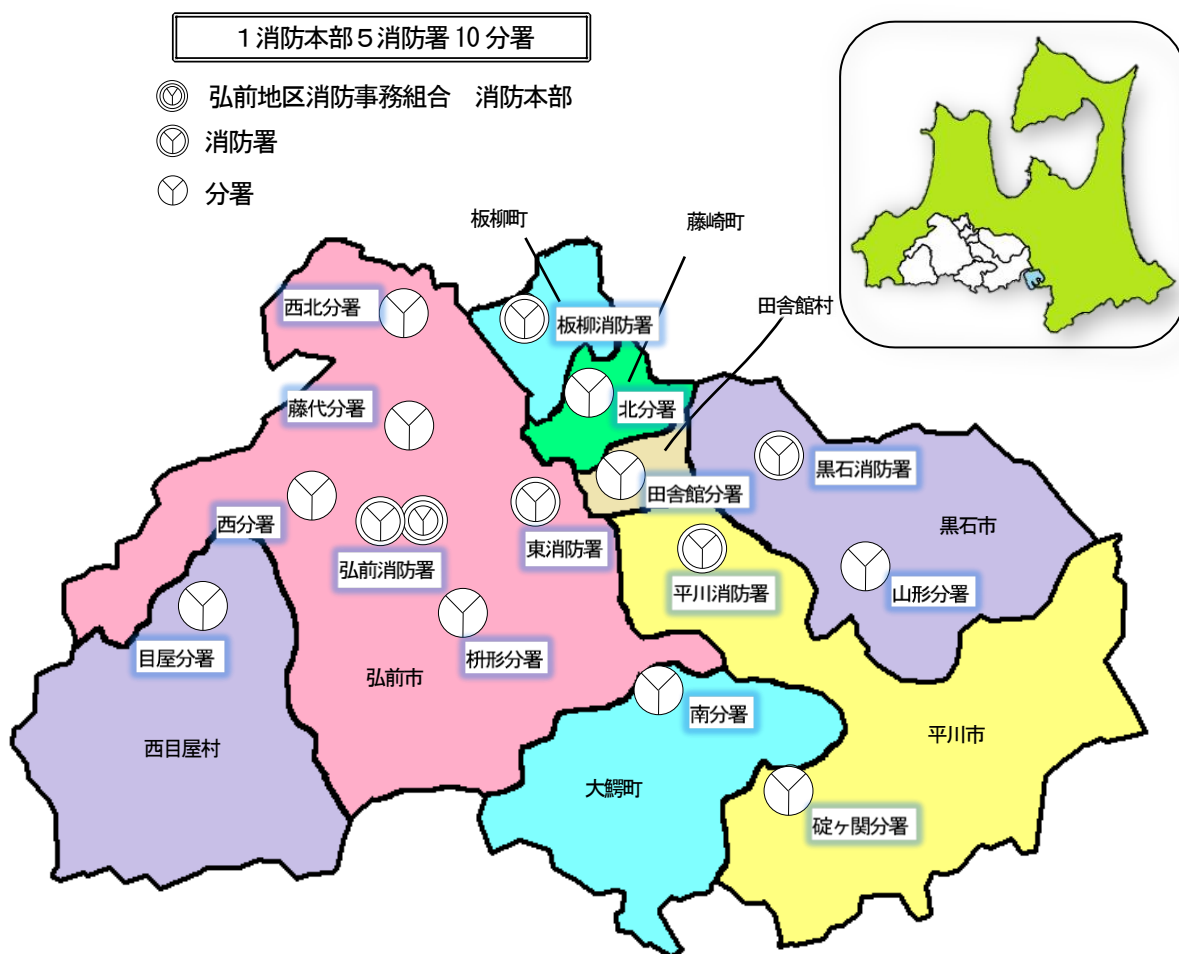


弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）

年 月	状 況
平成 25 年 7 月	<p>弘前地区消防事務組合に黒石地区消防事務組合、平川市消防本部、板柳町消防本部の 3 消防本部が統合、関係市町村が 3 市 3 町 2 村、職員定数が 476 名となった。</p> <p>消防署組織規程改正により、弘前消防署、東消防署、黒石消防署、平川消防署へ「予防調査係」を、板柳消防署へ「総務警防係」と「予防救急係」を設置した。「東消防署碓ヶ関分署」を「平川消防署碓ヶ関分署」へ、分署の「警防係」を「総務警防係」へ改め、目屋分署、西北分署、碓ヶ関分署へ「予防救急係」を置いた。</p> <p>黒石消防署に指揮隊車を配備</p>
平成 26 年 3 月	弘前地区消防事務組合マスコットキャラクターが「消防犬 火けしくん」に決定
4 月	消防本部組織規則改正により人材育成課を新設し、「人事係」と「研修厚生係」を設け、消防本部 5 課制とした。
5 月	東消防署新消防庁舎での業務開始
12 月	北分署新消防庁舎での業務開始（平成 26 年 12 月 1 日全面供用開始）
	東消防署、平川消防署に指揮隊車を配備
平成 27 年 3 月	東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を枳形分署から異動更新配備
4 月	東消防署に防災教育室を開設し、全面供用開始
10 月	高機能消防指令センター運用開始
	消防本部組織規則改正により「通信指令課 通信係」を「通信指令課 通信統制係」、「通信指令課 情報管理係」、「通信指令課 システム管理係」に改めた。
平成 28 年 3 月	黒石消防署に資機材搬送車を東消防署から異動配備
	東消防署に重機及び重機搬送車を配備（国有財産等無償使用）

弘前地区消防事務組合管内図及び消防本部等配置図

(平成29年4月1日現在)



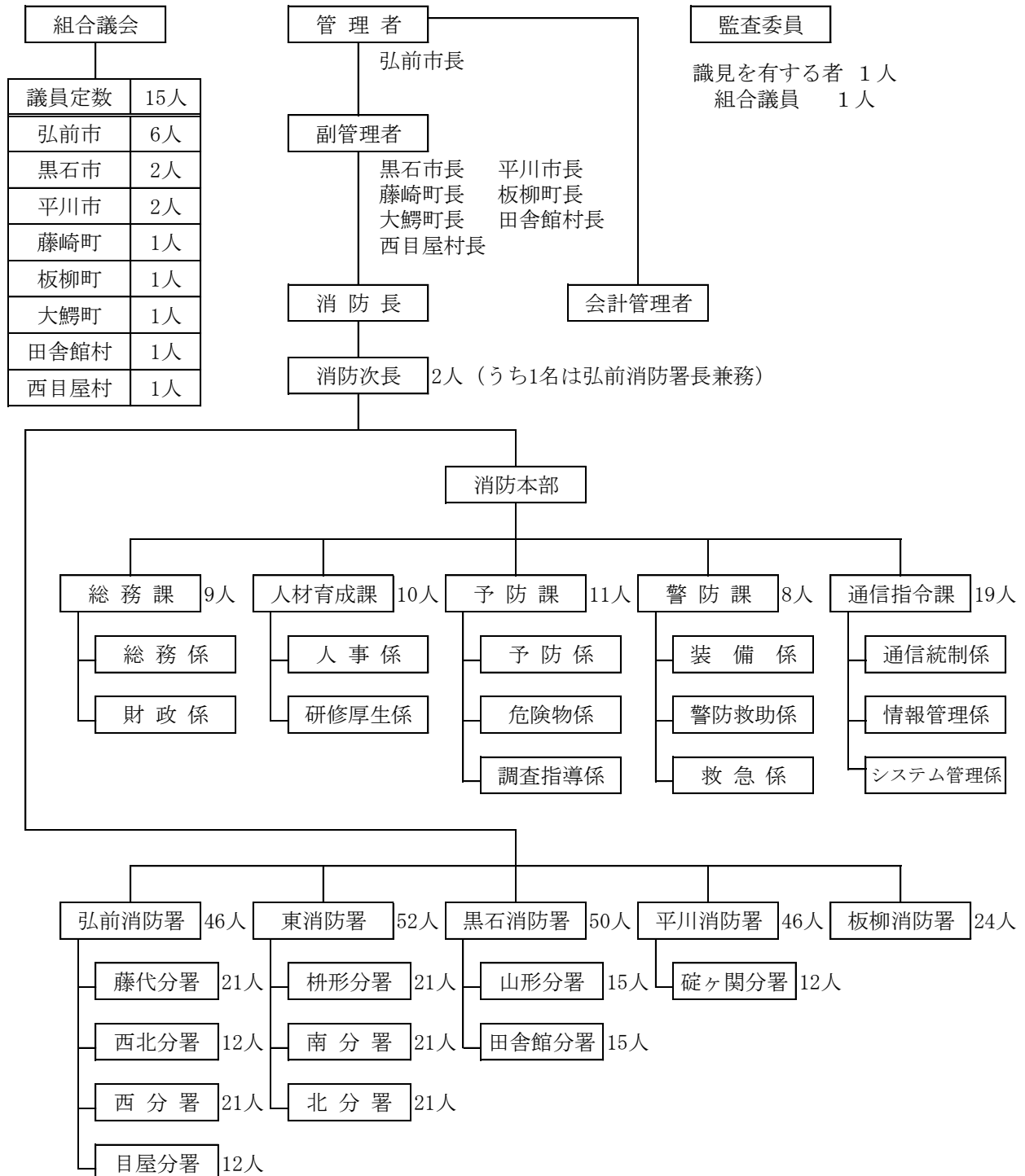
組合関係市町村の面積・人口・世帯数

(平成29年3月31日 住民基本台帳調)

市町村	区分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
合 計		1598.23	289,117	115,467
弘 前 市		524.20	174,190	71,154
黒 石 市		217.05	34,341	13,638
平 川 市		346.01	31,908	11,804
藤 崎 町		37.29	15,230	5,911
板 柳 町		41.88	14,079	5,464
大 鰐 町		163.43	9,984	4,248
田 舎 館 村		22.35	8,027	2,721
西 目 屋 村		246.02	1,358	527

弘前地区消防事務組合組織図

(平成29年4月1日現在)



※職員数は、平成29年4月1日現在の配置人員。

消防本部及び消防署の事務分掌

消防本部の事務分掌

総務課

総務係

- 1 消防本部の企画調整、その他重要事項の調査研究に関する事。
- 2 儀式及び行事に関する事。
- 3 物品等の調達に関する事。
- 4 庁舎建設、工事、修繕及び委託契約等に関する事。
- 5 請負契約及び物品の購入に関する事。
- 6 議会に関する事。
- 7 監査に関する事。
- 8 所属長の招集及び会議に関する事。
- 9 消防署の所管に属しない事務に関する事。
- 10 消防長会に関する事。
- 11 行政文書の開示に係る事務に関する事。
- 12 公印の管理に関する事。
- 13 文書の収発、保存及び廃棄に関する事。
- 14 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 15 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 16 消防本部各課に係る事務の連絡調整、消防長の事務補助その他消防本部内の他課の所管に属しない事務に関する事。
- 17 ホームページに関する事。
- 18 広聴及び広報の統括に関する事。
- 19 広聴及び広報に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 20 その他総務に関する事。

財政係

- 1 財産の管理の統括に関する事。
- 2 予算、決算及び経理に関する事。
- 3 決算統計に関する事。
- 4 起債及び一時借入金の申請、借入及び償還に関する事。
- 5 消防施設の建設計画及び維持管理に関する事。
- 6 財政計画に関する事。
- 7 基金の統括管理に関する事。
- 8 公有財産の管理及び調整に関する事。
- 9 月例現金出納検査に関する事。
- 10 その他財政に関する事。

人材育成課

人事係

- 1 消防本部の組織、その他重要事項の調査研究に関する事。
- 2 人事に関する事。
- 3 職員の採用試験に関する事。
- 4 表彰、叙勲等に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 5 人事記録に関する事。
- 6 人事評価に関する事。
- 7 職員の昇任試験並びに任免、分限、懲戒に関する事。
- 8 職員の交通事故、違反等及び不祥事に関する事並びに懲戒審査委員会に関する事。
- 9 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する事。
- 10 職員の服務及び規律に関する事。
- 11 広聴及び広報に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 12 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 13 その他人材育成業務に関する事。

研修厚生係

- 1 消防職員委員会に関する事。
- 2 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する事。
- 3 職員の研修企画及び研修派遣に関する事。
- 4 職員の保健、衛生、安全、元氣回復及び厚生福利に関する事。
- 5 共済組合事務に関する事。
- 6 職員の公務災害補償等に関する事。
- 7 被服等の貸与、給与に関する事。
- 8 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 9 職員の意見発表に関する事。
- 10 その他研修厚生に関する事。

予防課

予防係

- 1 予防業務の企画及び調査研究に関する事。
- 2 建築確認等の同意事務に関する事。
- 3 消防用設備等の着工及び設置の届出に関する事。
- 4 防火管理及び防災管理に関する事。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 6 防火対象物点検及び防災管理点検の特例認定に関する事。
- 7 防火対象物工事等計画の指導に関する事。
- 8 その他予防業務に関する事。

危険物係

- 1 危険物施設の検査、査察及び指導に関すること。
- 2 危険物施設の申請書等の受理、審査及び指導に関すること。
- 3 危険物施設の検査手数料等に関すること。
- 4 危険物施設に係る調査、統計及び報告に関すること。
- 5 危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
- 6 防災協会に関すること。
- 7 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
- 8 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関することを除く。)
- 9 その他危険物業務に関すること。

調査指導係

- 1 立入検査及び違反処理に関すること。
- 2 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 3 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関することを除く。)
- 4 火災統計、報告に関すること。
- 5 防火基準適合表示の審査、指導に関すること。
- 6 指定催しの計画、指導に関すること。
- 7 証明事務に関すること。
- 8 防火クラブ等に関すること。
- 9 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
- 10 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関することを除く。)
- 11 その他調査指導業務に関すること。

警防課

警防救助係

- 1 警防救助業務の基本方針及び調査研究に関すること。
- 2 警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 3 消防協力者表彰に関すること。
- 4 消防警戒区域立入許可証の交付等に関すること。
- 5 消防相互応援協定及び受援計画に関すること。
- 6 国民保護計画、地域防災計画、水防計画に関すること。
- 7 消防団との連絡調整に関すること。
- 8 救助業務計画に関すること。
- 9 緊急消防援助隊に関すること。
- 10 警防救助に係る統計に関すること。
- 11 災害の指揮及び警防本部に関すること。
- 12 災害時の記録編纂に関すること。

- 13 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 14 その他警防救助業務に関すること。

救急係

- 1 救急業務の基本方針及び調査研究に関すること。
- 2 救急業務計画に関すること。
- 3 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関すること。
- 4 救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 5 応急手当の普及に関すること。
- 6 救急に係る統計に関すること。
- 7 救急車両に係る国庫補助の申請に関すること。
- 8 メディカルコントロール協議会に関すること。
- 9 搬送等証明書の指導、助言に関すること。
- 10 救急活動記録票の検証に関すること。
- 11 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 12 その他救急業務に関すること。

装備係

- 1 自動車及び消防機関器具の整備計画に関すること。
- 2 自動車の運転管理及び安全管理に関すること。
- 3 消防年報に関すること。
- 4 消防水利に関すること。
- 5 公用車の事故調査及び処理に関すること。
- 6 消防車両に係る国庫補助の申請に関すること。
- 7 開発行為に係る協議に関すること。
- 8 消防力の整備指針に関すること。
- 9 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 10 その他消防装備に関すること。

通信指令課

通信統制係

- 1 通信業務の基本方針及び調査研究に関すること。
- 2 出動指令業務に関すること。
- 3 通信施設の調査研究及び整備計画に関すること。
- 4 各種報告に関すること。
- 5 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 6 その他通信統制に関すること。

情報管理係

- 1 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 2 火災警報の発令及び解除に関すること。

- 3 気象情報に関すること。
- 4 情報セキュリティ対策に関すること。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。（他課が所掌する事務に関するものを除く。）
- 6 広聴及び広報に関すること。（他課が所掌する事務に関するものを除く。）
- 7 その他情報管理に関すること。

システム管理係

- 1 通信訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 2 通信施設の維持管理に関すること。
- 3 情報通信ネットワーク及びコンピューター機器等の維持管理に関すること。
- 4 その他システム管理に関すること。

消防署の事務分掌

総務第一係、総務第二係（板柳消防署を除く）

- 1 文書の收受、発送及び整理保管に関する事項
- 2 公印の保管に関する事項
- 3 職員の教養及び服務に関する事項
- 4 庁舎管理及び環境整備に関する事項
- 5 時間外勤務手当、特殊勤務手当及び管内旅行命令に関する事項
- 6 消防隊の編成、通信勤務及び非常召集に関する事項
- 7 他の係に属さない事項

警防救助第一係、警防救助第二係（板柳消防署を除く）

- 1 職員の訓練及び安全管理に関する事項
- 2 消防水利の保全、管理及び地理に関する事項
- 3 車両及び車両積載器具等の保全整備及び取扱い指導に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 現場指揮に関する事項
- 6 救助業務及び救助技術に関する事項
- 7 その他警防、救助に関する事項

救急第一係、救急第二係（板柳消防署を除く）

- 1 救急業務に関する事項
- 2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
- 3 救急技術の訓練及び指導に関する事項
- 4 救急記録及び統計に関する事項
- 5 救急資器材の滅菌及び汚物の処理に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項
- 7 その他救急に関する事項

予防第一係、予防第二係（板柳消防署を除く）

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 火災予防の指導、広報及び宣伝に関する事項

- 3 消防訓練に関する事項
- 4 消防用設備等の点検報告に関する事項
- 5 予防関係の証明に関する事項
- 6 その他予防に関する事項

調査指導第一係、調査指導第二係（板柳消防署を除く）

- 1 火災調査に関する事項
- 2 火災の証明に関する事項
- 3 火災予防条例の届出等に関する事項
- 4 防火対象物の違反処理に関する事項
- 5 その他調査指導に関する事項

総務警防第一係、総務警防第二係（板柳消防署のみ）

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第一係、予防救急第二係（板柳消防署のみ）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 避難訓練その他訓練指導に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 り災証明書の交付に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項
- 7 その他予防、救急に関する事項

分署の事務分掌

総務警防第一係、総務警防第二係

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第一係、予防救急第二係

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

消防庁舎一覽表

(平成29年4月1日現在)

名称	所在地	電話番号	面積 (㎡)		構造	竣工年月
			敷地面積	延面積		
消防本部	弘前市大字本町2番地1	(代)0172(32)5101	2,274.69	3,819.44	SRC造 地下1階 地上4階 塔屋1階	H13.3
弘前消防署		0172(32)5199				
弘前消防署 藤代分署	弘前市大字浜の町東 三丁目1番地11	0172(34)1317	704.63	218.70	鉄骨造 平屋建	S63.12
弘前消防署 西北分署	弘前市大字小友字神原 371番地2	0172(93)3310	989.52	495.00	鉄骨造一部2階建	S56.12
弘前消防署 西分署	弘前市大字鳥井野字宮本 301番地2	0172(82)3311	(5,012.07)	626.73	鉄骨造 平屋建	H24.3
弘前消防署 目屋分署	中津軽郡西目屋村大字 田代字神田56番地	0172(85)3119	(1,854.58)	354.24	鉄骨一部木造 一部 2階建	H11.3
				(136.54)		
東消防署	弘前市大字城東中央 五丁目6番地11	0172(27)1151	3,081.15	2018.19	鉄骨造 4階建	H26.12
東消防署 柞形分署	弘前市大字豊原一丁目 3番地9	0172(33)4311	394.11	380.54	鉄骨造 一部2階建	H3.2
東消防署 南分署	南津軽郡大鰐町大字蔵館 字金坂57番地1	0172(48)2108	1,668.24	408.50	木造一部鉄骨造 平 屋建	S61.3
東消防署 北分署	南津軽郡藤崎町大字藤崎 字中豊田7番地3	0172(75)3333	(2,686.16)	(626.68)	鉄骨造 平屋建	H26.12
黒石消防署	黒石市追子野木一丁目 576番地	0172(53)1000	(6,904.93)	(2,958.83)	SRC造 2階建	H7.6
黒石消防署 山形分署	黒石市大字上山形字村岸 9番地2	0172(54)8330	(1,359.67)	(291.00)	鉄骨造 平屋建	S55.12
黒石消防署 田舎館分署	南津軽郡田舎館村大字 八反田字古館206番地1	0172(58)2962	(1,156.50)	(417.81)	鉄骨造 平屋建	H7.11
平川消防署	平川市平田森前田 331番地	0172(44)3122	(5,554.00)	(1,807.00)	鉄骨造 2階建	H2.2
平川消防署 碓ヶ関分署	平川市碓ヶ関鯨森 67番地2	0172(45)2240	(1,009.13)	(423.63)	鉄骨造 一部2階建	S55.9
板柳消防署	北津軽郡板柳町大字 灰沼字岩井70番地	0172(73)2339	(2,627.00)	(882.13)	鉄骨造 2階建	S50.12

※建築面積は庁舎のみ。()は、所在市町村所有である。

消防職員階級別配置状況

(平成29年4月1日現在)

階級 所属	現員	消 防 吏 員							
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	448(17)	1	5	10	66	105(1)	140(4)	59(4)	62(8)
消防本部	59(2)	1	1	5	12	21(1)	18(1)	1	
総務課	11	1	1	1	2	4	2		
人材育成課	10(1)			1	2	3(1)	4		
予防課	11(1)			1	2	5	2(1)	1	
警防課	8			1	2	3	2		
通信指令課	19			1	4	6	8		
弘前消防署管轄	112(5)		1	1	16	26	36(2)	16	16(3)
弘前消防署	46(3)		1	1	8	10	16(1)	4	6(2)
藤代分署	21				2	4	6	5	4
西北分署	12				2	4	4	1	1
西分署	21(2)				2	4	6(1)	5	4(1)
目屋分署	12				2	4	4	1	1
東消防署管轄	115(4)		1	1	14	22	34	21(2)	22(2)
東消防署	52(2)		1	1	8	10	16	6(1)	10(1)
柘形分署	21				2	4	6	5	4
南分署	21				2	4	6	5	4
北分署	21(2)				2	4	6	5(1)	4(1)
黒石消防署管轄	80(3)		1	1	12	18	24(1)	11	13(2)
黒石消防署	50(3)		1	1	8	10	16(1)	6	8(2)
山形分署	15				2	4	4	3	2
田舎館分署	15				2	4	4	2	3
平川消防署管轄	58(3)		1	1	10	14	20	5(2)	7(1)
平川消防署	46(3)		1	1	8	10	16	4(2)	6(1)
碓ヶ関分署	12				2	4	4	1	1
板柳消防署	24			1	2	4	8	5	4

() については、女性消防吏員

消防職員階級別年齢調

(平成29年4月1日現在)

区分 年齢	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	448	1	5	10	66	105	140	59	62
18 歳	1								1
19 "	6								6
20 "	6								6
21 "	16								16
22 "	2								2
23 "	9								9
24 "	16							8	8
25 "	13							10	3
26 "	6							2	4
27 "	22						4	15	3
28 "	11						2	7	2
29 "	15						10	5	
30 "	11						6	4	1
31 "	21						16	4	1
32 "	8						8		
33 "	7						6	1	
34 "	3						3		
35 "	11						11		
36 "	8						8		
37 "	11					1	10		
38 "	12					2	10		
39 "	13					5	8		
40 "	16					6	10		
41 "	21					7	14		
42 "	19					12	6	1	
43 "	23					19	4		
44 "	15				3	10	2		
45 "	15				4	10	1		
46 "	20				4	15	1		
47 "	4				2	2			
48 "	6				3	3			
49 "	13				7	6			
50 "	7				6	1			
51 "	2				1	1			
52 "	7			1	4	2			
53 "	8			1	7				
54 "	3			1	1	1			
55 "	5		1		4				
56 "	11		1	2	8				
57 "	7			3	4				
58 "	9		1	2	3	2		1	
59 "	9	1	2		5			1	
平均年齢	38.0	59.0	57.4	55.8	51.9	44.2	35.7	28.4	22.7

消防職員階級別勤続年数調

(平成29年4月1日現在)

年 齢	区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		448	1	5	10	66	105	140	59	62
1	年 未 満	11								11
1	年 以 上 2 年 未 満	11								11
2	年 " 3 年 "	10								10
3	年 " 4 年 "	30								30
4	年 " 5 年 "									
5	年 " 6 年 "	15							15	
6	年 " 7 年 "	25						2	23	
7	年 " 8 年 "	24						12	12	
8	年 " 9 年 "	7						4	3	
9	年 " 10 年 "	24						21	3	
10	年 " 11 年 "	4						4		
11	年 " 12 年 "	14						14		
12	年 " 13 年 "									
13	年 " 14 年 "	8						8		
14	年 " 15 年 "	4						4		
15	年 " 16 年 "	10					1	9		
16	年 " 17 年 "	2						2		
17	年 " 18 年 "	13					2	11		
18	年 " 19 年 "	6					3	3		
19	年 " 20 年 "	4						4		
20	年 " 21 年 "	18				1	7	10		
21	年 " 22 年 "	19					11	8		
22	年 " 23 年 "	32				1	18	13		
23	年 " 24 年 "	18				2	7	8	1	
24	年 " 25 年 "	18				2	15	1		
25	年 " 26 年 "	19				2	16	1		
26	年 " 27 年 "	17				6	11			
27	年 " 28 年 "	10				4	5	1		
28	年 " 29 年 "	4				2	2			
29	年 " 30 年 "	4				3	1			
30	年 " 31 年 "	4			1	3				
31	年 " 32 年 "	8				6	2			
32	年 " 33 年 "	14		1	2	8	3			
33	年 " 34 年 "	4		1	1	1	1			
34	年 " 35 年 "	5			2	3				
35	年 " 36 年 "	2				2				
36	年 " 37 年 "	5			1	3			1	
37	年 " 38 年 "	13		1	1	11				
38	年 " 39 年 "	8	1		1	5			1	
39	年 以 上	4		2	1	1				
平 均 年 数		17.3	38.0	36.1	34.5	31.4	23.5	17.7	6.6	1.9

職員の免許資格取得状況

(平成29年4月1日現在)

免許別		階級別	計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
機械 運転・ 操作・ 整備 関係	大型自動車		288		3	5	55	91	109	25	
	中型自動車		91			1	2	5	45	38	
	中型自動車 8 t 限定		286	1	5	9	64	100	95	9	3
	準中型自動車										
	準中型自動車 5 t 限定		162			1	2	5	45	50	59
	大型特殊自動車		64			2	9	16	26	10	1
	けん引						1	1	1		
	自動二輪車 (大 型)		33				7	8	12	4	2
	自動二輪車 (中 型)		128		3	2	23	31	43	16	10
	三級整備士 (シヤシ)		2					1		1	
	玉掛技能		154		1	4	29	52	65	3	
	移動式クレーン運転業務					3	28	54	69	3	
	クレーン運転業務特別教育講習		4				1	1	2		
	小型船舶操縦士 (1 級)		2				1	1			
	小型船舶操縦士 (2 級)		47			3	9	23	12		
車両系建設機械 (整地等)		34				7	6	17	4		
車両系建設機械 (解 体)		25				4	5	14	2		
通信 関係	第一級陸上特殊無線技士		1					1			
	第二級陸上特殊無線技士		296	1	2	9	61	92	121	7	3
	第三級陸上特殊無線技士		127					9	19	52	47
	第三級アマチュア無線技士		1					1			
	第四級アマチュア無線技士		9				3	4	2		
予防 関係	予防技術資格者 (防火査察専門員)		56		1	1	4	16	24	10	
	予防技術資格者 (消防用設備等専門員)		17		1	1	1	7	7		
	予防技術資格者 (危険物専門員)		11		1		3	4	3		
	危険物取扱者 (甲)		1					1			
	危険物取扱者 (乙 三)		8					2	3	1	2
	危険物取扱者 (乙 四)		67		2		7	13	20	10	15
	危険物取扱者 (丙)		26				6	11	3	3	3
	消防設備士 (甲 四)		2					1			1
消防設備士 (乙 六)		12				2	5	1	3	1	
消防設備士 (乙 七)		1			1						
救急 関係	救急救命士		99			1	20	33	34	5	6
	気管挿管認定救命士		94			1	20	33	34	5	1
	薬剤投与認定救命士		91			1	16	33	34	5	2
	処置拡大 2 行為		85				11	33	34	5	2
	救急標準課程又は救急科		316				12	77	131	52	44
	救急 I 課程		103	1	4	9	52	33	2	2	
	救急 II 課程		100		5	10	53	28	2	2	
	応急手当指導員		394		2	5	61	101	138	58	29
そ の 他	潜水士		34			1	4	8	13	6	2
	第二種酸素欠乏危険作業主任者		129		1	3	20	46	54	5	
	特定化学物質等作業主任者		68				20	32	16		
	衛生管理者		9			1	2	4	1	1	
	ガス溶接技能		97			3	20	38	31	4	1
	電気工事士 (二 種)		8			1	1	2	1	1	2
	ボイラー技士 (二 級)		10				3	2	3	2	
建 築 士 (二 級)		2				2					
火薬取扱保安責任者		2				1		1			

職員研修等実施状況

(平成29年4月1日現在)

学校教育

課題		対象	回数	期間	人員
消防大学校	緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	消防司令	2	H28.4.10 ~ H28.4.21	1
				H28.5.8 ~ H28.5.19	1
	緊急消防援助隊教育科 NBCコース	消防司令補	1	H29.2.26 ~ H29.3.17	1
	幹部科	消防司令	1	H28.8.21 ~ H28.10.7	1
	火災調査科	消防司令補	1	H28.6.7 ~ H28.7.27	1
	予防科	消防司令補	1	H29.1.15 ~ H29.3.3	1
	救急科	消防司令補	1	H28.9.5 ~ H28.10.7	1
県消防学校	危機管理防災教育科 危機管理・国民保護コース	消防司令	1	H28.6.1 ~ H28.6.8	1
	危機管理防災教育科 女性消防吏員活躍推進講習会	消防司令補	1	H28.12.14 ~ H28.12.21	1
	初任科	消防士	1	H28.4.6 ~ H28.9.27	11
	救助科	消防士長	1	H28.9.29 ~ H28.10.27	3
	救急科	消防士	1	H29.1.5 ~ H29.3.2	9
	警防科	消防司令・消防司令補	1	H28.11.7 ~ H28.11.18	5
中級幹部科	消防司令・消防司令補	1	H28.11.21 ~ H28.11.30	5	
火災調査科	消防司令・消防司令補	1	H29.3.6 ~ H29.3.17	5	

研修

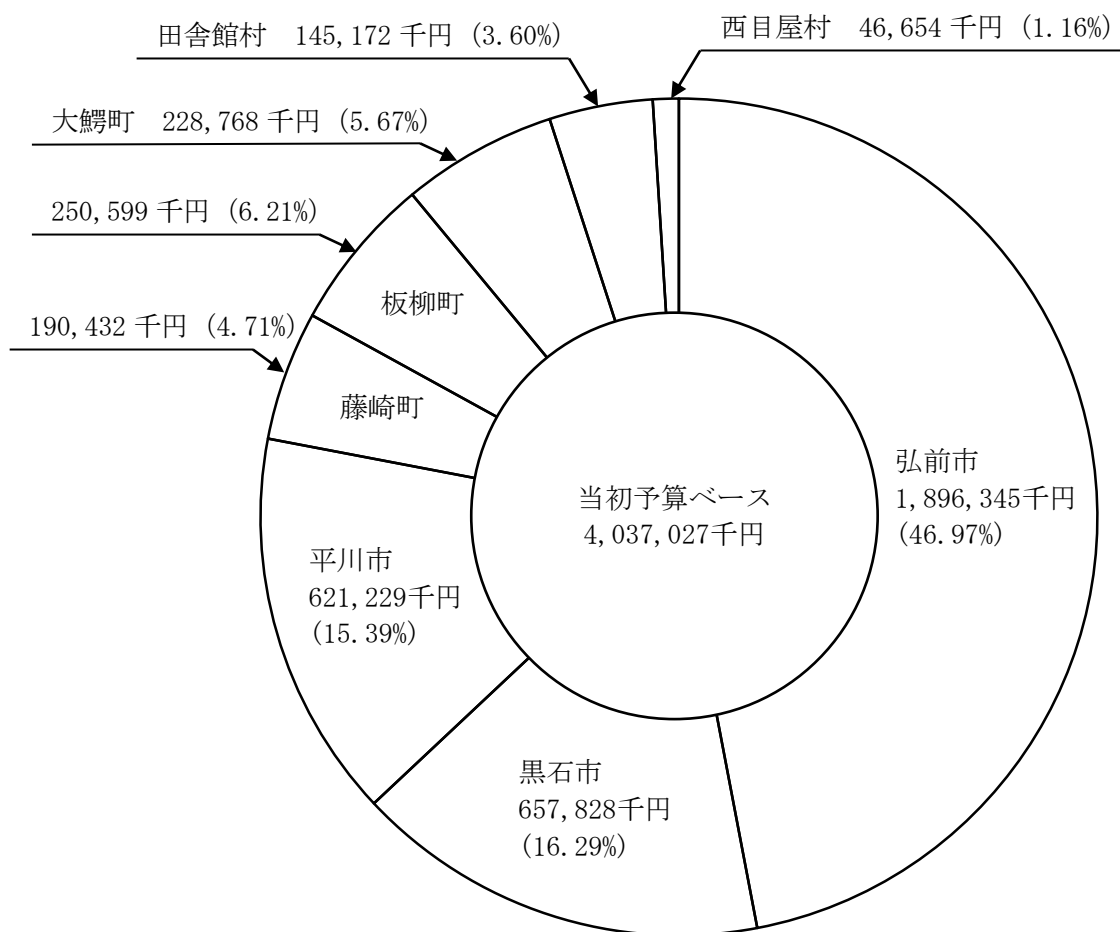
課題		対象	回数	期間	人員
研修 弘前市	組織のメンタルヘルス研修	消防監～消防司令	1	H28.12.20	22
	法制執務研修	消防司令補・消防士長	1	H29.1.13	5
	ハラスメント防止研修	消防司令・消防司令補	1	H29.1.16	10
研修所 東北自治	OJT指導者養成研修	消防司令補	1	H28.5.25 ~ H28.5.27	1
	JKET指導者養成研修	消防司令補	1	H28.6.21 ~ H28.6.24	1
	研修講師養成研修	消防司令	1	H28.5.12 ~ H28.5.13	1
	管理者研修(危機管理コース)	消防司令	1	H28.11.16 ~ H28.11.18	1
	管理者研修(マスメディア対応コース)	消防司令	1	H29.1.19 ~ H29.1.20	1
消防大学校特別講習会	消防司令補	1	H28.7.6 ~ H28.7.7	4	
海上自衛隊大湊水中処分隊 合同潜水研修	潜水士	1	H28.11.29 ~ H28.12.3	2	
横浜市消防局査察課実務研修	消防司令補	1	H28.6.19 ~ H28.7.1	1	
調査技術会議研修会	消防司令補	1	H28.9.21	1	
全国消防協会東北地区支部予防・広報講習会	消防司令補	1	H28.11.17 ~ H28.11.18	2	
消防・救急緊急自動車運転技能者講習	消防副士長	1	H28.12.10 ~ H28.12.14	1	
危険物保安技術講習会	消防士長	1	H28.7.7 ~ H28.7.8	1	
救急実務講習会	消防司令補・消防士長	1	H28.10.19 ~ H28.10.20	2	
消防財政実務研修会	消防司令補・消防士長	1	H28.8.11	2	
全国消防長会東北支部消防長研修会	消防正監	1	H28.11.24 ~ H28.11.25	1	
全国消防長会東北支部消防署長研修会	消防監	1	H28.8.18 ~ H28.8.19	1	
全国消防長会東北支部警防実務研究会	消防司令	1	H28.10.17 ~ H28.10.18	2	
救急救命東京研修所 救急救命士養成課程	救急救命士	救急救命士	2	H28.4.3 ~ H28.9.30	3
			H28.8.31 ~ H29.3.13		
救急医療業務実地講習	救急救命士	1	H29.2.5 ~ H29.2.10	1	
救急救命士気管挿管病院実習	救急救命士	1	H28.12~H29.3 (30症例)	4	
救急救命士生涯教育	救急救命士	1	H28.11~H29.3 (4日間)	79	

平成 29 年度 予算歳入歳出比較表

(単位：千円)

区 分		本年度予算		前年度予算		比較 (A - B)
		金額(A)	構成比%	金額(B)	構成比%	
歳 入	1 分担金及び負担金	4,037,027	96.1	3,858,615	90.2	178,412
	2 使用料及び手数料	2,010	0.1	2,010	0.1	0
	3 財産収入	28	0.0	149	0.0	△121
	4 繰入金	120,000	2.9	110,001	2.6	9,999
	5 繰越金	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	6 諸収入	13,337	0.3	13,199	0.3	138
	7 組合債	26,500	0.6	291,200	6.8	△264,700
	合 計	4,199,902	100.0	4,276,174	100.0	△76,272
歳 出	1 議会費	2,866	0.1	1,117	0.0	1,749
	2 総務費	419	0.0	419	0.0	0
	3 消防費	3,773,096	89.8	3,933,566	92.0	△160,470
	4 公債費	342,721	8.2	259,955	6.1	82,766
	5 基金積立金	79,800	1.9	80,117	1.9	△317
	6 予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,199,902	100.0	4,276,174	100.0	△76,272
性 質 別 歳 出	人件費	3,312,566	78.9	3,284,786	76.8	27,780
	物件費	292,375	7.0	241,052	5.6	51,323
	維持補修費	4,531	0.1	3,081	0.1	1,450
	扶助費	48,135	1.1	49,350	1.1	△1,215
	補助費等	19,971	0.5	16,746	0.4	3,225
	普通建設事業費	98,803	2.3	340,087	8.0	△241,284
	公債費	342,721	8.2	259,955	6.1	82,766
	積立金	79,800	1.9	80,117	1.9	△317
	予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,199,902	100.0	4,276,174	100.0	△76,272

平成29年度 関係市町村負担金状況



消防予算等の推移 (5ヶ年間)

年 度	消防予算 (千円)	一世帯当り (円)	住民一人当り (円)
25	2,956,623	33,084	13,971
26	6,056,273	49,433	20,271
27	4,662,505	37,961	15,785
28	4,276,174	34,691	14,646
29	4,199,902	36,373	14,526

※25年度は、統合前の弘前地区消防事務組合の数値。

予 防



市町村別防火対象物の状況

(平成29年3月31日現在)

用途別		市町村別	合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西
			計	前	石	川	崎	柳	鰐	舎	目
				市	市	市	町	町	町	館	屋
				村						村	村
合計			9,760	6,534	1,122	774	411	364	299	191	65
1	イ	劇場・映画館等	17	8	3	2	3			1	
	ロ	公会堂・集会場	370	168	44	58	26	26	20	23	5
2	イ	キャバレー等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	30	21	4		2	2	1		
	ハ	性風俗関連店舗	0								
	ニ	カラオケボックス等	5	5							
3	イ	待合・料理店等	3	1	2						
	ロ	飲食店	243	178	38	8	3	9	5	2	
4		百貨店・マーケット等	415	275	57	24	17	25	10	7	
5	イ	旅館・ホテル	242	102	59	19		9	29	12	12
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	2,562	2,191	167	90	49	34	17	11	3
6	イ	病院・診療所等	239	168	27	17	9	10	6	2	
	ロ	老人福祉施設等	223	137	28	17	11	12	7	9	2
	ハ	デイサービス等	340	214	38	26	17	14	21	9	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	26	18	5	2	1				
7		小・中・高・大・各種学校等	319	227	25	32	17	11	3	2	2
8		図書館・博物館等	15	6	3	1	1	2		2	
9	イ	蒸気浴場等	0								
	ロ	公衆浴場等	38	17	3	13	1	1			3
10		車両の停車場	0								
11		神社・寺院・教会等	188	119	25	12	12	7	10	3	
12	イ	工場・作業場	1,034	550	163	119	53	42	43	58	6
	ロ	スタジオ等	0								
13	イ	自動車庫庫・駐車場	163	90	22	24	9	8	6	3	1
	ロ	特殊格納庫	0								
14		倉庫	1,290	741	152	144	116	75	37	18	7
15		前各項に該当しない事業所	928	558	130	96	35	31	46	18	14
16	イ	特定を含む複合用途	651	448	70	51	18	26	24	9	5
	ロ	非特定の複合用途	360	238	53	18	11	20	14	2	4
16の2		地下街	0								
16の3		準地下街	0								
17		文化財	59	54	4	1					
18		アーケード	0								

※ 1 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。

2 単位：棟数

防火対象物の階数別状況

(平成29年3月31日現在)

用途別	階数別	対 象 物 数	階数別対象物数																		
			地 階 の み	1 ～ 2 階	3 階	計	中高層建築物														
							4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階			
合 計		9,760	1	8,603	755	401(26)	225	75	34	18	9(3)	8(4)	10(2)	9(4)	3(3)	2(2)	4(4)	4(4)			
1	イ 劇場・映画館等	17		14	3	0															
	ロ 公会堂・集会場	370		362	6	2	1	1													
2	イ キャバレー等	0				0															
	ロ 遊技場・ダンスホール	30		25	3	2	1	1													
	ハ 性風俗関連店舗	0				0															
	ニ カラオケボックス等	5		5		0															
3	イ 待合・料理店等	3		2	1	0															
	ロ 飲食店	243		220	11	12	5	6	1												
4	百貨店・マーケット等	415		393	20	2	2														
5	イ 旅館・ホテル等	242		198	19	25(4)	7	5	1	3	2	3(2)	2		1(1)		1(1)				
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	2,562		2,197	199	166(11)	104	26	6	3	3	3(1)	6	8(3)	1(1)	1(1)	2(2)	3(3)			
6	イ 病院・診療所等	239		186	23	30(1)	13	8	7	1		1(1)									
	ロ 老人福祉施設等	223		197	17	9	6	1	1	1											
	ハ デイサービス等	340		325	11	4	1	2	1												
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	26		23	3	0															
7	小・中・高・大・各種学校等	319		191	90	38(2)	25	5	5	1	1(1)		1(1)								
8	図書館・博物館等	15		14		1		1													
9	イ 蒸気浴場等	0				0															
	ロ 公衆浴場等	38		38		0															
10	車両の停車場	0				0															
11	神社・寺院・教会等	188		174	13	1	1														
12	イ 工場・作業場	1,034		1,007	22	5	3	1	1												
	ロ スタジオ等	0				0															
13	イ 自動車車庫・駐車場	163	1	152	5	5	1	2	1	1											
	ロ 特殊格納庫	0				0															
14	倉庫	1,290		1,264	24	2		2													
15	前各項に該当しない事業所	928		789	96	43(1)	26	8	6	2		1(1)									
16	イ 特定を含む複合用途	651		480	134	37(5)	21	3	1	5	3(2)	1		1(1)	1(1)	1(1)					
	ロ 非特定の複合用途	360		294	49	17(2)	8	3	3	1		1(1)						1(1)			
16の2	地下街	0				0															
16の3	準地下街	0				0															
17	文化財	59		53	6	0															
18	アーケード	0				0															

- ※ 1 ()内は、内書きで高さ31mを超える高層建築物を計上。
 2 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。
 3 単位：棟数

予防査察の実施状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

用途別		市町村別	合 計	弘	黒	平	藤	板	大	田	西
				前 市	石 市	川 市	崎 町	柳 町	鰐 町	舎 館 村	目 屋 村
合計			4,425	2,529	751	639	106	202	101	62	35
1	イ	劇場・映画館等	11	7	1	2	1				
	ロ	公会堂・集会場	161	62	21	52	15	4	6		1
2	イ	キャバレー等	0								
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	11	1		1				
	ハ	性風俗関連店舗	0								
	ニ	カラオケボックス等	4	4							
3	イ	待合・料理店等	2	1	1						
	ロ	飲食店	150	105	32	7	2	4			
4		百貨店・マーケット等	205	129	38	20	7	7	1	3	
5	イ	旅館・ホテル等	150	48	54	18		3	4	11	12
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	786	584	127	48	1	15	8	1	2
6	イ	病院・診療所等	196	131	27	17	6	7	6	2	
	ロ	老人福祉施設等	164	96	28	16	3	11	2	6	2
	ハ	デイサービス等	160	99	22	25	4	6	3		1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	7	4	1	2					
7		小・中・高・大・各種学校等	131	97	8	20	1	2	1		2
8		図書館・博物館等	8	4	2	1		1			
9	イ	蒸気浴場等	0								
	ロ	公衆浴場等	19	4	1	10	1	1			2
10		車両の停車場	0								
11		神社・寺院・教会等	90	49	20	8	2	7	4		
12	イ	工場・作業場	486	202	108	99	5	31	16	24	1
	ロ	スタジオ等	0								
13	イ	自動車車庫・駐車場	74	27	15	19	3	6	4		
	ロ	特殊格納庫	0								
14		倉庫	632	297	92	130	34	51	19	9	
15		前各項に該当しない事業所	394	197	68	77	9	18	13	4	8
16	イ	特定を含む複合用途	359	227	47	49	8	13	9	2	4
	ロ	非特定の複合用途	165	91	33	18	3	15	5		
16の2		地下街	0								
16の3		準地下街	0								
17		文化財	58	53	4	1					
18		アーケード	0								

※ 単位：棟数

防火管理者資格取得状況

年別	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
人数	280	301	292	312	268

防火管理者選任及び消防計画届出状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

用途別	区分	義務対象物件数	防火管理者選任 届出対象物件数		消防計画作成 届出対象物件数	
				選任率%		作成率%
合 計		2,552	2,405	94	2,379	93
1	イ 劇場・映画館等	12	12	100	12	100
	ロ 公会堂・集会場	202	198	98	197	98
2	イ キャバレー等	0				
	ロ 遊技場・ダンスホール	28	27	96	27	96
	ハ 性風俗関連店舗	0				
	ニ カラオケボックス等	5	5	100	5	100
3	イ 待合・料理店等	3	2	67	2	67
	ロ 飲食店	210	171	81	164	78
4	百貨店・マーケット等	245	224	91	222	91
5	イ 旅館・ホテル等	138	136	99	136	99
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	109	106	97	106	97
6	イ 病院・診療所等	93	91	98	91	98
	ロ 老人福祉施設等	182	180	99	180	99
	ハ デイサービス等	191	189	99	188	98
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	19	19	100	19	100
7	小・中・高・大・各種学校等	150	149	99	149	99
8	図書館・博物館等	8	8	100	7	88
9	イ 蒸気浴場等	0				
	ロ 公衆浴場等	28	25	89	25	89
10	車両の停車場	0				
11	神社・寺院・教会等	122	107	88	107	88
12	イ 工場・作業場	98	94	96	94	96
	ロ スタジオ等	0				
13	イ 自動車車庫・駐車場	10	10	100	10	100
	ロ 特殊格納庫	0				
14	倉庫	64	62	97	62	97
15	前各項に該当しない事業所	229	215	94	210	92
16	イ 特定を含む複合用途	356	329	92	321	90
	ロ 非特定の複合用途	37	33	89	33	89
16の2	地下街	0				
16の3	準地下街	0				
17	文化財	13	13	100	12	92

※ 単位：件数

訓練指導・講話・広報等状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

		消 防 訓 練	防 火 講 話	消 防 施 設 見 学	火 災 予 防 広 報	合 計
消 防 本 部	回数		14			14
	人員		512			512
弘 前 消 防 署 管 轄	回数	33	14	29	130	206
	人員	2,598	462	911	387	4,358
東 消 防 署 管 轄	回数	117	2	165 (164)	93	377 (164)
	人員	3,963	65	3,923 (3,904)	310	8,261 (3,904)
黒 石 消 防 署 管 轄	回数	56	9	12	44	121
	人員	5,405	361	417	106	6,289
平 川 消 防 署 管 轄	回数	46	8	6	112	172
	人員	4,148	634	197	298	5,277
板 柳 消 防 署	回数	19	0	1	12	32
	人員	1,777	0	46	40	1,863
合 計	回数	271	47	213 (164)	391	922 (164)
	人員	17,891	2,034	5,494 (3,904)	1,141	26,560 (3,904)

※ ()内は東消防署防災教育室利用状況を計上。

東消防署防災教育室利用状況

年 度	件 数	利用者数	体 験 内 容						延べ時間
			消 火	煙	地 震	応急手当	その他	庁舎見学	
27年度	164件	3,599人	159件	159件	160件	29件	80件	121件	183時間50分
28年度	164件	3,904人	152件	156件	158件	34件	68件	122件	215時間15分
合 計	328件	7,503人	311件	315件	318件	63件	148件	243件	399時間05分

届出受付状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	防火管理者 選解任	消防計画 作成変更	改修報告	防火対象物 使用開始届	消防用設備 等点検報告	変電設備等	その他	消防同意	合計
4月	79	147	7	39	209	11	53	21	566
5月	58	78	9	35	226	4	191	34	635
6月	44	49	83	31	295	16	66	40	624
7月	47	59	258	36	267	16	87	40	810
8月	25	32	181	43	246	8	89	40	664
9月	45	46	227	45	396	10	49	55	873
10月	43	43	291	38	368	18	60	28	889
11月	36	46	144	26	250	9	33	43	587
12月	33	34	150	46	292	8	56	34	653
1月	35	39	148	30	252	6	24	11	545
2月	20	21	87	30	228	10	43	18	457
3月	47	61	108	88	207	37	134	25	707
合計	512	655	1,693	487	3,236	153	885	389	8,010

※ 1 「その他」は、炉、厨房設備、ボイラー等の設置及び変更や露店等開設の届出

2 単位：件数

平成28年度 災害時要援護者防火防災診断実施状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	実施世帯	未実施世帯							
		内 訳							
		死亡	入 院	入 園	拒 否	転 居	対象外	不 在	
計	1,108	931	33	37	108	27	15	171	540
弘 前 市	647	451	11	21	60	11	10	39	299
黒 石 市	138	73	1	5	2	6	2	6	51
平 川 市	70	214	14	1	28	1	1	107	62
藤 崎 町	47	35	2		3	1		7	22
板 柳 町	109	82	3	3	3	1		6	66
大 鱈 町	63	56	1	7	10	2	2	5	29
田 舎 館 村	21	15	1		2	5		1	6
西 目 屋 村	13	5							5
<p>備 考</p> <p>指導状況 ・住宅用火災警報器未設置に対する指導 420 件</p> <p>・火気使用器具（暖房器具等）の管理に関する指導 28 件</p> <p>・電気配線、配線コード等に関する指導 17 件</p> <p>・建物内外の整理整頓不適（火災予防目的）に関する指導 16 件</p> <p>・喫煙の状況等に関する指導 3 件</p>									

※ 単位：世帯

市町村別危険物施設の状況

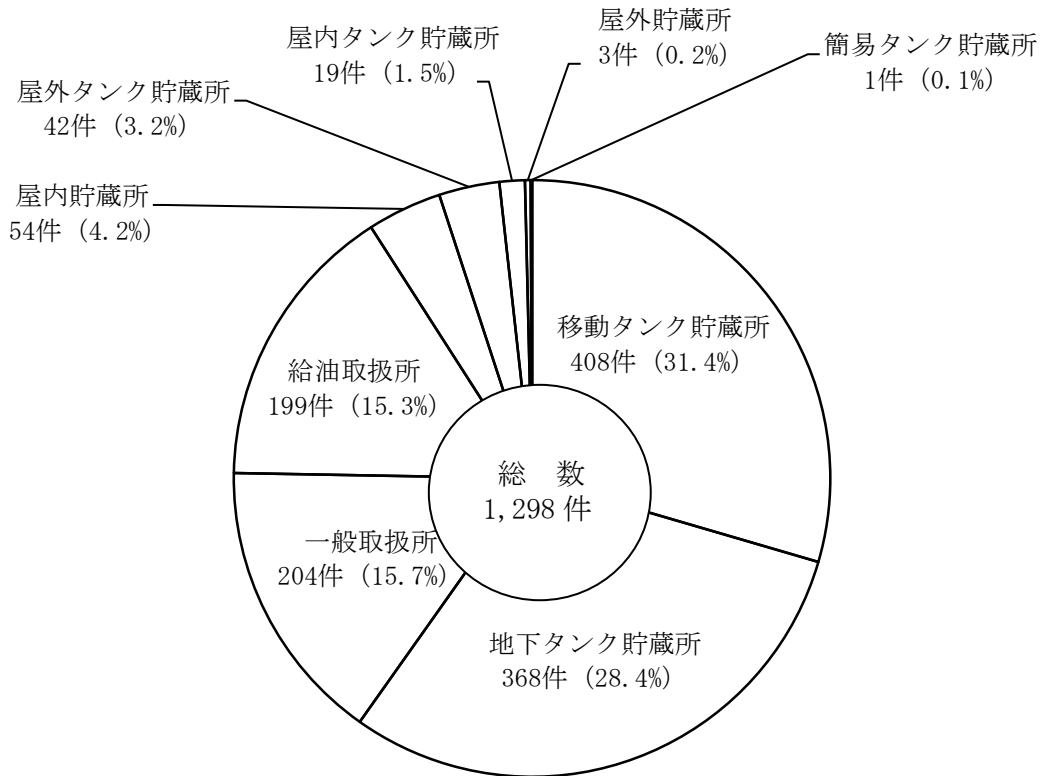
(平成29年3月31日現在)

施設別		市町村別								
		合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰯 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合 計		1,298	750	153	159	78	61	55	27	15
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	54	34	4	8	4	2	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	42	20	2	5	5	2	1	7	
	屋内タンク貯蔵所	19	13	3			2	1		
	地下タンク貯蔵所	368	203	42	49	23	13	24	5	9
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	408	245	58	49	23	18	8	6	1
	屋外貯蔵所	3	2						1	
小 計		895	518	109	111	55	37	35	20	10
取 扱 所	給油取扱所	199	107	25	26	13	15	7	3	3
	第一種販売取扱所	0								
	一般取扱所	204	125	19	22	10	9	13	4	2
小 計		403	232	44	48	23	24	20	7	5

※ 単位：施設数

危険物施設の状況

(平成29年3月31日現在)



規模別危険物施設の状況

(平成29年3月31日現在)

区分	施設別	合計	貯蔵所						取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
合計		1,298	54	42	19	368	1	408	3	199	0	204
数量	倍数が5以下	740	23	14	14	191	1	385		12		100
	倍数が5を超え10以下	214	16	4	5	118		4	3	13		51
	倍数が10を超え50以下	163	10	14		34		7		54		44
	倍数が50を超え100以下	66	3	4		11		9		32		7
	倍数が100を超え150以下	33	2	3		4		3		19		2
	倍数が150を超え200以下	23		1		1				21		
	倍数が200を超えるもの	59		2		9				48		

※ 倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表で定める指定数量で除して得た数値である。

※ 単位：施設数

危険物施設の推移（5ヶ年間）

（平成29年3月31日現在）

年度別	施設別 合計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	一般取扱所
25年	1,270	53	44	17	364	1	405	4	184		198
26年	1,311	53	43	18	387	1	397	4	205		203
27年	1,308	55	43	18	373	1	407	4	201		206
28年	1,298	54	42	19	368	1	408	3	199		204

※ 単位：施設数

危険物関係各種届出・申請件数

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

区分	総数	危険物関係届出・申請						少量危険物等届出			
		廃止届出書	予防規程に係る所長等の書	変更届出書	名称等変更届出書	保安監督者選任・解任届出書	軽微な変更届出書	その他の届出・申請	少量危険物貯蔵・取扱い届出書	指定可燃物貯蔵・取扱い届出書	液化石油ガス設備工事届出書
件数	733	29	39	156	89	47	96	159	15	13	90

※ 危険物関係届出・申請：その他の届出・申請内訳

品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書

25件

危険物製造所等使用休止再開届出書

14件

譲渡・引渡届出書

6件

予防規程認可申請書

3件

許可証等再交付申請書

12件

休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請書

26件

漏洩措置計画

8件

基準の特例申請

2件

危険物製造所等の処理状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

製造所等の別		区分	合計	設置		変更		タンク検査		仮貯蔵・仮取扱	仮使用
				許可	完成	許可	完成	水張	水圧		
平成28年度 (合計)			207	24	23	58	58	0	0	12	32
仮貯蔵・仮取扱			12							12	
貯蔵所	屋内貯蔵所		11	2	2	3	3				1
	屋外タンク貯蔵所		0								
	屋内タンク貯蔵所		2	1	1						
	地下タンク貯蔵所		17	3	1	5	5				3
	簡易タンク貯蔵所		0								
	移動タンク貯蔵所		52	15	15	11	11				
	屋外貯蔵所		0								
小計			94	21	19	19	19	0	0	12	4
取扱所	給油取扱所		75	1	2	25	25				22
	販売取扱所	第1種	0								
		第2種	0								
	移送取扱所		0								
	一般取扱所		38	2	2	14	14				6
小計			113	3	4	39	39	0	0	0	28

※ 単位：施設数

警 防



消防車両等の保有状況

(平成29年4月1日現在)

種別 署別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	梯子車	救助工作車	化学車	救急車	司令車	指揮車	広報連絡車	資機材搬送車	重機搬送車	付水小型動力ポンプ車	燃料補給車	その他
合計	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台	台
消防本部	6							1		4					1
弘前消防署	8(1)		1	1	1		2(1)		1	1					1
藤代分署	3		1				1			1					
西北分署	3		1				1			1					
西分署	4(1)	1	2(1)				1								
目屋分署	3		1				1			1					
東消防署	11(1)			1	1	1	2(1)		1		2	1	1		1
杵形分署	5(1)	1(1)	1				1			1					1
北分署	4	1	1				1								1
南分署	3	1	1				1								
黒石消防署	11(1)		1		1	1	2(1)		1	1	3			1	
山形分署	3		1				1			1					
田舎館分署	3		1				1			1					
平川消防署	8(1)	1	1(1)		1	1	1		1	1	1				
碓ヶ関分署	3		1				1			1					
板柳消防署	4	1	1				1			1					

※1 その他は、防火指導1号車、防火指導2号車、5t重機、マイクロバス、ミニホイールローダ。

2 ()は予備車、内書き。

車両配置状況

(平成29年4月1日現在)

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
消防本部	司令車	司令車	トヨタ	H11	7人乗り 弘前地区消防防炎協会寄贈
	広報車	広報1号車	三菱	H19	
	広報車	広報2号車	三菱	H22	
	防火査察指導車	査察1号車	日産	H24	
	防火査察指導車	査察2号車	日産	H15	
	査察車	防火指導2号車	ダイハツ	H20	
弘前消防署	救助工作車	救助1号車	日野	H14	II型 A-2級 水II型 積載水2,000L A-2級 40m級 高規格救急車 全国共済農業協同組合連合会寄贈 高規格救急車 15人乗り
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H22	
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H6	
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H24	
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H22	
	救急自動車	弘前予備救急1号車	トヨタ	H11	
	防火指導車	防火指導1号車	トヨタ	H23	
	広報連絡車	広報連絡車	トヨタ	H9	
藤代分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H24	水II型 積載水2,000L A-2級 高規格救急車
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H17	
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H16	
西北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H13	水II型 積載水2,000L A-2級 高圧ポンプ 高規格救急車
	救急自動車	救急1号車	日産	H19	
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H27	
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H17	水II型 積載水2,000L A-2級 高圧ポンプ CD-I型 A-2級 高規格救急車 水I-B型 積載水1,700L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	
	救急自動車	救急1号車	日産	H26	
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防1号車	三菱	H7	
目屋分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H15	水II型 積載水2,000L A-2級 高圧ポンプ 高規格救急車
	救急自動車	救急1号車	日産	H20	
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H13	
東消防署	救助工作車	救助1号車	日野	H12	II型 化学II型 積載水3,000L 薬液500L A-2級 30m級 先端屈折式 小型動力ポンプ付水槽車I型 積載水5,000L 高規格救急車 高規格救急車 最大積載量9.2t 緊急消防援助隊無償使用車両 アタッチメント(掘削・破碎・切断・解体用つかみ) 緊急消防援助隊無償使用車両 最大積載量0.5t 最大積載量3t
	化学消防ポンプ自動車	化学1号車	三菱	H8	
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H17	
	水槽車	水槽1号車	日野	H27	
	救急自動車	救急1号車	日産	H21	
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H26	
	救急自動車	弘前予備救急3号車	トヨタ	H13	
	重機搬送車	弘前重機搬送1号車	三菱	H28	
	5t重機	弘前重機1号車	コベルコ	H28	
	資機材搬送車	支援1号車	日産	H11	
資機材搬送車	弘前資機材搬送1号車	三菱	H28		
柘形分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H16	水II型 積載水2,000L A-2級 高規格救急車 CD-II型 A-1級 29人乗り
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H27	
	消防ポンプ自動車	弘前予備消防3号車	日野	H11	
	広報連絡車	広報連絡車	三菱	H17	
	マイクロバス	弘前人員搬送1号車	日野	H9	
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H14	水II型 積載水2,000L A-2級 CD-I型 A-2級 高規格救急車 ミニホイールローダ
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H28	
	小型特殊自動車	作業1号車	キャタピラー	H26	

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
南 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	三 菱	H11	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I 型 A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	H13	高規格救急車
黒石消防署	救助工作車	救助 1 号車	日 野	H24	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H24	水Ⅰ-B型 積載水 1,500L 圧縮空気泡消火装置付 A-2 級
	化学消防ポンプ自動車	化学 1 号車	日 野	H14	化学Ⅱ型 積載水 1,500L 薬液 500L A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	H16	高規格救急車 日本損害保険協会寄贈
	指揮隊車	指揮 1 号車	トヨタ	H25	
	資機材搬送車	支援 1 号車	トヨタ	H24	最大積載量 1 t
	資機材搬送車	支援 2 号車	三 菱	H9	最大積載量 1.5 t
	資機材搬送車	弘前資機材搬送 2号車	三 菱	H25	最大積載量 3 t 緊急消防援助隊無償使用車両
	燃料補給車	弘前燃料補給 1号車	三 菱	H24	990L(軽油) 緊急消防援助隊無償使用車両
救急自動車	弘前予備救急 2号車	日 産	H19	2 B 型	
広報連絡車	広報連絡車	トヨタ	H10		
山 形 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	いすゞ	H12	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	日 産	H27	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日 産	H12	
田舎館分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	三 菱	H12	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	日 産	H16	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	スバル	H16	
平川消防署	救助工作車	救助 1 号車	日 野	H27	Ⅱ型
	化学消防ポンプ自動車	化学 1 号車	日 野	H13	化学Ⅱ型 積載水 1,500L 薬液 500L A-2 級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I 型 A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	H20	高規格救急車 日本損害保険協会寄贈
	指揮隊車	指揮 1 号車	トヨタ	H26	
	広報連絡車	広報連絡車	三 菱	H22	
	資機材搬送車	支援 1 号車	トヨタ	H27	最大積載量 1 t
水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防 2号車	日 野	H7	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級	
碓ヶ関分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	H14	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	マツダ	H9	
板柳消防署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2 級
	消防ポンプ自動車	ポンプ 1 号車	日 野	H21	CD-I 型 圧縮空気泡消火装置付 A-2 級
	救急自動車	救急 1 号車	トヨタ	H15	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	トヨタ	H2	

主要資機材配置状況

(平成29年4月1日現在)

所 属 品 名	合 計	弘 前 消 防 署	藤 代 分 署	西 北 分 署	西 分 署	目 屋 分 署	東 消 防 署	杣 形 分 署	北 分 署	南 分 署	黒 石 消 防 署	山 形 分 署	田 舎 館 分 署	平 川 消 防 署	碓 ヶ 関 分 署	板 柳 消 防 署
空 気 呼 吸 器	139	12	4	4	8	4	14	4	7	7	20	4	4	32	4	11
同 上 ボ ン ベ	329	59	10	7	22	9	38	18	16	18	38	11	10	45	9	19
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	21	2	1	1	2	1	2	1	1	1	3	1	1	2	1	1
潜 水 器 具	14						14									
救 命 ボ ー ト	7		1				3				2			1		
救 命 索 発 射 銃	8	2					2				2			1		1
マンホール救助器具	4	1					1				1			1		
信号器付投光器	15	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2			1	1	1
救 命 胴 衣	131	22	4	4	7	4	25	7	6	4	15	5	5	13	3	7
酸 素 呼 吸 器	15						5				5			5		
空気式救助マット	3	1					1				1					
防 毒 マ ス ク	26						5				9		2	10		
耐 熱 服	9	2					3				2			2		
エアージャッキ	6	1					1				1		1	2		
エアーラインマスク	2	1					1									
可燃性ガス測定器	18	2	1	1	1	1	1	1		1	4	1	1	1	1	1
画 像 探 索 機	6	2					2				1			1		
可 搬 ウ イ ン チ	12	1	1		1		1	1	1		2			3		1
登 山 器 具	10	5					5									
酸素・ガス溶断機	6	1					1				2			2		
送 排 風 機	7	2					1				2			2		
油圧スプレッダー	8	1					1			1	1		1	1	1	1
削 岩 機	3						1				1			1		
ガス採取器(北川式)	18	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1
放 射 線 測 定 器	10	2					1				6			1		
放 射 線 防 護 服	6	2					2				2					
熱画像直視装置	4	1					1				1			1		
エアーテント	9	2					1				3			2		1
バスケット型担架	18	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
化学防護服(陽圧式)	11	4					2				2			3		

林野火災対策機材保有状況

(平成29年4月1日現在)

	軽可搬消防ポンプ	可搬式散水装置	簡易水槽	チェーンソー
合 計	12 台	116 台	18 台	22 台
弘 前 消 防 署	1	13	1	2
藤 代 分 署	1	4	1	1
西 北 分 署	2	6	3	1
西 分 署		7	1	2
目 屋 分 署		6	1	1
東 消 防 署	1	13	2	2
枡 形 分 署	1	3	1	1
北 分 署	1	8	1	1
南 分 署	1	5		1
黒 石 消 防 署	1	16	2	2
山 形 分 署		4		1
田 舎 館 分 署		4		1
平 川 消 防 署	1	14	3	3
碓 ヶ 関 分 署	2	8	2	1
板 柳 消 防 署		5		2

消 防 水 利 状 況

【市町村別】

(平成29年4月1日現在)

水利種別 市町村別	合 計	消 火 栓											防 火 水 槽						
		公 設									私設	計	小計	m ³	m ³	m ³	100m ³ 以上	私設	小計
		口径 mm	75	100	125	150	200	300	500 以上	20				40	60				
			設置別	99	124	149	199	299		499				39	59	99			
弘前市	3,208	地上式	311	207	26	70	25	3	0	8	650	2,462	31	669	32	10	4	746	
		地下式	729	473	25	365	148	65	7	0	1,812								
黒石市	703	地上式	136	168	12	110	29	17	1	2	475	475	30	176	17	0	5	228	
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
平川市	829	地上式	112	198	1	176	76	15	0	0	578	578	40	196	7	1	7	251	
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
藤崎町	414	地上式	106	59	1	89	13	0	0	0	268	274	27	107	3	1	2	140	
		地下式	1	1	0	3	1	0	0	0	6								
板柳町	416	地上式	91	134	2	94	34	10	0	0	365	368	6	38	2	0	2	48	
		地下式	0	2	0	1	0	0	0	0	3								
大鱈町	294	地上式	151	18	0	30	5	0	0	1	205	221	9	56	3	0	5	73	
		地下式	9	1	0	6	0	0	0	0	16								
田舎館村	244	地上式	26	32	0	48	22	0	0	3	131	131	2	109	2	0	0	113	
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
西目屋村	96	地上式	28	0	0	0	0	0	0	1	29	32	5	59	0	0	0	64	
		地下式	2	1	0	0	0	0	0	0	3								
合 計	6,204	地上式	961	816	42	617	204	45	1	15	2,701	4,541	150	1,410	66	12	25	1,663	
		地下式	741	478	25	375	149	65	7	0	1,840								
		計	1,702	1,294	67	992	353	110	8	15	4,541								

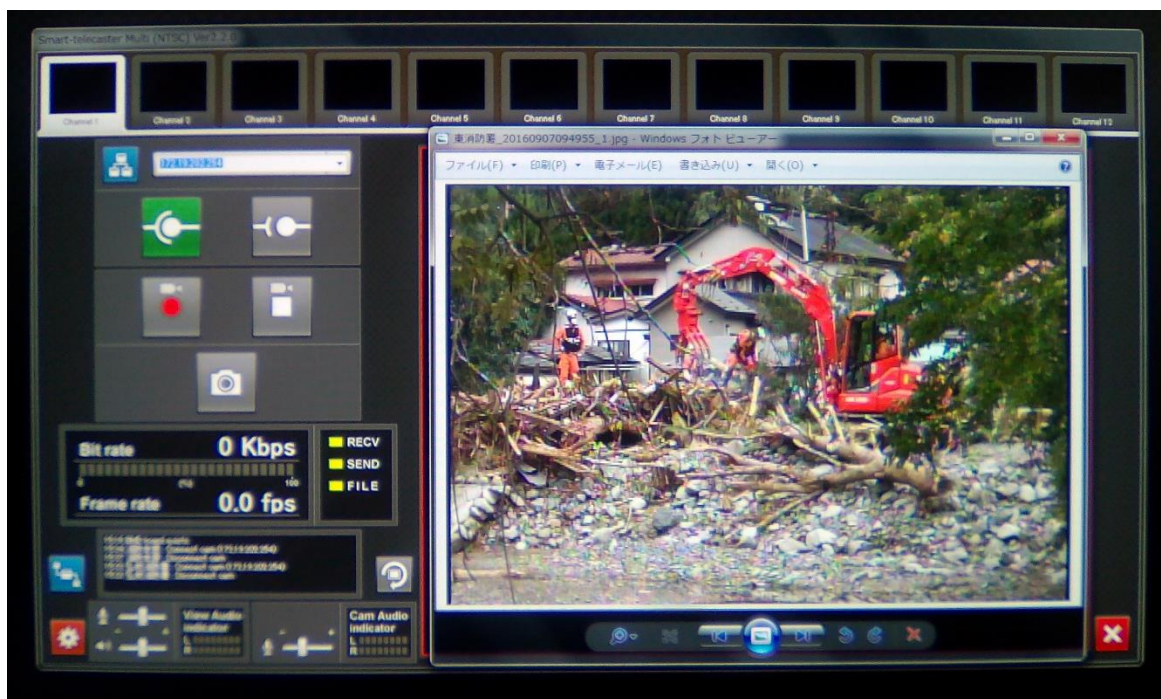
消 防 水 利 状 況

【所属別】

(平成29年4月1日現在)

水利種別	合 計		消 火 栓										防 火 水 槽								
			口径 mm	公 設								私設	計	小計	m ³ 20 以下	m ³ 40 以下	m ³ 60 以下	100m ³ 以上	私設	計	小計
				設置別	75 以下	100 以下	125 以下	150 以下	200 以下	300 以下	500 以上										
弘前消防署	731		地上式	30	15		3		2		1	51	654		60	15	1	1	—	77	
			地下式	294	124		82	57	44	2		603									
藤代分署	528		地上式	63	18		3	6			1	91	372	2	150	2	2		—	156	
			地下式	89	76	6	77	23	6	4		281									
西北分署	新和地区	90	200	地上式	12	1		1				14	119	10	23	1			34	81	
	裾野地区	110		地下式	13	2	1	26						42							
			地上式	16	6			5				27			47				47		
			地下式	15	13			7	1			36									
西分署	544		地上式	112	112	26	47	10			1	308	404	13	124	2		1	—	140	
			地下式	34	23	10	23	6				96									
目屋分署	164		地上式	30	5						1	36	65	11	88				—	99	
			地下式	8	11	8	2					29									
	うち東目屋	(68)	地上式	(2)	(5)							(7)	(33)	(6)	(29)				—	(35)	
			地下式	(6)	(10)	(8)	(2)					(26)									
東消防署	699		地上式	30	16		7	4			4	61	547		136	9	6	1	—	152	
			地下式	183	161		102	38	1	1		486									
柗形分署	438		地上式	46	34		9		1		1	91	333		100	3	1	1	—	105	
			地下式	95	64		46	23	14			242									
北分署	414		地上式	106	59	1	89	13				268	274	27	107	3	1	2	—	140	
			地下式	1	1		3	1				6									
南分署	294		地上式	151	18		30	5			1	205	221	9	56	3		5	—	73	
			地下式	9	1		6					16									
黒石消防署	613		地上式	114	153	12	100	29	17	1		426	426	19	150	15		3	—	187	
			地下式									0									
山形分署	90		地上式	22	15		10				2	49	49	11	26	2		2	—	41	
			地下式									0									
田舎館分署	244		地上式	26	32		48	22			3	131	131	2	109	2			—	113	
			地下式									0									
平川消防署	平賀地区	518	737	地上式	44	137		128	59	15		383	517	33	92	4		6	135	220	
	尾上地区	219		地下式										0							
			地上式	34	50		33	17				134		7	74	2	1	1	85		
			地下式									0									
碓ヶ関分署	92		地上式	34	11	1	15					61	61		30	1			—	31	
			地下式									0									
板柳消防署	416		地上式	91	134	2	94	34	10			365	368	6	38	2		2	—	48	
			地下式		2		1					3									
合 計	6,204		地上式	961	816	42	617	204	45	1	15	2,701	4,541	150	1,410	66	12	25	—	1,663	
			地下式	741	478	25	375	149	65	7	0	1,840									
			計	1,702	1,294	67	992	353	110	8	15	4,541									

通信指令



※平成28年9月 緊急消防援助隊による現場映像転送画像（岩手県岩泉町）

指令センターの機能について

大規模災害時にも柔軟・迅速に対応する万全の体制で臨みます。
～大規模災害への対応～

■ 指令台(輻輳モード)

通常時4席で運用する指令台、指揮台は、災害規模に応じて最大9席で運用できます。

通報が集中する状況下においても的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



【通常運用時】

通常3画面(自動出動・地図・支援情報)のディスプレイを活用して、迅速かつ正確な指令管制業務を行います。

【輻輳時】

大地震や台風など大規模災害により通報が多発した場合、指令台を2席体制に切替え、運用を行います。

■ 高所監視カメラ装置

消防本部屋上に設置された高所監視カメラにより24時間管内を監視しています。

指令センター内の指令台や自動出動指定装置等と連動して災害現場などを捉え、状況を瞬時に把握します。



スムーズな現場対応をサポートする通信手段と情報収集を確保します。
～現場活動支援の強化～

■ 車両運用端末装置

緊急車両に搭載され、自車位置を管理装置に送信するとともに、災害地点の付近地図や指令内容を表示します。また他の車両位置情報や水利・道路障害、病院受入といった各種支援情報、対象物の警防図面など災害活動に必要な情報も表示することができます。



■ 出動車両運用管理装置

災害出動中や出向中の消防車・救急車の位置情報を、人工衛星の電波を使って測位し(GPS機能)、活動状況と共に指令センターへ伝送します。

災害現場に最も近く出動できる車両を選別、最短時間での現場到着をサポートします。



■ 災害現場映像伝送装置

デジタルビデオカメラで撮影した災害現場の映像や音声を指令センターや各署に送信。

災害現場と指令センター、災害対策室で情報共有を図ることで、迅速な災害対応をサポートします。



デジタルビデオカメラ

指令センター

災害対策室

誰もが安心して暮らせるまちを目指します。 ～住民サービスの向上～

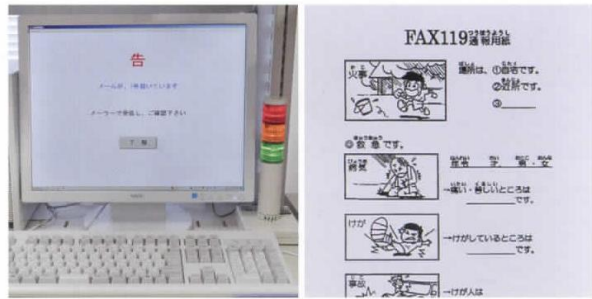
■統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定することができます。災害地点の確認がよりスムーズに行え、より迅速に現場への出動が行えます。



■メール119受信装置／FAX119受信装置

聴覚障がいや音声・言語機能障がいで音声通報が困難な方のために、携帯電話またはパソコンからのEメールやFAXによる119番通報を受信する装置です。



■消防救急デジタル無線システム

指令システムとの連携により、指令台での無線統制や事案に応じた呼び出しなど機能が向上。現場隊員へ、より迅速・正確に情報の伝達や共有が図れるようになりました。またデジタル化により第三者からの不要な傍受を遮断、現場活動に必要な情報をより安全に通信できるようになりました。

●広範囲な交信エリアを確保

小国山局、西北分署局、目屋分署局を増設することにより、広範囲な交信エリアを確保し、災害現場の隊員に必要な情報をより確実に伝達できるようになりました。



●通信セキュリティの向上

消防救急無線のデジタル化により、無線通信を暗号化。第三者による不要な傍受を遮り、患者や災害住所といった個人情報や重要情報をより安全な環境で通信できるようになりました。



車載型移動局無線装置

消防・救急の各車両に搭載され、指令センターと無線交信を行います。



携帯型移動局無線装置

消防隊員が災害現場で使用する無線機です。強度な防水性を備え、悪天候での災害時でも屋外で使用可能です。



可搬型移動局無線装置

主に災害現場(指揮本部)で使用する可搬型の無線装置です。平常時には、卓上型としても使用できます。



通信設備状況

(平成29年4月1日現在)

設置区分 常置場所	有線							無線							県防災情報ネットワーク				携帯電話								
	一 九 回 線	F A X 一 九 回 線	一 般 F A X 回 線	医 療 紹 介 電 話	災 害 情 報 テ レ フ ォ ン	N E X C O 東 日 本 回 線	指 令 回 線	指 令 書 回 線	デジタル					アナログ		電 話 機	衛 星 電 話	防 災 情 報 端 末 置	映 像 受 信 装 置	衛 星 携 帯 電 話	救 急 車 用	指 揮 隊 用	指 令 課 用	映 像 伝 送 装 置			
									基 地 局	固 定 局	車 載 (A V M)	車 載 (高 機 能 操 作 部)	卓 上 型 半 固 定	可 搬	携 帯										署 活 系 携 帯	ア ナ ロ グ 防 災 相 互 波	
消防本部	通信指令課	10	1	1	1	1	1			1	1			1	2	17	15	6	1	1	1	1	2			1	
	本部			1								5					2		2								1
弘前消防署 管轄	弘前消防署			1				1	1			5			1	6	10								1	1	1
	藤代分署			1				1	1			2	1	1		3	4								1		
	西北分署			1				1	1	1		2	1	1		3	3								1		
	西分署			1				1	1			3	1	1		3	4								1		
	目屋分署			1				1	1	1		2	1	1		3	3								1		
東消防署 管轄	東消防署			1				1	1			6	3	1	1	9	14	2							1	1	1
	杵形分署			1				1	1			2	2	1		3	4								1		
	北分署			1				1	1			3		1		3	4								1		
	南分署			1				1	1			3		1		4	4								1		
黒石消防署 管轄	黒石消防署			2				1	1			5	3	1	1	8	10		1	1	1	1	1	1	1	1	1
	田舎館分署			1				1	1			2	1	1		3	3								1		
	山形分署			1				1	1			2	1	1		3	3								1		
平川消防署 管轄	平川消防署			1				1	1			5	2	1	1	6	10		1	1	1	1			1	1	1
	碓ヶ関分署			1				1	1			2	1	1		3	3								1		
	板柳消防署			1				1	1			3	1	1		4	4		1	1	1	1			1		
	高速道路坂梨トンネル									2																	
	平川市小国山									1	1																
	計	10	1	18	1	1	1	15	15	6	2	47	23	15	6	81	100	8	6	4	4	4	3	15	4	1	5
	合計	11				51								288					18						28		

※ AVM・高機能操作部とは、自車位置や支援情報を送信する車両運用端末装置です。

119番通報状況（月別）

（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

種別 月	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合 計	14,356 (4,518)	204 (115)	8,284 (2,689)	75 (50)	319 (165)	1,521 (754)	2,748 (187)	209 (29)	996 (529)
1 月	1,163 (353)	19 (11)	794 (224)	1 (0)	8 (3)	148 (76)	105 (4)	14 (2)	74 (33)
2 月	1,059 (290)	8 (4)	639 (177)	5 (2)	10 (4)	114 (46)	172 (11)	41 (7)	70 (39)
3 月	1,182 (371)	13 (9)	669 (208)	7 (5)	9 (5)	135 (68)	208 (20)	47 (8)	94 (48)
4 月	1,339 (473)	30 (21)	626 (204)	7 (5)	209 (104)	176 (74)	162 (10)	9 (0)	120 (55)
5 月	1,208 (402)	20 (9)	683 (230)	9 (5)	10 (9)	162 (96)	221 (9)	9 (0)	94 (44)
6 月	1,206 (350)	17 (6)	651 (223)	5 (2)	9 (5)	104 (50)	333 (18)	3 (0)	84 (46)
7 月	1,111 (381)	8 (5)	691 (246)	5 (3)	8 (5)	122 (62)	200 (19)	12 (3)	65 (38)
8 月	1,178 (431)	15 (10)	765 (276)	14 (11)	20 (9)	150 (67)	129 (15)	10 (0)	75 (43)
9 月	1,235 (415)	37 (22)	673 (244)	7 (5)	11 (4)	114 (62)	275 (13)	15 (5)	103 (60)
10 月	1,291 (369)	14 (6)	686 (234)	5 (2)	9 (8)	94 (50)	395 (24)	22 (4)	66 (41)
11 月	1,143 (324)	4 (2)	615 (199)	6 (6)	5 (4)	94 (49)	334 (28)	13 (0)	72 (36)
12 月	1,241 (359)	19 (10)	792 (224)	4 (4)	11 (5)	108 (54)	214 (16)	14 (0)	79 (46)

（ ）については、携帯電話による通報で内書きです。

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

119番通報状況（時間帯別）

（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

種別 時間	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合計	14,356	204	8,284	75	319	1,521	2,748	209	996
0～1	268	3	183	0	8	52	5	0	17
1～2	220	7	154	0	3	39	1	0	16
2～3	173	2	133	0	1	29	0	0	8
3～4	200	5	141	1	3	44	0	1	5
4～5	201	15	144	0	1	29	0	1	11
5～6	240	3	191	0	4	34	0	0	8
6～7	359	2	283	5	6	38	5	1	19
7～8	506	6	382	9	8	41	23	0	37
8～9	857	5	505	3	6	66	209	0	63
9～10	1,100	8	511	2	6	66	448	18	41
10～11	1,334	19	491	7	5	83	622	41	66
11～12	851	8	514	4	4	67	165	25	64
12～13	713	33	467	4	5	69	74	5	56
13～14	877	24	402	3	3	67	288	28	62
14～15	1,063	12	435	3	7	82	420	34	70
15～16	775	7	400	4	6	61	205	21	71
16～17	727	12	434	6	11	60	117	16	71
17～18	719	10	466	5	31	80	69	4	54
18～19	791	12	496	2	42	113	54	7	65
19～20	667	4	405	7	57	105	21	1	67
20～21	555	3	368	5	44	88	8	2	37
21～22	433	1	283	3	36	75	3	0	32
22～23	386	0	275	2	6	56	5	2	40
23～24	341	3	221	0	16	77	6	2	16

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

1 1 9 番通報件数の推移（5ヶ年間）

年	種類 通報件数	内 訳		
		固定電話	携帯電話	IP 電話
平成24年	15,342	8,998	3,934	2,410
平成25年	15,130	7,969	4,152	3,009
平成26年	15,114	7,678	4,080	3,356
平成27年	15,123	7,174	4,412	3,537
平成28年	14,356	6,215	4,518	3,623

※平成24年は弘前通信指令課、黒石・平川・板柳通信指令室で受信した件数の合計

医療機関紹介状況（科目別・月別）

（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

種別 月	合 計	内 科	外 科	小 児 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	婦 人 科	精 神 科	泌 尿 器 科
合計	13,803	5,461	4,112	3,833	164	108	78	32	8	15	10
1月	1,247	556	346	302	12	13	12	2	1	3	0
2月	1,081	483	273	300	9	5	7	0	2	1	1
3月	1,028	456	251	301	7	9	2	2	0	0	0
4月	1,034	417	287	312	12	4	2	0	0	0	0
5月	1,604	603	479	471	25	16	4	1	1	1	3
6月	886	367	279	218	10	4	2	3	1	2	0
7月	1,349	520	435	357	12	6	6	7	0	4	2
8月	1,333	499	411	364	16	14	14	9	1	2	3
9月	1,052	372	341	302	24	4	4	4	0	1	0
10月	1,049	363	340	315	13	11	4	2	0	1	0
11月	1,037	388	339	291	9	6	3	0	1	0	0
12月	1,103	437	331	282	15	16	18	2	1	0	1

医療機関紹介状況（5ヶ年間）

年別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
件数	14,046	16,098	16,656	15,388	13,803

火 災

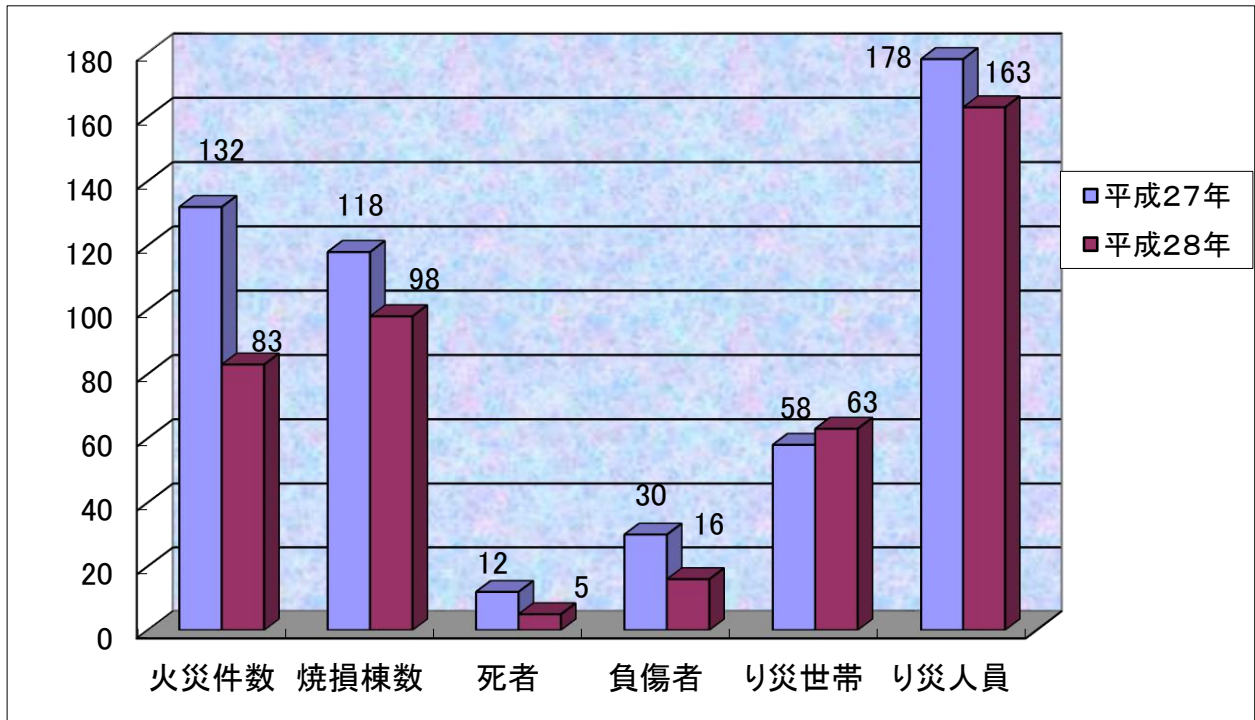


平成28年における火災概要

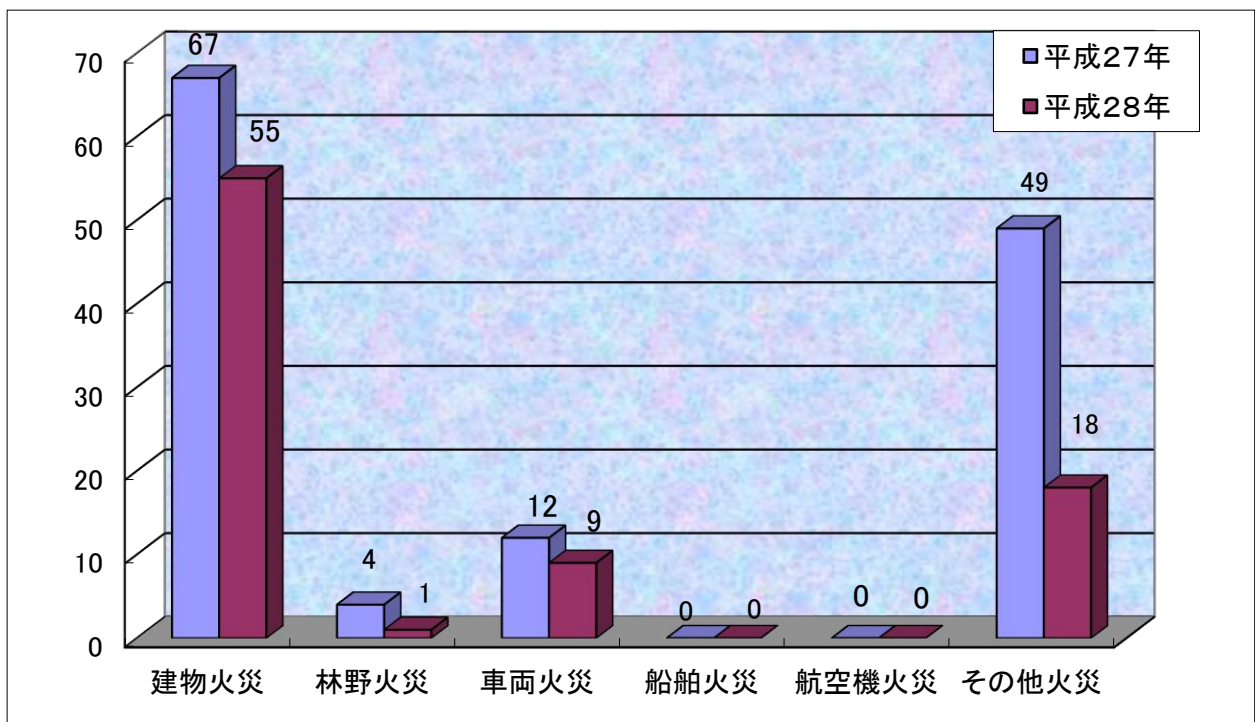
平成28年（1月～12月）における当事務組合管内の火災件数は83件で、前年に比べ49件減少した。火災種別ごとでは、建物火災55件（前年67件）、林野火災1件（前年4件）、車両火災9件（前年12件）、その他の火災18件（前年49件）となっている。死者は5人（前年12人）、負傷者16人（前年30人）となっている。

区 分	平成28年 (A)	平成27年 (B)	増減 (C) 「(A) - (B)」
火 災 件 数 (件)	83	132	△49
建 物	55	67	△12
林 野	1	4	△3
車 両	9	12	△3
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	18	49	△31
焼 損 棟 数 (棟)	98	118	△20
全 焼	29	42	△13
半 焼	4	9	△5
部 分 焼	31	28	3
ぼ や	34	39	△5
建物焼損床面積 (㎡)	4,204	10,419	△6,215
建物焼損表面積 (㎡)	375	475	△100
林野焼損面積 (a)	165	338	△173
死 者 (人)	5	12	△7
負 傷 者 (人)	16	30	△14
り 災 世 帯 数 (世帯)	63	58	5
全 損	26	25	1
半 損	3	0	3
小 損	34	33	1
り 災 人 員 (人)	163	178	△15
損 害 額 (千円)	215,954	524,005	△308,051
建 物	211,814	511,638	△299,824
林 野	485	6,531	△6,046
車 両	3,433	4,825	△1,392
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	222	1,011	△789

火災の概況



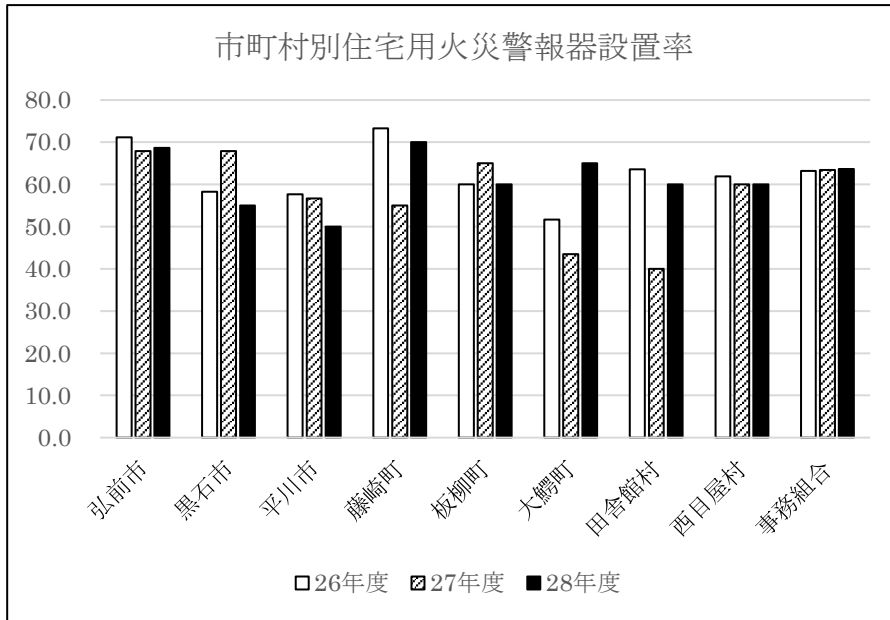
火災の種別



住宅用火災警報器の普及

構成市町村における、住宅用火災警報器の設置調査の結果、設置率は63.7%となっています。

年度		構成市町村								計
		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	
28	調査世帯数	150	40	30	20	20	20	10	10	300
	設置世帯数	103	22	15	14	12	13	6	6	191
	設置率	68.7%	55.0%	50.0%	70.0%	60.0%	65.0%	60.0%	60.0%	63.7%
27	調査世帯数	156	78	30	20	20	23	10	10	347
	設置世帯数	106	53	17	11	13	10	4	6	220
	設置率	67.9%	67.9%	56.7%	55.0%	65.0%	43.5%	40.0%	60.0%	63.4%
26	調査世帯数	52	36	26	30	15	29	22	21	231
	設置世帯数	37	21	15	22	9	15	14	13	146
	設置率	71.2%	58.3%	57.7%	73.3%	60.0%	51.7%	63.6%	61.9%	63.2%



奏功事例

- 1 共同住宅の住人がカセットコンロに片手鍋をかけたまま外出したため空焚き状態となった鍋から煙が発生し、警報器の警報音を聞いた付近の通行人が消防に通報した。早期発見により火災には至らなかった。
- 2 住人がガステーブルに片手鍋で煮込み料理をしていたところ、居間で寝込んでしまったため、鍋から発生した煙により警報器が感知し鳴動したため、隣人が気づき消防に通報した。鍋の収容物が焦げただけで火災には至らなかった。
- 3 住人が台所のガスコンロ上の天ぷら鍋に火をかけたのを忘れ外出していたところ、警報器が作動し警報音に気付いた隣人が家から煙が出ているのを発見。早期発見により火災に至らなかった。

市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 市町村別	年 別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者		焼損面積		損害額（千円）						
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災
													全 損	半 損	小 損										
弘前市	24年	68	46		11	11	68	28	7	11	22	43	15	4	24	123	8(4)	15	4,605		182,420	181,576		387	457
	25年	55	35		8	12	47	10	4	9	24	26	8	1	17	58	5(2)	12	1,843		63,182	61,810		1,140	232
	26年	45	26	1	6	12	48	13	5	18	12	27	8	2	17	74	1	2(1)	2,341	330	113,723	105,404	6,354	1,606	359
	27年	56	29	2	6	19	42	17	3	10	12	21	8		13	63	3(1)	6	2,729	322	155,490	14,737	3,518	2,611	624
	28年	48	33		5	10	67	22	2	24	19	49	22	1	26	117	3(1)	10	3,331		176,036	174,865		1,035	136
黒石市	24年	15	12	2	1		16	4	1	6	6	11	4	1	6	28	1(1)	6	1,119	19	33,619	20,124		8,286	5,209
	25年	23	18		2	3	28	9	2	6	11	20	10	3	7	57	2(1)	4	1,420		47,943	47,742		200	1
	26年	18	10	3	2	3	17	5	1	7	4	10	4		6	26			759	317	47,567	26,584	18,678	2,181	124
	27年	21	9	1	1	10	12	7		3	2	5	5			16	4	11	2,672	10	158,406	158,255	58		93
	28年	13	10	1		2	11	2	1	1	7	6	1			5	22		1	210	165	5,769	5,284	485	
平川市	24年	18	12	1	4	1	19	8		5	6	10	3		7	24	2(1)	2	1,425	4	31,308	30,941	84	216	67
	25年	12	9		2	1	10	3		1	6	8	3		5	25		4	718		45,120	44,445		545	130
	26年	23	10	1	1	11	19	7	6	3	3	9	4		5	34		5	2,600	10	92,329	91,256	291	79	702
	27年	19	12		3	4	21	3	3	6	9	12	4		8	36	2(1)	6	1,144		64,877	63,051		1,619	207
	28年	10	7		1	2	13	3	1	3	6	5	2		3	11		1	596		9,282	9,218			64
藤崎町	24年	6	6				7	3		2	2	2		1	1	8			281		12,341	12,341			
	25年	3	1			2	1				1	1			1	2	1(1)		1		9	8			1
	26年	8	5		1	2	5	2		1	2	4			4	9			136		11,036	10,336		260	44
	27年	9	7		1	1	19	7	1	4	7	8	3		5	25	2	2	1,580		73,436	72,974		450	12
	28年	1	1				3	1		1	1	1	1			6	1		248		6,214	6,214			

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

区分 市町 村別	年 別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者			焼損面積		損害額(千円)					
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災
													全 損	半 損	小 損										
板柳町	24年	6	6			10	3	2	1	4	5	1	1	3	16			1,530		34,250	34,250				
	25年	3	3			3	1			2	2			2	6			45		418	418				
	26年	7	4			3	7	2	1	2	2	3			3	14			131		1,784	1,783		1	
	27年	4	3		1	3	1		1	1	1	1				2		1	422		17,998	17,853		145	
	28年	5	2		3	2	1		1								1		177		15,933	13,535		2,398	
大鰐町	24年	4	3		1	7	3	1	2	1	1		1		1		1	1,053		37,127	35,127		2,000		
	25年	5	5			9	1	3	3	2	8	2	1	5	29	2	1	475		36,692	36,692				
	26年	5	3	2		20	11	3		6	8	5		3	18	1		1,104	1,650	62,442	32,211	30,231			
	27年	4	2			2	15	6		2	7	7	2		5	18		4	1,970		32,323	32,323			
	28年	1				1										1	1								
田舎館村	24年	6	5		1	5	2	1		2	1			1	4			376		4,450	4,443			7	
	25年	3	3			4	1		3		6	2		4	17		1	398		6,520	6,520				
	26年	13	3			10	8	3		2	3	3	1	2	8			229		5,329	4,568			761	
	27年	18	5			13	6	1	2	2	1	4	2		2	18	1		377		18,520	18,445			75
	28年	5	2			3	2			1	1	2		2		7		2	17		2,720	2,698			22
西目屋村	24年	1	1			1	1				1	1			1	1		217		3,022	3,022				
	25年	1	1			1			1		1				3		1	23		374	374				
	26年																								
	27年	1		1															6		2,955		2,955		
	28年																								

※ 死傷者欄中の()内は放火自殺者数

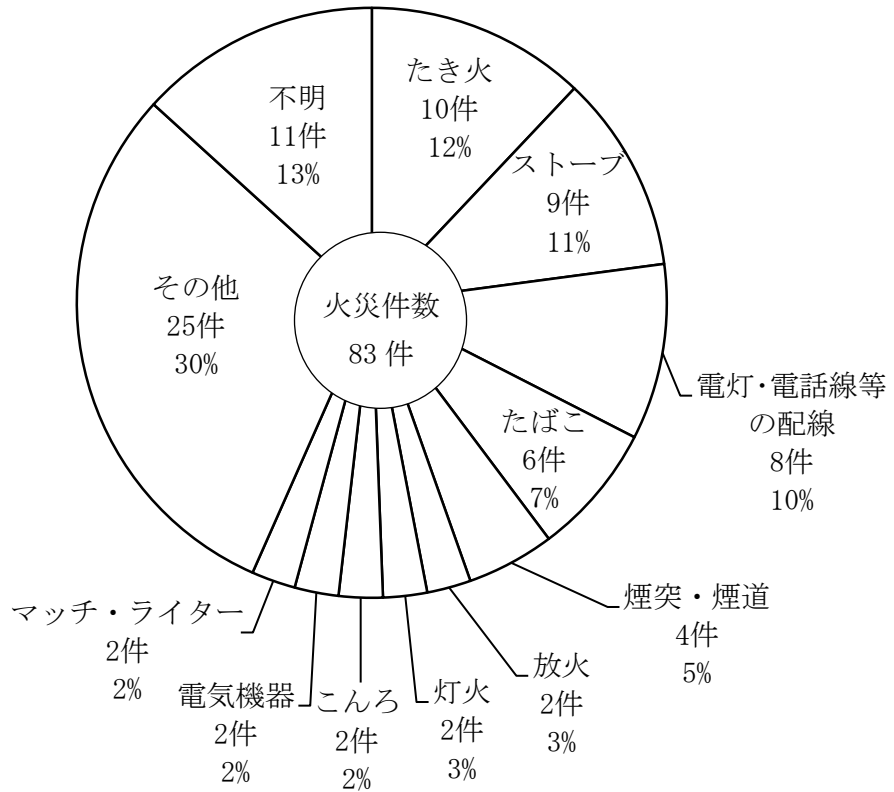
管内火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 年別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者		焼損面積		損害額（千円）						
	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災
												全 損	半 損	小 損										
24年	124	91	3	17	13	133	52	12	27	42	74	24	8	42	205	12 (6)	24	10,606	23	338,537	321,824	84	10,889	5,740
25年	105	75	0	12	18	103	25	9	23	46	72	25	5	42	197	10 (4)	23	4,923	0	200,258	198,009	0	1,885	364
26年	119	61	7	10	41	124	43	16	33	32	64	22	2	40	183	2	13 (1)	7,360	2,307	334,209	271,790	55,584	4,322	2,513
27年	132	67	4	12	49	118	42	9	28	39	58	25		33	178	12 (2)	30	10,894	338	524,005	511,638	6,531	4,825	1,011
28年	83	55	1	9	18	98	29	4	31	34	63	26	3	34	163	5 (1)	16	4,579	165	215,954	211,814	485	3,433	222

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

出火原因の状況

火災件数83件の出火原因は、たき火によるものが10件と最も多く、次いで、ストーブ、電灯・電話線等の配線、たばこ、煙突・煙道の順となっている。



平成28年	
火災件数	83
原因別	
たき火	10
ストーブ	9
電灯・電話等の配線	8
たばこ	6
煙突・煙道	4
放火	2
灯火	2
こんろ	2
電気機器	2
マッチ・ライター	2
その他	25
不明	11

平成27年	
火災件数	132
原因別	
たき火	28
放火の疑い	11
電灯・電話等の配線	9
たばこ	7
放火	5
こんろ	4
排気管	4
電気機器	3
灯火	3
ストーブ	2
その他	26
不明	30

平成26年	
火災件数	119
原因別	
たき火	36
たばこ	7
ストーブ	6
こんろ	6
放火の疑い	5
電灯・電話等の配線	4
内燃機関	4
電気機器	3
取灰	3
放火	2
その他	27
不明	16

平成25年	
火災件数	105
原因別	
たき火	16
ストーブ	10
たばこ	8
こんろ	7
電灯・電話等の配線	5
火花	4
放火	4
ボイラー	3
放火の疑い	2
取灰	2
その他	31
不明	13

月別発生状況

火災件数は83件で、月ごとにみると4月が12件と最も多く、11月が1件と最も少なくなっている。

区分 月別	火 災 件 数	火 災 の 種 別				焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積	林 野 焼 損 面 積	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	死 者 数	負 傷 者 数	損 害 額
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災								
合計	83 件	55 件	1 件	9 件	18 件	98 棟	4,579 m ²	165 a	63 世帯	163 人	5 人	16 人	215,954 千円
1月	8	8				16	777		11	31	1	1	30,159
2月	3	3				5	282		8	12	1		9,049
3月	8	4		2	2	5	204					1	15,574
4月	12	6		3	3	7	49		3	5	1	3	799
5月	9	5	1		3	10	559	165	7	18		1	31,700
6月	8	6			2	11	683		6	25		2	13,076
7月	5	3			2	3	15		2	4		1	164
8月	10	7			3	13	663		5	15		3	22,821
9月	5	2		2	1	10	530		8	19	1		63,453
10月	5	2		1	2	2	11		1	2			257
11月	1	1				2	74		2	4			9,410
12月	9	8		1		14	732		10	28	1	4	19,492

市町村別、月別の火災件数

火災件数83件中、弘前市が48件で57.8%を占め、次いで、黒石市が13件で15.7%、平川市が10件で12.0%となっている。

市町村別 月別	火 件 災 数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合 計 (件)	83	48	13	10	1	5	1	5	
1 月	8	5	1	2					
2 月	3	2	1						
3 月	8	3	2	1		2			
4 月	12	6	1	3		1	1		
5 月	9	7	1					1	
6 月	8	3	1	3				1	
7 月	5	2	2	1					
8 月	10	5	1			1		3	
9 月	5	4				1			
10 月	5	4	1						
11 月	1	1							
12 月	9	6	2		1				

市町村別、曜日別の火災件数

火災件数83件中、金曜日の発生が17件と最も多く、月曜日の発生件数が8件と少なくなっている。

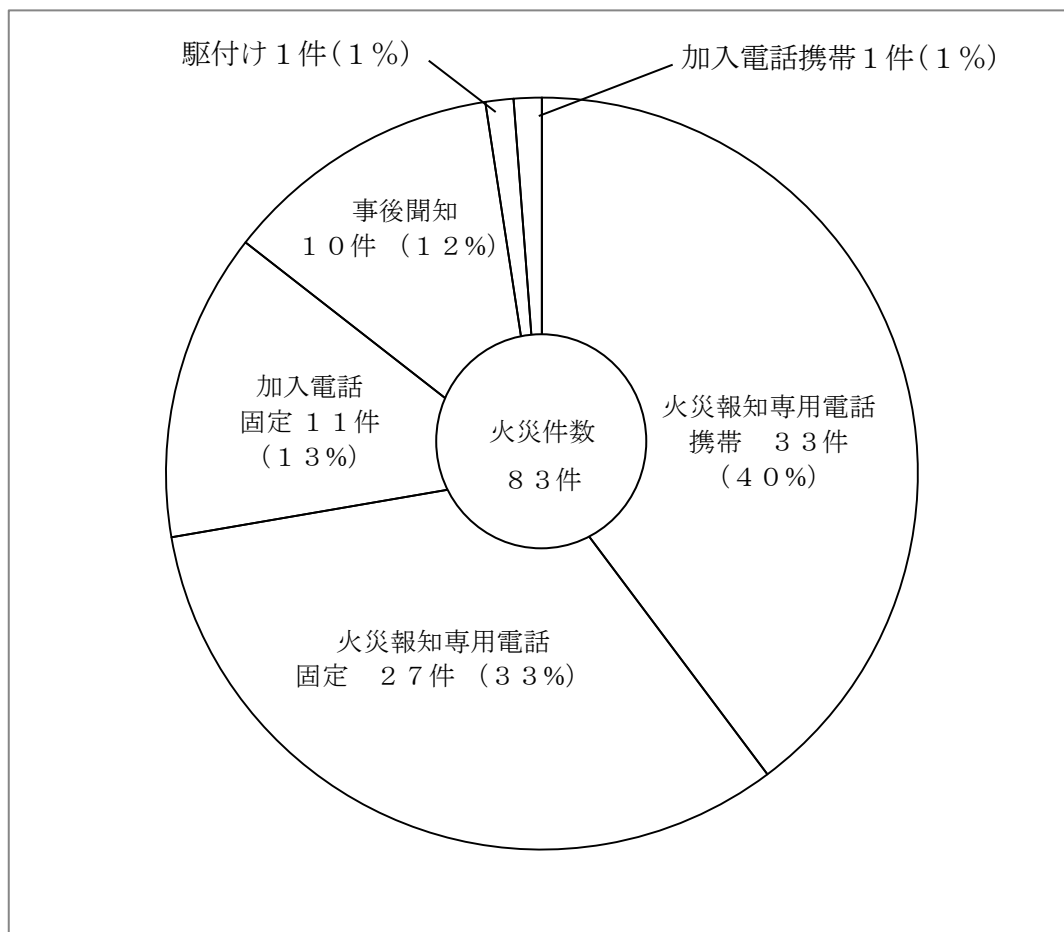
市町村別 月別	火 件 災 数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合 計 (件)	83	48	13	10	1	5	1	5	
日	13	8	1	1		1		2	
月	8	4	1	2		1			
火	12	8	1		1			2	
水	13	7	3	1		2			
木	10	4	3	3					
金	17	9	3	2		1	1	1	
土	10	8	1	1					
不明									

市町村別、時間帯別の火災件数

時間帯別の火災発生状況は、12時から14時の間が最も多くなっている。

市町村別 時間帯	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	83	48	13	10	1	5	1	5	
0～2	7	4	2			1			
2～4	7	5		1		1			
4～6	4	3		1					
6～8	5	2	1	1				1	
8～10	5	3		1		1			
10～12	9	8		1					
12～14	13	6	5					2	
14～16	12	5	1	1	1	2	1	1	
16～18	9	6	1	1				1	
18～20	7	3	2	2					
20～22	4	2	1	1					
22～24	1	1							
不明									

覚知別火災件数



覚知別 市町村別	火災件数	火災報知専用電話		加入電話		駆付け	事後聞知	その他
		固定	携帯	固定	携帯			
合計 (件)	件 (IP)	件 (IP)	件	件	件	件	件	件
	83 (6)	27 (6)	33	11	1	1	10	
弘前市	48 (3)	16 (3)	18	8			6	
黒石市	13 (2)	4 (2)	6	1			2	
平川市	10 (1)	4 (1)	4	1			1	
藤崎町	1	1						
板柳町	5	1	4					
大鱈町	1				1			
田舎館村	5	1	1	1		1	1	
西目屋村								

※ IP電話とは、インターネット回線を利用した電話のこと。

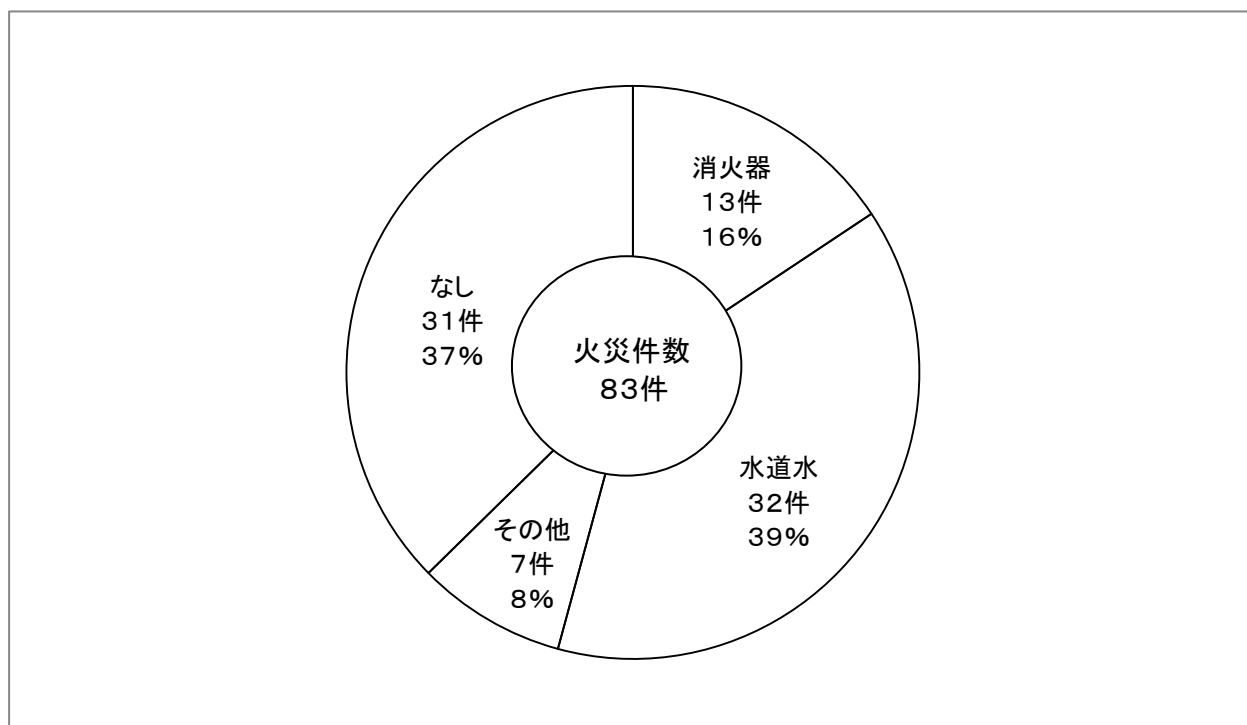
火災種別ごとの初期消火状況

火災件数83件中、初期消火が実施された火災は52件（建物火災30件、車両火災8件、その他の火災14件）で、使用された器具等は消火器が13件（建物火災4件、車両火災6件、その他の火災3件）、水道水が32件（建物火災22件、車両火災1件、その他の火災9件）となっている。

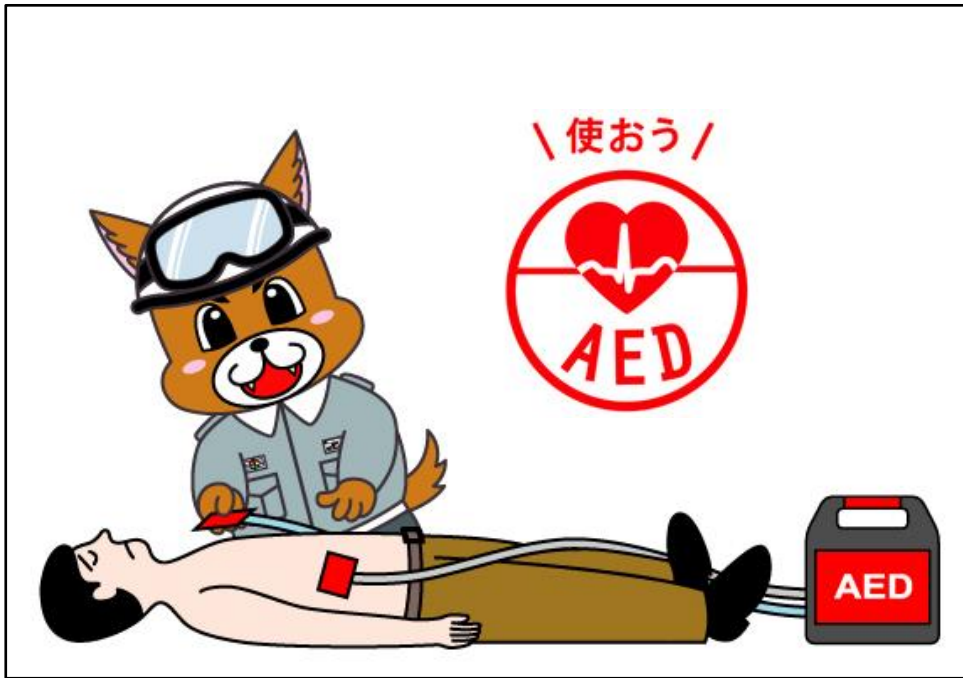
初期消火が実施された火災で、消火に成功した件数は24件（建物火災16件、車両火災2件、その他の火災6件）である。

区分 火災種別	火災 件数 件	初期消火実施件数					初期消火成功件数					初期消火なし	
		計 件	内 訳			実施率	計 件	内 訳			成功率	計 件	未実施率
			消火器 件	水道水 件	その他 件			消火器 件	水道水 件	その他 件			
合 計	83	52	13	32	7	62.7%	24	5	14	5	46.2%	31	37.3%
建物火災	55	30	4	22	4	54.5%	16	2	11	3	53.3%	25	45.5%
林野火災	1					0.0%					0.0%	1	100%
車両火災	9	8	6	1	1	88.9%	2	1		1	25.0%	1	11.1%
その他の火災	18	14	3	9	2	77.8%	6	2	3	1	42.9%	4	22.2%

初期消火の状況



救 急



救急業務の概況

平成 28 年中の組合管内の出動件数は、10,076 件、搬送人員は 9,314 人で前年に比べ、出動件数が 29 件 (0.3%)、搬送人員が 54 人 (0.6%) とそれぞれ減少している。

このことは、管内で一日平均 27.6 件、約 52.2 分に 1 回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約 31 人に 1 人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第 1 位が急病によるもので 6,226 件、第 2 位が一般負傷 1,454 件、第 3 位が転院搬送 1,406 件、第 4 位が交通事故 618 件となっている。また、搬送人員では第 1 位が急病 5,697 人、第 2 位が転院搬送 1,408 人、第 3 位が一般負傷 1,370 人、第 4 位が交通事故 625 人となっている。

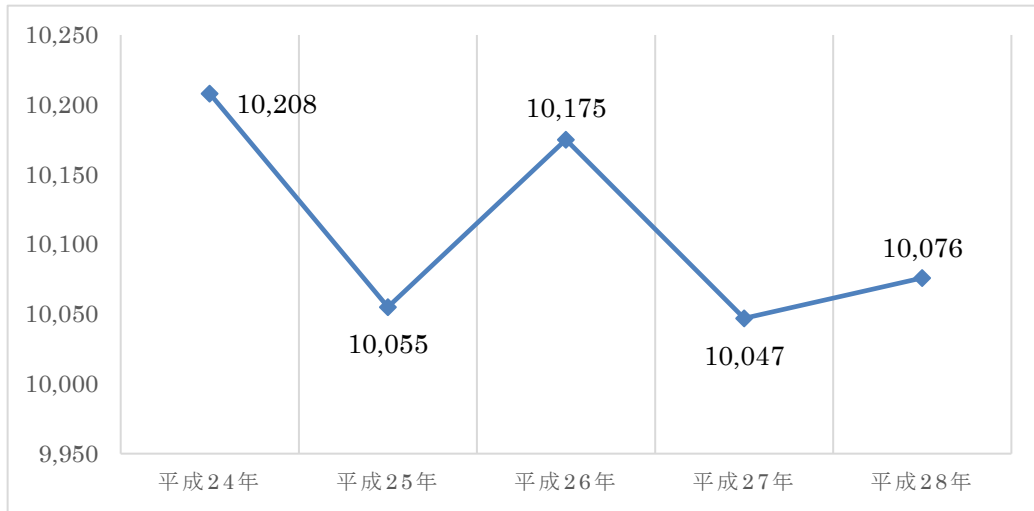
搬送された 9,314 人の傷病程度の内訳は、死亡 272 人 (2.9%)、重症 2,082 人 (22.3%)、中等症 3,902 人 (41.9%)、軽症 3,051 人 (32.8%) となっている。

医療機関等へ搬送された 9,314 人のうち、94.4%にあたる 8,794 人が救急病院及び救急診療所 (以下「医療機関等」という。)へ、5.7%にあたる 518 人が救急病院等以外の医療機関へ搬送されている。また、搬送人員の 98%にあたる 9,124 人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの 2%にあたる 190 人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

署別救急出動件数の比較 (対前年比)

署別	件数 年別	件 数		増 減
		H 28 年	H 27 年	
合 計		10,076	10,047	29
弘 前 消 防 署		1,605	1,714	△109
藤 代 分 署		970	997	△27
西 北 分 署		270	222	48
西 分 署		539	554	△15
目 屋 分 署		102	140	△38
東 消 防 署		1,415	1,456	△41
枡 形 分 署		1,347	1,324	23
北 分 署		471	450	21
南 分 署		464	387	77
黒 石 消 防 署		974	909	65
田 舎 館 分 署		359	364	△5
山 形 分 署		138	143	△5
平 川 消 防 署		727	765	△38
碓 ヶ 関 分 署		162	169	△7
板 柳 消 防 署		533	453	80

救急出動件数の推移（5ヶ年間）



年 別	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
出 動 件 数	10,208	10,055	10,175	10,047	10,076
対 前 年 増 減	304	△ 153	120	△ 128	29

市町村別救急出動件数の比較（対前年比）

市町村別 年別	市町村別										
	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村	高 速 道 路	管 外
平成 28 年	10,076	6,373	1,154	1,028	436	477	358	189	53	8	0
平成 27 年	10,047	6,451	1,128	986	438	422	312	230	67	11	2
増 減	29	△78	26	42	△2	55	46	△41	△14	△3	△2

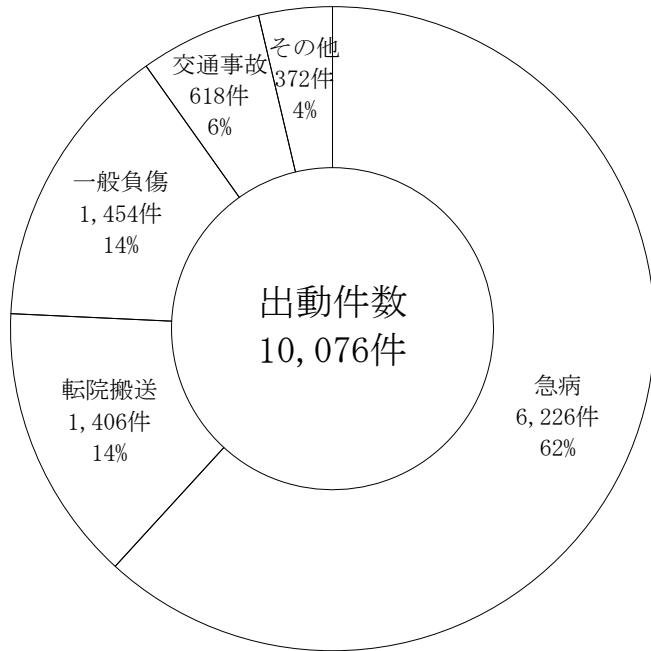
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

市町村別	事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	その他
合計	出動件数	10,076	63	3	9	618	54	51	1,454	31	94	6,226	1,406	2	65
	搬送人員	9,314	10	3	6	625	54	51	1,370	29	58	5,697	1,408		3
弘前市	出動件数	6,373	33	1	6	360	31	27	857	20	61	3,799	1,131		47
	搬送人員	5,849	7	1	3	356	31	27	798	18	39	3,432	1,134		3
黒石市	出動件数	1,154	12		3	82	8	3	183	7	4	733	112		
	搬送人員	1,102	1		3	89	8	3	177	7	3	699	112		
平川市	出動件数	1,028	9			68	6	6	181	1	12	724	14	1	6
	搬送人員	940	1			69	6	6	167	1	8	668	14		
藤崎町	出動件数	436	1	1		28	3	1	66		4	277	53	1	1
	搬送人員	414		1		29	3	1	66		2	259	53		
板柳町	出動件数	477	1	1		27	3	1	79	1	6	291	64		3
	搬送人員	443		1		27	3	1	78	1	3	265	64		
大鰐町	出動件数	358	2			16	2	12	55	1	5	237	26		2
	搬送人員	328				16	2	12	53	1	2	216	26		
田舎館村	出動件数	189	5			31	1		22	1	1	123	5		
	搬送人員	182	1			33	1		21	1	1	119	5		
西目屋村	出動件数	53				1		1	11		1	39			
	搬送人員	48				1		1	10			36			
高速道路	出動件数	8				5						3			
	搬送人員	8				5						3			
管外	出動件数														
	搬送人員														

署別、事故種別救急業務実施状況

署別	区分	合計	事故種別											その他		
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	
合計	出動件数	10,076	63	3	9	618	54	51	1,454	31	94	6,226	1,406	2	65	
	搬送人員	9,314	10	3	6	625	54	51	1370	29	58	5,697	1,408		3	
弘前消防署	出動件数	1,605	13	1	1	90	5	3	224	6	14	890	349	1	8	
	搬送人員	1,419	2	1	1	81	5	3	198	8	11	758	349		2	
藤代分署	出動件数	970	3		3	51	4	3	139	4	8	625	120		10	
	搬送人員	887			2	49	4	3	131	2	4	572	120			
西北分署	出動件数	270				13	2	1	51		1	193	8		1	
	搬送人員	241				11	2	1	47			172	8			
西分署	出動件数	539	2			22	1	3	93		7	359	48		4	
	搬送人員	501	1			26	1	3	87		2	332	48		1	
目屋分署	出動件数	102				6	1	1	11		2	80			1	
	搬送人員	95				6	1	1	11			76				
東消防署	出動件数	1,415	7		1	94	8	7	180	3	17	764	323		11	
	搬送人員	1,311				92	8	7	169	2	14	696	323			
橋形分署	出動件数	1,347	9			75	9	7	154	5	14	802	264		8	
	搬送人員	1,284	2			80	9	7	151	4	9	755	267			
南分署	出動件数	464				24	4	14	66	3	5	292	51		5	
	搬送人員	432				25	4	14	63	3	2	270	51			
北分署	出動件数	471	3	1	1	38	3	1	69		2	303	48		2	
	搬送人員	446		1		40	3	1	69		1	283	48			
黒石消防署	出動件数	974	15		1	69	5	3	153	4	8	615	96	1	4	
	搬送人員	927			2	77	5	3	149	4	7	585	95			
田舎館分署	出動件数	359	3		2	41	2		48	3	3	233	24			
	搬送人員	345	2		1	43	2		46	3	2	222	24			
山形分署	出動件数	138				13	2		25			98				
	搬送人員	136				14	2		25			95				
平川消防署	出動件数	727	6			49	6	7	129	2	6	503	14		5	
	搬送人員	665	1			47	6	7	117	2	2	469	14			
碓氷関分署	出動件数	162				4			27		1	127	3			
	搬送人員	142				3			25		1	110	3			
板柳消防署	出動件数	533	2	1		29	2	1	85	1	6	342	58		6	
	搬送人員	483	2	1		31	2	1	82	1	3	302	58			

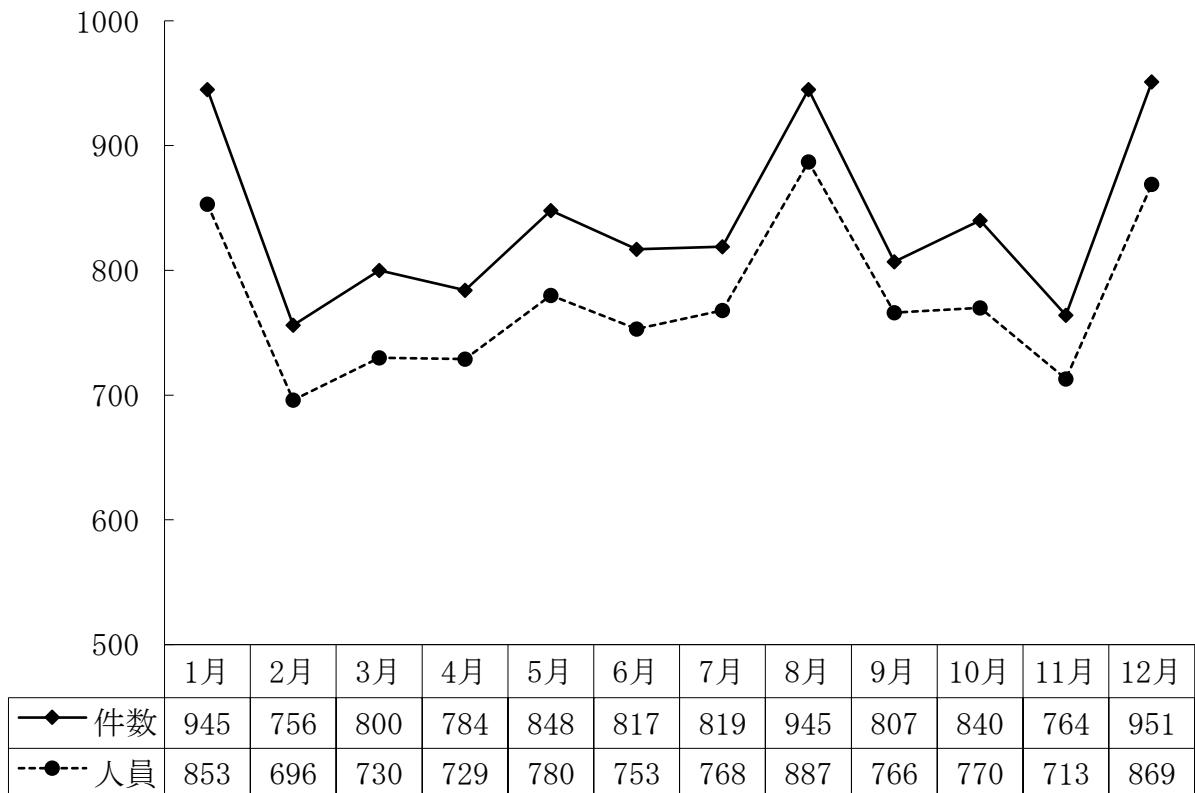
事故種別救急出動件数



その他 392 件の
内訳

1 自損行為	94 件
2 労働災害	54 件
3 火災	63 件
4 運動競技	51 件
5 加害	31 件
6 水難	9 件
7 自然災害	3 件
8 その他	67 件

月別救急出動件数及び搬送人員



事故種別、覚知方法別出動件数

覚知別 \ 事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	10,076	63	3	9	618	54	51	1,454	31	94	6,223	1,476
自己覚知	24			1	5			5	1		4	8
専用電話	8,338	51	2	7	443	49	50	1,346	16	63	5,875	436
加入電話	1,558	12	1	1	157	2		71	13	28	265	1,008
駆け付け	119				4	2	1	28		3	72	9
警察電話	17				7			4	1		5	
その他	20				2	1					2	15

収容所要時間別、事故種別搬送人員

収容所要時間 \ 事故種別	合計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上
合計	9,314	7	288	2,773	5,793	445	8
急病	5,697	2	98	1,499	3,843	252	3
交通	625		16	124	455	30	
一般負傷	1,370		24	373	887	83	3
その他	1,622	5	150	777	608	80	2

事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員

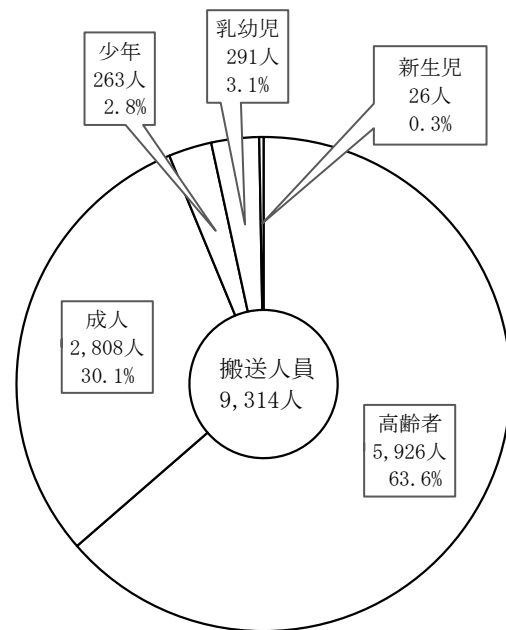
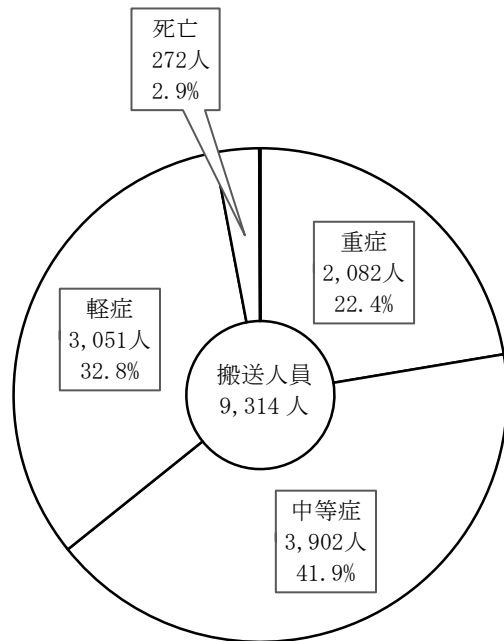
年齢区分	事故種別 傷病程度	事故種別											
		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	死亡	272			1	3	1		19		10	232	6
	重症	2,082	2	2	1	55	10	5	276		14	1,067	650
	中等症	3,902	2		1	150	22	19	486	6	26	2,488	702
	軽症	3,051	6	1	3	417	21	27	588	23	8	1,906	51
	その他	7							1			4	2
	計	9,314	10	3	6	627	54	51	1,370	29	58	5,697	1,411
新生児	死亡												
	重症	5											5
	中等症	17									1	16	
	軽症	4							1		2	1	
	その他												
	計	26							1		3	22	
乳幼児	死亡	2							1		1		
	重症	6									1	5	
	中等症	105				2			6		78	19	
	軽症	177				7			42		127	1	
	その他	1										1	
	計	291				9			49		207	26	
少年	死亡												
	重症	17				1		3	2		3	8	
	中等症	69				7		11	8		26	17	
	軽症	177			1	47		15	23	1	1	89	
	その他												
	計	263			1	55		29	33	1	118	25	
成人	死亡	27				2	1				1	22	1
	重症	466	1	1		25	8	1	40		11	198	181
	中等症	1,032	1		1	80	18	8	104	5	21	602	192
	軽症	1,285	4	1	1	266	21	11	154	20	7	776	24
	その他												
	計	2,808	6	2	2	371	48	20	298	25	40	1,598	398
高齢者	死亡	243			1	1			18		9	209	5
	重症	1,588	1	1	1	29		1	234		3	865	451
	中等症	2,679	1			61	4		368	1	5	1,781	458
	軽症	1,410	2		1	99		1	368	2		912	25
	その他	6							1			4	1
	計	5,926	4	1	3	190	6	2	989	3	17	3,771	940

※○新生児・・・生後 28 日未満
 ○乳幼児・・・生後 28 日以上満 7 歳未満
 ○少年・・・満 7 歳以上満 18 歳未満
 ○成人・・・満 18 歳以上満 65 歳未満
 ○高齢者・・・満 65 歳以上

※○死亡・・・初診時において死亡が確認されたもの
 ○重症・・・3 週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症・・・入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽症・・・入院加療を必要としないもの
 ○その他・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 (傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく)

傷病程度別搬送人員

年齢区分別搬送人員



※○死 亡…初診時において死亡が確認されたもの
 ○重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 ○中等症…入院を要するもので重症に至らないもの
 ○軽 症…入院加療を必要としないもの
 ○その他…医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの
 (傷病程度は、初診時における医師の診断に基づく)

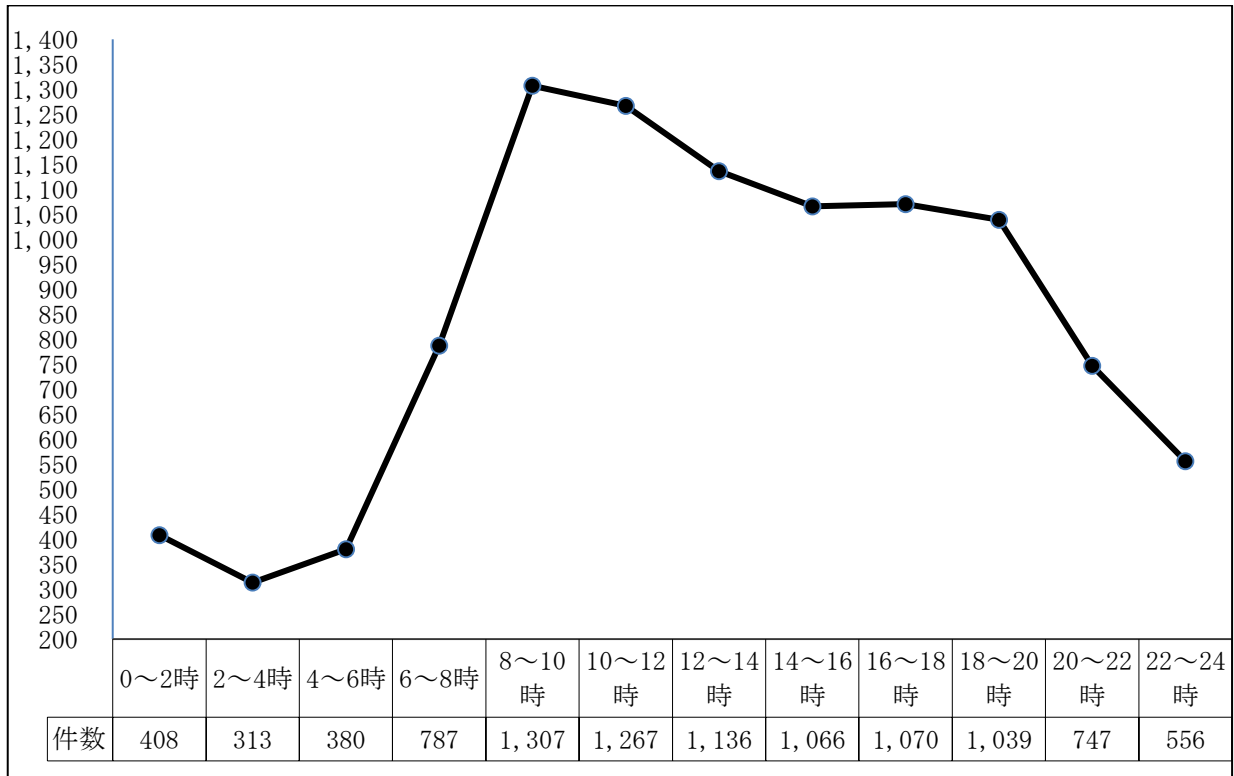
※○新生児…生後28日未満
 ○乳幼児…生後28日以上満7歳未満
 ○少 年…満7歳以上満18歳未満
 ○成 人…満18歳以上満65歳未満
 ○高齢者…満65歳以上

発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	発生場所					
	合 計	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他
合 計	9,314	4,799	3,175	179	974	187
急 病	5,697	3,950	1,367	109	203	68
交 通	625	11	18	3	588	5
一般負傷	1,370	763	315	22	172	98
そ の 他	1,622	75	1,475	45	11	16

※ 住 宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所
 公衆出入場所…多数の人が集まる場所
 仕 事 場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所
 道 路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等
 そ の 他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

時間別救急出動件数



応急手当の普及啓発活動の状況

平成 28 年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は 323 回で、受講人員は、9,893 名となっている。(うち、普通救命講習 159 回、5,594 名が受講、上級救命講習 11 回、347 名が受講)

また、昭和 57 年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年 9 月 9 日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅲ	その他の講習	救命入門コース
実施回数	11回	159回	5回	111回	37回
受講人数	347名	5,594名	183名	3,107名	662名

救急認定医療機関一覧表

(平成29年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字 富野町1番地	0172-32-4311
○弘前市立病院	弘前市大字 大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字 野田二丁目2番地1	0172-32-1171
○医療法人元秀会 弘前小野病院	弘前市大字 和泉二丁目19番地1	0172-27-1431
○弘前大学医学部附属病院	弘前市大字 本町53番地	0172-33-5111
医療法人弘愛会 弘愛会病院	弘前市大字 宮川三丁目1番地4	0172-33-2871
医療法人北桜会 弘前メディカルセンター	弘前市大字 大町二丁目2番地9	0172-35-1511
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 鳴海病院	弘前市大字 品川町19番地	0172-32-5211
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 弘前中央病院	弘前市大字 吉野町3番地1	0172-36-7111
財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字 扇町一丁目2番地1	0172-28-8220
国民健康保険 板柳中央病院	北津軽郡板柳町 大字灰沼字岩井74番地2	0172-73-3231
医療法人ときわ会 ときわ会病院	南津軽郡藤崎町 大字榊字亀田2番地1	0172-65-3771
国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目70番地	0172-52-2121
町立大鱈病院	南津軽郡大鱈町 大字蔵館字川原田40番地4	0172-48-2211

※ ○は、第二次輪番制参加病院等協議会参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急、二次救急、三次救急で構築されています。

初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅医が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記○印第二次輪番制参加病院等協議会参加病院である5病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする患者の内科・外科診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を弘前大学医学部附属病院高度救命救急センターが担っております。

※ 体制時間について

○初期救急医療

- ・弘前市急患診療所：内科、小児科（平日・土曜日19時～22時30分）（日曜・祝日10時～16時 19時～22時30分）
外科（日曜・祝日10時～16時）

- ・休日在宅：内科（日曜・祝日9時～12時）耳鼻科・眼科・歯科（日曜・祝日10時～16時）

○入院救急医療：第二次輪番制参加病院等協議会参加病院

○三次救急医療：弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター

津軽地域小児救急病院等一覧表

(平成29年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目7番地1	0172-34-1131
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
○独立行政法人国立病院機構青森病院	青森市浪岡大字女鹿沢字平野 155番地	0172-62-4055
○弘前市立病院	弘前市大字大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字野田二丁目2番地1	0172-32-1171
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町53番地	0172-33-5111

※ ○印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域8の市町村で、15歳未満あるいは中学三年生までの患者（交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く）を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制が平成18年1月10日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある4病院（小児救急二次輪番病院）が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※ 体制時間について

○初期救急（外来）：弘前市急患診療所

- ・平日、土曜日（19時～22時30分）
- ・休日（10時～16時・19時～22時30分）

○二次救急（入院）：小児救急二次輪番病院

- ・平日（毎日18時～翌朝8時）
- ・土曜日（13時～翌朝8時）
- ・休日（8時～翌朝8時）

○三次救急（高度医療）：弘前大学医学部附属病院（小児科）

- ・毎日24時間（二次病院では対応できない重症の患者）

救 助



事故種別救助業務実施状況（対前年比）

種別		年別	平成 28 年	平成 27 年	H27 年と H28 年との比較
合 計		出動件数	143	129	14
		活動件数	96	73	23
		救助人員	73	69	4
火 災	建 物	出動件数	20	11	9
		活動件数	20	11	9
		救助人員	2	1	1
	建 物 以 外	出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
交 通 事 故		出動件数	66	54	12
		活動件数	35	30	5
		救助人員	36	37	△1
水 難 事 故		出動件数	7	8	△1
		活動件数	5	8	△3
		救助人員	4	8	△4
風 水 害 等 害 自 然 災 害		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
機 械 による 事 故		出動件数	3	6	△3
		活動件数	2	4	△2
		救助人員	2	4	△2
建 物 等 に よ る 事 故		出動件数	17	5	12
		活動件数	13	4	9
		救助人員	12	4	8
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		出動件数	2	0	2
		活動件数	2	0	2
		救助人員	1	0	1
破 裂 事 故		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
そ の 他 の 事 故		出動件数	28	45	△17
		活動件数	19	16	3
		救助人員	16	15	1

※ 出動件数とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいい、活動件数とは出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。

消防団



管内市町村の消防団長

(平成29年4月1日現在)

市町村名	団長名	就任年月日
弘前市	笹常俊	平成26年2月7日
黒石市	山口利文	平成25年6月4日
平川市	小山内勝廣	平成29年4月1日
藤崎町	五十嵐睦三	平成26年12月1日
板柳町	大谷克人	平成29年4月1日
大鰐町	赤平利昭	平成28年6月1日
田舎館村	山本正志	平成21年4月1日
西目屋村	山崎清則	平成29年3月1日

管内市町村の消防副団長

(平成29年4月1日現在)

市町村名	副団長名	就任年月日
弘前市	成田由弘	平成20年4月1日
	熊谷利一	平成22年2月27日
	稲部千賀男	平成26年7月10日
	久保順一	平成27年9月13日
	小田桐正喜	平成28年12月1日
黒石市	佐々木幸夫	平成23年11月1日
	相馬孝一	平成25年6月4日
	工藤清明	平成25年6月4日
	福士司	平成26年1月31日
	佐藤立夫	平成26年11月1日
	鈴木堅三	平成28年12月1日
平川市	今井紀夫	平成29年4月1日
	佐藤昭仁	平成29年4月1日
	佐々木亮次	平成27年1月9日
藤崎町	浅瀬石潤悦	平成21年4月1日
	奈良完治	平成24年12月6日
	古川哲美	平成26年4月1日
	三上鉄弘	平成26年12月1日
板柳町	北畠憲一	平成25年4月1日
	三上義勝	平成28年8月1日
	三戸康正	平成29年2月1日
	會津丞	平成29年4月1日
大鰯町	澁谷茂	平成20年7月1日
	築館久善	平成26年5月1日
	工藤慶一	平成28年6月1日
	山崎高男	平成28年6月1日
田舎館村	葛西誠司	平成26年5月1日
	中山勝晴	平成28年4月1日
	工藤鑄逸	平成28年4月1日
	田澤隆	平成28年4月1日
西目屋村	大滝学	平成22年12月21日
	熊谷孝夫	平成29年3月1日

管内市町管内市町村別消防団車両配備状況

(平成29年4月1日現在)

車種 市町村	合 計	普通 消防 ポン プ 自動 車	小型 動力 ポン プ 積 載 車	水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	警 備 車	司 令 車	そ の 他	小 型 動 力 ポ ン プ
合 計	台	台	台	台	台	台	台	台
弘 前 市	114	47	56		8	1	2	5
黒 石 市	50	17	31				2	
平 川 市	40	17	23					2
藤 崎 町	24	1	22			1		2
板 柳 町	18	15	2			1		4
大 鰐 町	17	15	1				1	2
田 舎 館 村	20		19				1	
西 目 屋 村	4	2		1			1	

備考 小型動力ポンプは、合計に計上せず。

管内市町村階級別消防団員数

(平成29年4月1日現在)

階級 市町村	条 例 定 数	現 在 数	分 団 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
	人	人	分団	人	人	人	人	人	人	人
合 計	5,085	4,634 (102)	205 (4)	13	62	256 (4)	218 (4)	282 (6)	662 (14)	3,141 (74)
弘前市	2,080	1,967 (24)	111 (1)	6	29	133 (1)	112 (1)	112 (1)	224 (2)	1,351 (19)
黒石市	860	793 (13)	10	1	6	14	11	49	121	591 (13)
平川市	760	647 (38)	20 (1)	1	9	20 (1)	20 (1)	42 (3)	84 (6)	471 (27)
藤崎町	411	359 (9)	22 (1)	1	4	33 (1)	22 (1)	22 (1)	66 (3)	211 (3)
板柳町	310	281 (1)	18	1	4	23	18	18	55 (1)	162
大鱈町	350	300 (17)	17 (1)	1	4	22 (1)	17 (1)	17 (1)	42 (2)	197 (12)
田舎館村	234	216	5	1	4	5	14	19	57	116
西目屋村	80	71	3	1	2	6	4	3	13	42

備考 () については、女性団員で内書き。

管内市町村在職年数別消防団員数

(平成29年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平均 在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
			人	人	人	人	人	人	人
合計	4,634	11.5	1,110	1,058	910	777	430	219	130
弘前市	1,967	11.0	497	457	374	337	170	86	46
黒石市	793	11.2	185	196	165	127	68	31	21
平川市	647	13.8	107	145	133	127	64	39	32
藤崎町	359	12.1	82	76	85	51	39	18	8
板柳町	281	11.7	68	68	51	44	31	16	3
大鱈町	300	12.9	75	52	56	43	36	21	17
田舎館村	216	10.0	61	56	32	44	16	4	3
西目屋村	71	9.0	35	8	14	4	6	4	0

管内市町村別年齢別消防団員数

(平成29年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平均 年齢	18歳以上 25歳	26	31	36	41	46	51	56	61歳 以上
			人	人	人	人	人	人	人	人	人
合計	4,634	41.5	219	418	737	836	849	682	562	244	87
弘前市	1,967	41.4	90	167	323	346	354	300	252	113	22
黒石市	793	39.5	44	95	144	156	143	105	73	21	12
平川市	647	44.0	20	37	77	105	127	98	87	68	28
藤崎町	359	41.0	17	37	55	67	69	47	52	11	4
板柳町	281	40.5	15	24	51	39	60	52	32	7	1
大鱈町	300	41.5	25	29	38	51	50	36	45	16	10
田舎館村	216	38.9	6	22	42	62	34	34	14	2	0
西目屋村	71	45.3	2	7	7	10	12	10	7	6	10

管内市町村階級別消防団員年報酬

(平成29年4月1日現在 単位：円)

市町村 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
弘 前 市	78,000	57,000 47,000	41,000 35,000	29,000	26,000	25,000	24,000
黒 石 市	51,700	44,000	26,400	22,500	16,000	15,000	13,200
平 川 市	55,000	45,000	32,000	26,000	24,000	20,000	18,000
藤 崎 町	60,000	49,000	40,000 36,000	25,000	23,000	21,000	19,000
板 柳 町	40,000	29,000	20,000 19,000	15,000	12,000	11,000	10,000
大 鰐 町	57,000	47,000	35,000	28,000	25,000	22,000	20,000
田 舎 館 村	52,800	45,000	30,000	23,600	20,000	16,500	14,500
西 目 屋 村	59,000	49,000	35,000	24,000	21,000	20,000	19,000 10,000

備考 弘前市の副団長上段は、副方面団長 下段は、地区団長、本部付隊長
 弘前市の分団長上段は、本部付分団長 下段は、地区副団長、分団長
 藤崎町の分団長上段は、団付分団長
 板柳町の分団長上段は、団付分団長
 西目屋村の団員下段は、支援団員

管内市町村消防団員出動手当

(平成29年4月1日現在 単位：円)

市町村 \ 区分	1 回 あ た り の 出 動 手 当 額			
	水 ・ 火 災 等	警 戒	訓 練	そ の 他
弘 前 市	2,000	2,000	2,000	2,000
黒 石 市	(定額)9,000 円/年			
平 川 市	1,500	1,500	1,500	1,500
藤 崎 町	2,000	2,000	2,000	2,000
板 柳 町	2,000	2,000	2,000	2,000
大 鰐 町	1,500	1,500	1,500	1,500
田 舎 館 村	(定額) 1 消防部 110,000 円/年		本部 90,000 円/年	
西 目 屋 村	2,000	2,000	2,000	2,000

※ その他は除雪作業等必要により特に招集した時の手当額

地域防災組織



幼・少年消防クラブと婦人防火クラブ

- 幼年消防クラブは、幼年期に正しい火の取扱いに関するしつけを教え、防災教育を通して家庭や周囲の人々の意識を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみの防火の輪を広げることを目的としている。
- 少年消防クラブは、少年少女たちが火災を予防する方法や、火についての問題を身近な生活の中に見出し、それをお互いに研究実行し、周囲の人々に及ぼそうという少年少女たちの学習を基調とした社会、理科等の勉学の向上を図ることを目的とし、地域または学校単位で小学校4年生から中学校3年生の少年、少女の有志によって結成されており、Boys&Girls Fire Clubの頭文字をとってBFCともいう。
- 婦人（女性）防火クラブは、「火災の大半は住宅火災」であることから、常日頃家庭の火気を取扱う機会の多い婦人に対し、火災予防の知識の習得と消火、避難等の行動知識の習熟を図り、家庭からの火災防止と地域の連帯感を高めるものである。

このように各クラブを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域に根ざした自主防災をめざし、恒久的な明るく安全な家庭づくり、地域づくりのため、今後も大いなる活躍が期待されます。

平成28年度の活動状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

幼年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	42	1,579
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	106
巡回広報・街頭広報・防火パレード	65	1,972
視察研修・野外研修・指導者研修	46	1,049
合 計 (A)	154 回	4,706 人

少年消防クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	6	187
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	58
巡回広報・街頭広報・防火パレード	6	75
視察研修・野外研修・指導者研修	8	177
合 計 (B)	21 回	497 人

婦人防火クラブの活動状況

活 動 内 容	実 施 回 数	参 加 人 員
防火映画・防火教室・消防訓練	6	43
青森県中弘地区消防協会観閲式	1	60
青森県南黒地区消防協会観閲式	1	18
巡回広報・街頭広報・防火パレード	14	94
視察研修・野外研修・指導者研修	12	146
合 計 (C)	34 回	361 人

総 合 計 (A) + (B) + (C)	209 回	5,564 人
-----------------------------	-------	---------

幼年消防クラブの状況

(平成29年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	代 表 者
弘 前 市	サムエル保育園幼年消防クラブ	24名	H 3. 7. 25	山 鹿 紀 夫
〃	すみれ保育園幼年消防クラブ	33名	H 3. 7. 25	齋 藤 靈 一
〃	ダビデ保育園幼年消防クラブ	50名	H 3. 7. 25	山 鹿 徳 子
〃	めぐみ保育園幼年消防クラブ	34名	H 3. 7. 25	工 藤 淳
〃	よつば保育園幼年消防クラブ	63名	H 3. 7. 25	◎ 吉 成 千 鶴 子
〃	大開保育園幼年消防クラブ	39名	H 4. 7. 1	三 崎 す み
〃	高杉保育園幼年消防クラブ	20名	H 4. 7. 1	下 山 光 治
〃	致遠保育園幼年消防クラブ	60名	H 4. 7. 1	長 内 昭 子
〃	なかの保育園幼年消防クラブ	36名	H 4. 7. 1	佐 藤 一 人
〃	ようせい保育園幼年消防クラブ	78名	H 4. 7. 1	武 田 芳 子
〃	大沢保育園幼年消防クラブ	26名	H 4. 5. 11	成 田 真 弓
〃	とよだ幼年消防クラブ	30名	H11. 4. 1	一 町 田 英 子
〃	城東保育園幼年消防クラブ	28名	H13. 9. 1	三 浦 テ ッ
〃	弘前保育園幼年消防クラブ	22名	H25. 4. 1	成 田 由 美 子
〃	弥生保育所幼年消防クラブ	15名	H25. 4. 1	神 都 茂 子
小計 (A)	15 ク ラ ブ	558名		
黒 石 市	千徳保育園幼年消防クラブ	37名	H1. 12. 1	村 上 隆 昭
〃	アリス保育園幼年消防クラブ	30名	H1. 12. 1	木 立 睦 子
〃	中郷保育園幼年消防クラブ	38名	H1. 12. 1	山 口 優 美
〃	つくし第一保育園幼年消防クラブ	18名	H2. 12. 1	工 藤 哲 悟 郎
〃	つくし第二保育園幼年消防クラブ	25名	H2. 12. 1	工 藤 悟
〃	黒石若葉保育園幼年消防クラブ	55名	H3. 7. 1	△ 明 本 謙 治
〃	あけぼの保育園幼年消防クラブ	15名	H5. 2. 1	谷 君 雄

〃	幸成保育園幼年消防クラブ	58名	H10. 12. 5	福士 富美子
〃	美郷保育園幼年消防クラブ	55名	H13. 4. 1	湯瀬 久美
小計 (B)	9 クラブ	331名		
平 川 市	平賀あすなろ保育園幼年消防クラブ	21名	S62. 7. 1	小笠原 勝則
〃	尾上育園幼年消防クラブ	24名	H2. 10. 1	○ 藤山 祐一
〃	平賀幼稚園幼年消防クラブ	36名	H5. 5. 6	小山 セツ
〃	日の出こども園幼年消防クラブ	45名	H6. 4. 5	小野 一治
〃	はすね保育園幼年消防クラブ	50名	H15. 2. 1	小田桐 輝雄
〃	大坊こども園幼年消防クラブ	39名	H15. 4. 1	古川 香
小計 (C)	6 クラブ	215名		
藤 崎 町	藤崎保育所幼年消防クラブ	35名	H24. 4. 1	北 畠 富江
〃	小畑保育所幼年消防クラブ	11名	H24. 4. 1	二 唐 潤子
〃	西中野目保育所幼年消防クラブ	15名	H24. 4. 1	平田 けみ子
板 柳 町	板柳第一保育所鶴住幼年消防クラブ	146名	H21. 4. 1	泉 隆 子
〃	板柳第二保育所鶴住幼年消防クラブ	56名	H17. 4. 1	△ 福岡 美紀子
〃	板柳第三保育所鶴住幼年消防クラブ	77名	H17. 4. 1	竹内 文子
〃	小阿弥保育所鶴住幼年消防クラブ	89名	H17. 4. 1	齋藤 育子
〃	畑岡保育所鶴住幼年消防クラブ	63名	H17. 4. 1	竹内 睦子
〃	沿川保育所鶴住幼年消防クラブ	47名	H22. 4. 1	新谷 直子
大 鰐 町	大鰐保育園幼年消防クラブ	37名	H16. 12. 14	村上 むつ子
田 舎 館 村	田舎館こども園幼年消防クラブ	45名	H18. 5. 1	小野 やす子
〃	光田寺保育園幼年消防クラブ	76名	H18. 5. 9	○ 福士 敬博
小計 (D)	12 クラブ	697名		
合計 (A)+(B)+ (C)+(D)	42 クラブ	1,801名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

少年消防クラブの状況

(平成29年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	幹 事 長
弘 前 市	大沢地区少年消防クラブ	47名	S52. 7. 5	△ 小田桐 誠一郎
〃	千年地区少年消防クラブ	20名	S55. 3. 30	◎ 齊 藤 正 明
〃	藤代地区少年消防クラブ	29名	S55. 3. 30	齊 藤 博
〃	清水地区少年消防クラブ	活動休止中	S55. 12. 27	石 岡 正 彦
〃	東目屋地区少年消防クラブ	91名	H 3. 7. 14	○ 三上 百合子
小計 (A)	5 ク ラ ブ	187名		
黒 石 市	黒石小学校少年消防クラブ	41名	S52. 4. 11	渡 邊 幸 司
小計 (B)	1 ク ラ ブ	41名		
合計 (A) + (B)	6 ク ラ ブ	228名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

婦人防火クラブの状況

(平成29年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	委 員 長
弘 前 市	藤代地区婦人防火クラブ	17名	S55. 2. 3	浅原 雅子
〃	清水地区婦人防火クラブ	22名	S55. 3. 9	飛鳥 範子
〃	相馬地区婦人防火クラブ	13名	S55. 3.11	◎ 三上 ナツエ
〃	和徳地区婦人防火クラブ	23名	S55. 3.30	△ 小嶋 ルイ子
小計 (A)	4 ク ラ ブ	75名		
黒 石 市	黒石市女性防火クラブ	15名	H3. 4. 12	鈴木 美香
平 川 市	平賀地区婦人防火クラブ	29名	S53. 4. 1	○ 赤平 喜美子
〃	平川市碓ヶ関地区婦人防火クラブ	9名	H19.10. 1	△ 田中 美保子
田舎館村	田舎館村女性防火クラブ	29名	H58. 3.13	佐々木 久子
西目屋村	西目屋村婦人防火クラブ	15名	S55. 8.27	○ 檜山 玲子
小計 (B)	5 ク ラ ブ	97名		
合計 (A) + (B)	9 ク ラ ブ	172名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

弘前地区消防防災協会

当協会は、昭和43年7月10日に弘前市消防防災協会として設立され、昭和46年4月1日弘前地区消防事務組合発足に伴い協会も広域化し、昭和46年7月15日に名称を弘前地区消防防災協会と改められた。現在は3市3町2村、16部会36班で構成されている。

名 称	弘前地区消防防災協会
事 務 局	弘前地区消防事務組合消防本部内
目 的	本会は、消防防災に関する知識の向上と、各事業所の健全な発展を目指して、災害予防に努めるとともに会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> 1 防火管理の研究 2 消防関係法令の普及 3 災害予防に関する知識の普及と広報 4 災害発生時の相互協力 5 会員の教養、研修 6 災害予防及び自主防災技術の改善並びに本会の発展に特に功労のあった者に対する表彰 7 災害発生時の会員死傷者に対する弔慰 8 その他、本会の目的達成のため必要と認める事項
会 員	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防法に定める防火対象物の関係者 2 消防法に定める危険物を製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 3 液化石油ガス又は圧縮アセチレンガス等の製造、貯蔵又は取扱いをする関係者 4 その他、本会の目的に賛同する者
役 員	会長1名 副会長3名 理事38名以内 監事3名 参与 若干名
会 費	<ol style="list-style-type: none"> 1 会費 年額3,000円 2 賛助費 1口以上(1口5,000円)
平成29年度予算額	4,934,761円

弘前地区消防防災協会部会別・業種別構成

(平成29年4月1日現在)

部会	業種	定数		事業所数
		理事	班長	
		(38)	(36)	
1	映画館・遊技場・集会施設・百貨店・マーケット・各種店舗	3	2	46
2	割烹・料理店・仕出し店・宴会施設・そば・飲食店・集合飲食店	3	2	16
3	旅館・ホテル・浴場・寮・下宿・アパート	3	3	23
4	病院・診療所	2	2	41
5	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・各種学校	2	2	29
6	神社・寺院・教会	2	2	71
7	醸造・工場・作業所	2	2	45
8	官公庁・公的機関・報道機関・金融機関・保険会社・農協	2	2	42
9	石油販売	3	3	40
10	ガス販売	2	3	24
11	保育所・乳児院・社会福祉施設	2	2	55
12	運送業・自動車会社・各種事業所	2	2	44
南	大鱒町内事業所・平川市内事業所(碓ヶ関地区)	3	3	54
北	藤崎町内事業所・板柳町内事業所	3	2	42
西	弘前市岩木、相馬地区内事業所・西目屋村内事業所	2	2	33
東	黒石事業所・平川市内(碓ヶ関地区を除く)事業所・田舎館村内事業所	2	2	52

弘前地区消防防災協会役員事業所名簿

(平成29年4月1日現在)

役 職 名	事 業 所 名
会 長	藤田飲食店
副 会 長	平山萬年堂
	特別養護老人ホーム 大鰐ホーム
	(有)小野印刷所
監 事	(株)青森銀行弘前支店
	東北電力(株)弘前営業所
	弘南バス(株)
第 1 部 会 長	平山萬年堂
第 2 部 会 長	サンパレス秋田屋
第 3 部 会 長	ブロッサムホテル弘前
第 4 部 会 長	健生病院
第 5 部 会 長	東北女子大学
第 6 部 会 長	長勝寺
第 7 部 会 長	弘前航空電子(株)
第 8 部 会 長	弘前市役所
第 9 部 会 長	青森県石油商業組合中弘南支部
第 10 部 会 長	北興液化ガス(株)
第 11 部 会 長	サムエル保育園
第 12 部 会 長	(株)富士商会
南 部 会 長	特別養護老人ホーム 大鰐ホーム
北 部 会 長	(有)猪股住設
西 部 会 長	(株)石豊建設
東 部 会 長	(株)アップルランド南田温泉

弘前地区消防防災協会事業

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

年 月 日	事 業 内 容
平成 28 年 4 月 11 日	春の火災予防運動参加 消防訓練・街頭広報 参加者 5名
平成 28 年 5 月 17 日	平成 28 年度定時総会 於：ホテルニューキャッスル 出席者 105名
平成 28 年 6 月 2 日 ） 平成 28 年 6 月 3 日	危険物取扱者試験事前講習会実施（1回目） 於：弘前消防本部 受講者 40名
平成 28 年 9 月 30 日	自衛消防技術大会 於：運動公園駐車場 出場 20 チーム
平成 28 年 9 月 20 日	秋の火災予防運動ポスターの送付(657 事業所)
平成 28 年 10 月 17 日	秋の火災予防運動参加 街頭広報・消防訓練 参加者 4名
	防火作品最優秀賞表彰式 於：消防本部大会議室 表彰 8名
平成 28 年 10 月 17 日 ） 平成 28 年 11 月 7 日	防火作品展開催 於：ヒロロ 3F(ヒロロスクエア) 管内幼稚園、保育園・保育所、管内小学校（1～6年生） 応募作品数 1, 141点 入賞作品 176点
平成 28 年 10 月 27 日 ） 平成 28 年 10 月 28 日	危険物取扱者試験事前講習会実施（2回目） 於：消防本部大会議室 受講者 25名
平成 29 年 1 月 18 日	防災ニュース第 46 号発行、住警器パンフレット配布 657 事業所及び関係機関
平成 29 年 3 月 14 日	春の火災予防運動ポスターの送付(657 事業所)
随 時	各部会の開催
	会員増強運動

付 録

明治以降の主な火災

(表中の平成 22 年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載)

明治 13 年 5 月 15 日	元寺町より出火し、本町、元大工町、元長町、親方町、元寺町、元寺町小路、上鞆師町、鉄砲町、一番町、百石町、下土手町、鍛冶町、新鍛冶町、北川端町、桶屋町にかけて、1,064 戸焼損。死者 3 名
明治 18 年 9 月 12 日	中郡公立中学校より出火し、同校及び東奥義塾全焼
10 月 21 日	和徳町より出火、代官町、茶畑町に延焼し、100 戸焼損
明治 22 年 10 月 25 日	東奥義塾より出火し、2 棟 400 坪全焼
明治 23 年 3 月 4 日	第一大成小学校全焼
明治 25 年 6 月 20 日	市役所、警察署、県尋常中学校焼損
明治 34 年 5 月 1 日	楮町より出火、松森町に延焼し、61 戸焼損
明治 36 年 5 月 8 日	元寺町の旅館より出火し、55 戸焼損
明治 39 年 4 月 21 日	弘前城北の郭の櫓、花火により焼損
5 月 25 日	輔重隊より出火し、大隊本部、1. 2 中隊舎 7 棟、332 坪焼損
8 月 23 日	弘前城西の郭の櫓(埋御門内側)焼損
9 月 28 日	土手町蓬莱橋際より出火し、38 戸焼損
明治 42 年 5 月 2 日	鞆師町より出火、百石町に延焼し、43 戸焼損、死者 3 名
明治 43 年 12 月 7 日	土手町の旅館より出火し、44 戸焼損、死者 1 名
大正 2 年 12 月 4 日	弘前裁判所全焼、4 棟 113 坪焼損
大正 6 年 5 月 18 日	清水村富田より出火、土手町、品川町、新品川町、松森町、楮町、新楮町、豊田村小比内、外崎一円が焼損。全焼 533 戸、半焼 8 戸、死者 1 名、郡役所、清水村役場、第二大成小学校焼損
昭和 2 年 5 月 29 日	北横町遊郭より出火し、和徳町、南横町、萱町、植田町、代官町、茶畑町、和徳町の一部を焼損、全焼 538 戸の外、和徳小学校焼損
昭和 3 年 4 月 18 日	富田町より出火、富田大通、偕行社通、住吉町、中土手町、上土手町、松森町、品川町、新品川町、楮町、代官町、上瓦ヶ町、和徳町、停車場通、豊田村の一部に及び全焼 610 戸、半焼 19 戸、死者 1 名、第一大成小学校、第二大成小学校焼損
11 月 8 日	富田小学校焼損
昭和 5 年 6 月 15 日	時敏小学校焼損
昭和 9 年 5 月 18 日	市立弘前病院焼損、4 棟 400 坪
昭和 22 年 2 月 5 日	紺屋町秩父宮殿下元御仮邸(菊池別邸)全焼、3 棟 1,386 m ² 焼損
昭和 24 年 4 月 14 日	津軽病院全焼、8 棟焼損 (5,221 m ²)、死者 5 名
4 月 18 日	弘前税務署(元師団経理部)全焼、3 棟焼損 (1,274 m ²)
10 月 12 日	時敏小学校焼損
10 月 23 日	朝陽小学校全焼、塩分町、15 戸焼損
12 月 31 日	弘前裁判所全焼

昭和 27 年 5 月 4 日	土手町繁華街(蓬莱橋東側) 16 戸焼損
12 月 20 日	上白銀町 藤田別邸焼損(1,079 m ²)
昭和 31 年 5 月 21 日	弘前市小比内地区、全焼(住家 10 戸、非住家 17 棟)、半焼(住家 1 戸、非住家 1 棟)
7 月 21 日	第一中学校一部焼損(832 m ²)
昭和 35 年 5 月 13 日	柴田学園全焼、北瓦ヶ町 10 戸焼損(6,280 m ²)
昭和 37 年 1 月 27 日	下白銀町 弘前大学教育学部西校舎焼損(3,098 m ²)
昭和 39 年 4 月 6 日	土手町 Kデパート焼損(1,377 m ²)
昭和 42 年 4 月 17 日	富田町印刷工場全焼(1,075 m ²)
昭和 44 年 1 月 31 日	弘前高等学校焼損(1,130 m ²)
1 月 31 日	津軽病院全焼(4,125 m ²)
昭和 47 年 7 月 20 日	柴田女子高校全焼(2,460 m ²)
昭和 50 年 10 月 12 日	西目屋中学校全焼(1,497 m ²)
昭和 54 年 8 月 21 日	一野渡鷺ノ巣国有林 1,110a 焼損
昭和 59 年 10 月 18 日	相馬村、りんごパック製造工場全焼 (1,376 m ²)、損害額 1 億 323 万円
昭和 60 年 6 月 29 日	一野渡鷺ノ巣国有林 620a 焼損
昭和 61 年 2 月 8 日	大森 知的障害者更生施設焼損(145 m ²)、死者 2 名、負傷者 6 名
3 月 28 日	清水二丁目 缶詰工場焼損(1,524 m ²)、損害額 1 億 9,682 万円
平成 8 年 11 月 1 日	碓ヶ関村 旅館 2 棟全焼(1,692 m ²)、死者 1 名、負傷者 2 名、損害額 5,961 万円
平成 13 年 5 月 8 日	消費者金融支店 (Nビル 3 階)、96.30 m ² のうち事務室及び管理室 85.16 m ² 焼損、死者 5 名、負傷者 4 名
平成 16 年 1 月 3 日	大鱈町 住宅 1 棟焼損 (132 m ²)、死者 5 名、負傷者 2 名
1 月 26 日	弘前市国吉 温泉旅館 1 棟焼損 (1,077 m ²)、損害額 1 億 1,059 万円
平成 17 年 9 月 5 日	弘前市 連続 8 件火災(建物 6、車輛 1、その他 1)
12 月 25 日	常盤村 住宅 1 棟全焼(145 m ²)、死者 3 名、負傷者 1 名
平成 21 年 3 月 8 日	弘前市 住宅等 7 棟焼損(1,667 m ²)、負傷者 1 名
平成 22 年 11 月 20 日	弘前市 飲食店舗兼住宅等 6 棟焼損(505 m ²)、死者 1 名、負傷者 10 名
平成 26 年 4 月 27 日	大鱈町 住宅等 18 棟焼損(1,012 m ²)、死者 1 名
6 月 5 日	大鱈町 国有林 15.64ha 焼損
平成 27 年 8 月 4 日	大鱈町 作業所兼住宅等 14 棟焼損 (1,848 m ²)、負傷者 4 名
9 月 18 日	黒石市 小学校 1 棟焼損 (48 m ²)、死者 1 名、負傷者 7 名

明治以降の主な災害（火災を除く）

（表中の平成9年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 29 年 7 月 21 日	県下に大雨あり、土洩川氾濫、徒町川端一帯床上浸水
昭和 7 年 8 月 3 日 5 日	津軽地方 30 年来の洪水、岩木川、土洩川氾濫、駒越町、新町、徒町川端町、北横町、品川町被害甚大、床上浸水 41 棟、床下 90 棟、南塘は鏡ヶ池再現
昭和 10 年 8 月 21 日 24 日	豪雨により土洩川氾濫、床上浸水 73 棟、床下浸水 369 棟 平川の氾濫により大鰐町全町浸水、平川鉄橋流失、死者行方不明 25 名、負傷者 181 名
昭和 30 年 7 月 3 日 4 日	津軽地方一帯豪雨となり、各河川が急激に増水し、岩木川氾濫 3 橋梁流失
8 月 20 日	中弘地方を襲った豪雨で、岩木川氾濫、目屋の 4 橋梁流失
昭和 33 年 8 月 11 日 12 日	豪雨により岩木川氾濫、下町を中心に 51 町会 3,037 世帯被害、家屋全壊流失 45 棟、半壊 90 棟、床上浸水 1,435 棟、床下浸水 1,467 棟、死者 3 名、11 橋梁流出、損害合計 13 億 5 千万円
9 月 17 日 18 日	台風 21 号の影響により、土洩川氾濫、唐金橋外 4 橋梁流出、家屋全壊流失 37 棟、半壊 7 棟、床上浸水 570 棟、床下浸水 988 棟
昭和 35 年 8 月 2 日 3 日	津軽地方の豪雨により、平川氾濫、田町、三八町の外、和徳、千年、新和、石川地区被害、全壊流失 3 棟、半壊 6 棟、床上浸水 340 棟、床下浸水 600 棟、死者 3 名、損害合計 3 億 8,222 万円
昭和 50 年 8 月 5 日 6 日	津軽地方を襲った豪雨は、弘前市をはじめ各地で大きな被害、なかでも岩木町百沢で蔵助沢の鉄砲水により死者 22 名、負傷者 45 名と局地災害では、県水害史上最大の被害となった。
8 月 20 日	津軽地方の大雨により、土洩川氾濫、小沢地区から平川合流点に至る 14.8 km の沿岸一帯被害、全壊流失 33 棟、半壊 29 棟、床上浸水 1,403 棟、床下浸水 2,072 棟、損害合計 46 億 6,459 万円

昭和 52 年 8 月 5 日

集中豪雨により土湊川、寺沢川氾濫、特に寺沢川上流の溜池決壊により急激な増水、死者 9 名、負傷者 20 名、人命救助 344 名、全壊流失 12 棟、半壊 76 棟、床上浸水 1,943 棟、床下浸水 2,972 棟、損害合計 71 億 1,234 万円

平成 3 年 9 月 28 日

台風 19 号の暴風により、組合管内で大きな被害を受けた。

		弘前市	大鰐町	藤崎町	岩木町	常盤村	碓ヶ関村	相馬村	西目屋村
人的被害(名)	死者	3			1				
	負傷者	重傷	2	5			1	1	
		軽傷	9	25	3	2	6	1	2
	合計	14	30	3	3	6	2	3	1
家屋被害(棟)	全壊	26	18		3	3		1	
	半壊	270	169	71	48	49	17	13	1
	一部損壊	4,948	668	402	351	210	152	60	44
	合計	5,244	855	473	402	262	169	74	45
損害額(万円)	建物関係	377,380	91,330	41,870	34,560	32,760	13,670	7,350	2,890
	農林関係	2,415,705	609,866	265,371	572,995	47,362	157,030	335,423	71,666
	合計	2,793,085	701,196	307,241	607,555	80,122	170,700	342,773	74,556

平成 9 年 5 月 7 日

発達した低気圧による風雨と目屋ダムの放水(最大放水量 792 m³/秒)

9 日

により組合管内に大きな風雨被害を受けた。被害総額 3,237,640 千円

弘前市	住家一半壊 1 棟、一部損壊 1 棟、床上浸水 1 棟、床下浸水 3 棟
岩木町	住家一床下浸水 1 棟、浸水被害一水田 32 a 岩木川沿地区 256 戸に避難勧告
相馬村	住家一床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟、浸水被害一水田 20 a 紙漉沢、五所地区 39 戸に避難指示
大鰐町	宿川原橋損壊、虹貝地区道路陥没
藤崎町	浸水被害一りんご園 67ha
碓ヶ関村	土砂崩壊、林道決壊
西目屋村	村内電話不通 435 回線

平成 25 年 9 月 16 日

台風 18 号の影響により、県内は猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの総雨量(気象庁の観測データ)は、大鰐町で 214 ミリ、弘前市で 202 ミリ、平川市で 201 ミリ、黒石市で 188 ミリを記録し、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水、りんご園地等の浸水など津軽地方に甚大な被害をもたらした。

平成 28 年 4 月 17 日

発達した低気圧による暴風により組合管内に大きな被害を受けた。

		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	大鰐町	板柳町	田舎館村	西目屋村
人的被害 (名)	負傷者								
	重傷	1			1		1		
	軽傷								
	合計	1			1		1		
家屋・農業施設被害 (棟)	全壊	42	14	14	22	14	2	7	
	半壊	22	18		16	18	3	9	
	一部損壊	166	7	79	99	7	31	54	
	合計	230	39	93	137	39	36	70	
損害額(万円)		5,098	118	1,756	2,133	1,069	354	1,576	0

歴代消防長等

(平成29年4月1日現在)

※各表の階級欄は就任時の階級

弘前地区消防事務組合消防長

旧弘前市消防本部 S24.4.1～S46.3.31

旧弘前地区消防事務組合 S46.4.1～H25.6.30

新弘前地区消防事務組合 H25.7.1～

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防長	岩淵 勉	S24. 4. 27		弘前市長兼任
2代	消防司令長	石川 源太	S24. 5. 31	S29. 2. 19	
3代	消防監補	桑田 善太郎	S29. 4. 1	S32. 10. 31	
4代	消防監	上田 勝夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	
5代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	
6代	〃	桑田 貞一	S39. 8. 18	S50. 9. 30	
7代	〃	福井 正男	S50. 10. 1	S55. 9. 30	(S55. 4. 1 消防正監)
8代	消防正監	工藤 富蔵	S55. 10. 1	S56. 9. 30	
9代	〃	長津 仗	S56. 10. 1	S60. 3. 31	
10代	〃	猪股 清市郎	S60. 4. 1	H元. 3. 31	
11代	〃	中村 昭雄	H元. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	石戸谷 一弘	H 4. 4. 1	H 7. 3. 31	
13代	〃	相馬 達三	H 7. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	小山内 司	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	成田 文英	H14. 4. 1	H19. 3. 31	
16代	〃	尾崎 善造	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
17代	〃	齋藤 則明	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
18代	〃	小田桐 伸一	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	〃	木村 誠二	H23. 4. 1	H26. 3. 31	
20代	〃	福士 文敏	H26. 4. 1	在職中	

旧黒石地区消防事務組合消防長

旧黒石町消防本部 S27. 4. 1～S29. 6. 30
 旧黒石市消防本部 S29. 7. 1～S46. 3. 31
 旧黒石地区消防事務組合 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	
2代		鳴海清四郎	S33. 4. 1	S33. 8. 9	黒石市助役兼任
3代		高樋竹次郎	S33. 8. 10	S47. 3. 9	黒石市長、管理者兼任
4代	消防監	角田壮一	S47. 3. 10	S54. 7. 31	
5代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S56. 3. 31	
6代	〃	田中寿	S56. 4. 1	S60. 3. 31	
7代	〃	岡崎俊司	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	
8代	〃	中村民蔵	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
9代	〃	工藤龍明	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
10代	〃	高樋浅光	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
11代	〃	工藤茂春	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	佐藤信男	H 8. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	盛鐘治	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	中村寿	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
15代	〃	森勇一	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
16代	〃	丹羽仁吉	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
17代	〃	佐藤友昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
18代	〃	種市達男	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧平川市消防本部消防長

旧平賀・尾上地区消防事務組合 S44. 4. 1～H10. 7. 2
 旧平賀・尾上地区消防等事務組合 H10. 7. 3～H17. 12. 31
 旧平川市消防本部 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	水木強二	S44. 4. 1	S53. 12. 6	平賀町長
2代	〃	原田忠太郎	S53. 12. 7	S61. 12. 6	〃
3代	〃	奈良蓮雄	S61. 12. 8	H 2. 2. 21	〃
4代	〃	長内精四郎	H 2. 2. 22	H 3. 3. 31	
5代	〃	菊池今朝男	H 3. 4. 1	H 3. 8. 15	
6代	〃	木村丞	H 3. 8. 16	H 5. 3. 31	
7代	〃	船越暁穂	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
8代	〃	富谷正男	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
9代	〃	成田忠則	H10. 4. 1	H16. 3. 31	
10代	〃	三浦久	H16. 4. 1	H17. 12. 31	
	消防司令長	稲葉良三	H18. 1. 1	H18. 3. 31	職務代理者（次長）
11代	消防監	菊池吉郎	H18. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	消防司令長	駒井祐正	H22. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防長

旧板柳町消防本部 S42. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		木村定吉	S42. 4. 1	S42. 4. 29	板柳町長
2代		竹浪春夫	S42. 4. 30	S62. 4. 29	〃
3代		木村章一	S62. 4. 30	H元. 8. 31	〃
4代	消防監	阿保小東	H元. 9. 1	H 2. 3. 31	署長兼任
5代	〃	三浦得三郎	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	
6代	〃	竹内秀次	H11. 4. 1	H15. 3. 31	
7代	〃	三上壽満	H15. 4. 1	H17. 3. 31	
8代	〃	三上秀治	H17. 4. 1	H21. 3. 31	
9代	消防司令長	中村徹	H21. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	〃	阿保久	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

弘前地区消防事務組合消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	佐井 留太郎	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防司令長	小向 清之助	S27. 3. 3	S32. 10. 31	
3代	〃	対馬 庄一	S32. 11. 11	S37. 4. 8	
4代	〃	中村 忠治	S37. 4. 9	S42. 9. 30	
5代	消防司令	工藤 富蔵	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
6代	〃	奈良 正美	S43. 10. 1	S44. 9. 27	
7代	〃	工藤 富蔵	S44. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	消防司令長	福井 正男	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	工藤 富蔵	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	桜庭 達三	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	工藤 富蔵	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	宮崎 孝司	S55. 10. 1	S59. 3. 31	
13代	〃	竹内 實	S59. 4. 1	S63. 3. 31	
14代	〃	西沢 勝三	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
15代	〃	木村 悟	H 2. 4. 1	H 5. 3. 31	
16代	〃	相馬 達三	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
17代	〃	田村 勝照	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	
18代	消防監	佐藤 正蔵	H11. 4. 1	H14. 3. 31	
19代	消防司令長	猪股 進三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	(H15. 4. 1 消防監)
20代	消防監	笹田 将良	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
21代	〃	斎藤 伸夫	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
22代	〃	小田 桐伸一	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
23代	〃	秋元 裕	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
24代	〃	木村 誠二	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
25代	〃	佐藤 健治	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
26代	〃	下山 俊光	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
27代	〃	種市 達男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
28代	〃	阿保 弘毅	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	三浦 良樹	H29. 4. 1	在職中	
		長尾 幸喜			弘前消防署長兼任

方面本部長

弘前方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	福士 文敏	H25. 7. 1	S26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	工藤 弥司広	H26. 4. 1	H27. 3. 31	弘前消防署長兼任

黒石方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	種市 達男	H25. 7. 1	S26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	内山 進一郎	H26. 4. 1	H27. 3. 31	黒石消防署長兼任

平川方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	石田 英造	H25. 7. 1	S26. 3. 31	消防次長兼任
2代	消防監	阿保 弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	平川消防署長兼任

板柳方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	阿保 久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	板柳消防署長兼任 (H26. 4. 1 消防監)

旧黒石地区消防事務組合消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		角田 壮一	S39. 1. 1	S46. 3. 31	黒石市助役兼任
2代	消防司令長	岩谷 克己	S51. 4. 1	S55. 3. 31	
3代	〃	工藤 龍明	H元. 4. 1	H 4. 3. 31	
4代	〃	高桶 浅光	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
5代	〃	工藤 茂春	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
6代	〃	佐藤 信男	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	警防課長兼任
7代	〃	坂本 吉雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
8代	〃	富谷 勝徳	H10. 4. 1	H11. 3. 31	署長兼任
9代	〃	高田 正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
10代	〃	豊巻 正夫	H12. 4. 1	H13. 3. 31	心得・総務課長
11代	〃	中村 寿	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
12代	〃	森 勇一	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
13代	〃	八木橋 兼司	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
14代	〃	佐藤 友昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
15代	〃	種市 達男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	総務課長兼任
16代	〃	内山 進一郎	H24. 4. 1	H25. 6. 30	予防課長兼任

旧平川市消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑 忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	署長兼任
2代	〃	古川 清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤 専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水 永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木 二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部 貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川 隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦 孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内 精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	菊池 今朝男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤 文夫	H 3. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	工藤 栄造	H 8. 4. 1	H14. 3. 31	
13代	〃	山本 一雄	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	稲葉 良三	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
15代	〃	齋藤 満郎	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
16代	〃	山口 眞一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
17代	消防司令	山口 勇一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
18代	〃	工藤 義昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
19代	〃	石田 英造	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

旧板柳町消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤 信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田 勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	署長兼任
3代		桜庭 敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山 富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村 忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保 小東	S60. 4. 1	H元. 8. 31	〃
7代	〃	竹内 秀次	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	〃
8代	〃	佐藤 廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
9代	〃	中村 徹	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
10代	消防司令	田中 諭	H21. 4. 1	H22. 6. 30	署長兼任
11代	〃	阿保 久	H22. 7. 1	H24. 3. 31	
12代	〃	三橋 一徳	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
13代	〃	村上 毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	署長兼任

弘前消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	小向 清之助	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防監補	桑田 善太郎	S32. 5. 1	S32. 10. 31	消防長兼任
3代	消防監	上田 勝夫	S32. 11. 1	S37. 7. 8	〃
4代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	〃
5代	〃	桑田 貞一	S39. 8. 18	S42. 9. 30	〃
6代	消防司令長	中村 忠治	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
7代	〃	福井 正男	S43. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	〃	工藤 富蔵	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	白取 嘉四雄	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	工藤 富蔵	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	白取 嘉四雄	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	建部 清五郎	S55. 10. 1	S63. 3. 31	
13代	〃	工藤 嘉久	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
14代	〃	鈴木 督朗	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
15代	〃	佐藤 正蔵	H 4. 4. 1	H10. 3. 31	
16代	〃	斎藤 昭雄	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
17代	消防監	笹田 将良	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
18代	〃	斎藤 伸夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
19代	〃	工藤 治	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
20代	消防司令長	長谷川 芳範	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	消防監	成田 裕太郎	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	佐藤 健治	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	久保 豊	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
24代	〃	福士 文敏	H24. 4. 1	H25. 6. 30	
25代	〃	工藤 弥司広	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
26代	〃	一町田 誠	H27. 4. 1	H27. 10. 29	
27代	〃	阿保 弘毅	H27. 10. 30	H27. 11. 30	消防次長兼任
28代	〃	三浦 良樹	H27. 12. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	長尾 幸喜	H29. 4. 1	在職中	消防次長兼任

東消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	白取 嘉四雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
2代	〃	建部 清五郎	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
3代	〃	土岐 春雄	S55.10. 1	S58. 3. 31	
4代	〃	工藤 嘉久	S58. 4. 1	S63. 3. 31	
5代	〃	鈴木 督朗	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
6代	〃	赤石 光雄	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	
7代	〃	小山 亮	H 3. 4. 1	H 4. 3. 31	
8代	〃	山田 俊昭	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
9代	〃	斎藤 昭雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
10代	〃	佐藤 正蔵	H10. 4. 1	H11. 3. 31	
11代	〃	小山内 国晴	H11. 4. 1	H12. 3. 31	
12代	〃	山本 正弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	猪股 進三	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
14代	〃	斎藤 伸夫	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
15代	〃	工藤 昇	H16. 4. 1	H20. 3. 31	(H18. 4. 1 消防監)
16代	〃	成田 裕太郎	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
17代	〃	佐藤 健治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
18代	〃	成田 康晴	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	消防監	福士 文敏	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
20代	消防司令長	三上 吾郎	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
21代	消防監	工藤 弥司広	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
22代	〃	阿保 弘毅	H25. 7. 1	H26. 3. 31	
23代	〃	一町田 誠	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
24代	〃	村山 潤一	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
25代	〃	山本 新次	H29. 4. 1	在職中	

黒石消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	消防長兼任
2代	〃	工藤薫三	S33. 4. 3	S38. 12. 31	
3代		角田壮一	S39. 1. 1	S39. 3. 19	助役兼任
4代	消防司令	田村源五郎	S39. 3. 20	S42. 9. 30	
5代		角田壮一	S42. 10. 1	S43. 3. 31	助役兼任
6代	消防司令長	簾屋正三	S43. 4. 1	S44. 11. 30	
7代	〃	盛重徳	S44. 12. 1	S49. 3. 31	
8代	消防監	角田壮一	S49. 4. 1	S54. 7. 31	消防長兼任
9代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S55. 3. 31	〃
10代	消防司令長	岩谷克己	S55. 4. 1	S62. 3. 31	
11代	〃	高樋浅光	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	工藤茂春	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
13代	〃	佐藤信男	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
14代	〃	坂本吉雄	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
15代	〃	富谷勝徳	H 8. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
16代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
17代	〃	中村寿	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
18代	〃	福士良衛	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
19代	〃	豊巻正夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
20代	〃	佐藤昭秀	H18. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	〃	今清治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	山本茂夫	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	相馬義春	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
24代	〃	村山潤一	H25. 4. 1	H26. 3. 31	
25代	消防監	内山進一郎	H26. 4. 1	H29. 3. 31	方面本部長兼任 (H27. 4. 1 方面本部長兼任解除)
26代	〃	工藤耕三	H29. 4. 1	在職中	

平川消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	相馬伊佐男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤文夫	H 3. 4. 1	H 5. 3. 31	消防次長兼任
12代	〃	工藤栄造	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
13代	〃	一戸武二	H 8. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	福士順蔵	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	稲葉良三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
16代	〃	齋藤満郎	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
17代	〃	山口眞一	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
18代	〃	山口勇一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
19代	消防司令	工藤義昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
20代	〃	一戸武彦	H23. 4. 1	H26. 3. 31	(H25. 7. 1 消防司令長)
21代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任
22代	〃	山本新次	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
23代	〃	山口金彦	H29. 4. 1	在職中	

板柳消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	消防次長兼任
3代		桜庭敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保小東	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	〃
7代	〃	松山秀雄	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	消防長心得兼任
8代	〃	会津武志	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	〃
9代	〃	竹内秀次	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
10代	〃	佐藤廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
11代	〃	会津静男	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
12代	〃	田中諭	H21. 4. 1	H22. 3. 31	消防次長兼任
13代	〃	三橋一徳	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
14代	〃	諏訪孝栄	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
15代	〃	村上毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
16代	〃	阿保久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任 (H26. 4. 1 消防監)
17代	〃	大川欽三	H27. 4. 1	H29. 3. 31	(H28. 4. 1 消防監)
18代	〃	佐藤雅幸	H29. 4. 1	在職中	

旧弘前地区消防事務組合の沿革

年 月	状 況
昭和 24 年 4 月	弘前市大字元寺町に弘前市消防本部及び消防署開設 職員 34 名
昭和 26 年 8 月	弘前市大字本町へ消防庁舎落成、元寺町から消防本部、消防署移転する。
昭和 27 年 3 月	消防署を廃止し、消防本部の一本化を図る。
昭和 30 年 2 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
昭和 32 年 5 月	弘前市消防署再設、弘前市大字松森町に松森町分署開設する。
昭和 33 年 4 月	消防職員定数改正により職員 79 名となる。
昭和 38 年 9 月	消防職員定数改正により職員 81 名となる。
昭和 39 年 8 月	救急車を購入し、弘前市消防署で救急業務を開始する。
昭和 40 年 1 月	弘前市消防本部及び消防署庁舎落成、電話交換機、一斉指令装置を設置する。
昭和 42 年 10 月	消防長兼署長制から専任署長制となる。
昭和 43 年 12 月	弘前市大字豊田字豊原に柘形分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 44 年 12 月	弘前市大字鳥町字鳥町に藤代分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 45 年 10 月	柘形分署に 20m 級スノーケル車配備
昭和 46 年 4 月	一市二町二村（弘前市、大鰐町、藤崎町、常盤村、碓ヶ関村）により弘前地区消防事務組合発足する。
	弘前市消防職員 106 名、車両等弘前市から弘前地区消防事務組合へ移管
7 月	松森町分署に救急車配備、救急業務を開始する。
8 月	松森町分署に化学消防ポンプ自動車配備
10 月	広域消防業務を開始する。
	大鰐町大字大鰐字前田に南分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 10 名
	藤崎町大字水沼字浅田に北分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 12 名
	南分署碓ヶ関出張所（碓ヶ関村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 7 名
昭和 47 年 2 月	南分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	職員定数改正により職員 149 名となる。
7 月	南分署、北分署に普通消防ポンプ自動車各 1 台配備
昭和 48 年 2 月	北分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	中津軽郡一町二村（岩木町、相馬村、西目屋村）組合に加入
	職員定数改正により職員 169 名となる。
6 月	西分署（岩木町消防屯所借用）開設、消防、救急業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車、救急車配備、職員 12 名
	西分署目屋出張所（西目屋村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 5 名

昭和 49 年	3 月	岩木町大字鳥井野字宮本に西分署庁舎落成移転する。
	7 月	弘前消防署に 35m 級はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和 50 年	4 月	職員定数改正により職員 178 名となる。
	7 月	弘前地区消防事務組合に防災宣伝車配備（防災協会より寄贈）
昭和 51 年	8 月	南分署碓ヶ関出張所に救急車配備、救急業務を開始する。
昭和 52 年	1 月	弘前市大字外崎字豊田に東消防署庁舎落成
	4 月	職員定数改正により職員 182 名となる。 東消防署、消防、救急業務を開始する。 ・普通消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、スノーケル車、救急車配備 職員 23 名 東消防署開設により 2 署 6 分署 2 出張所となる。
昭和 53 年	4 月	救助用訓練塔落成（東消防署構内）
	7 月	第 7 回全国消防救助技術大会県予選会開催（於東消防署）
	8 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、消防庁長官より表彰状授与される。
	9 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、内閣総理大臣より表彰状及び楯授与される。
	10 月	職員定数改正により職員 194 名となる。
昭和 54 年	4 月	職員定数改正により職員 200 名となる。
	8 月	弘前市からマイクロバス移管
	10 月	東北自動車道、青森 I C～大鰐弘前 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 55 年	9 月	弘前消防署西分署目屋出張所を弘前消防署目屋分署に、東消防署南分署碓ヶ関出張所を東消防署碓ヶ関分署に改称 碓ヶ関村大字碓ヶ関字鯨森に碓ヶ関分署庁舎落成移転（碓ヶ関村消防屯所と合同使用）
	10 月	職員定数改正により職員 201 名となる。 東北自動車道、大鰐弘前 I C～碓ヶ関 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 57 年	1 月	東消防署松森町分署廃止 弘前市大字小友字神原に西北分署庁舎落成、消防、救急業務を開始する。 ・水槽付消防ポンプ自動車、救急車、広報連絡車配備 職員 10 名 目屋分署、碓ヶ関分署に広報連絡車配備
昭和 58 年	8 月	目屋分署救急業務を開始する。
昭和 61 年	3 月	大鰐町大字蔵館字金坂に南分署庁舎落成移転
	7 月	東北自動車道全線開通に伴い、十和田 I C まで所管となる。
	12 月	東消防署に 30m 級はしご付消防自動車配備（4WS） 救急医療情報システム運用開始する。
昭和 62 年	4 月	消防本部の組織規則改正により警防課通信指令室発足 室長ほか 10 名

	11月	東消防署に救助工作車配備
昭和63年	4月	通信指令室に通信第一係、通信第二係を設ける。
	12月	藤代分署庁舎新築
平成元年	4月	職員定数改正により職員207名となる。
平成2年	10月	東北自動車道小坂IC開通に伴い、小坂ICまで所管となる。
平成3年	2月	枅形分署庁舎新築（2月業務開始）
	4月	職員定数改正により職員214名となる。
	11月	枅形分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
平成4年	4月	職員定数改正により職員226名となる。
平成5年	3月	弘前消防署に高規格救急自動車配備
平成6年	3月	弘前消防署に40m級はしご付消防自動車配備
	4月	職員定数改正により職員247名となる。
平成7年	3月	枅形分署に小型動力ポンプ付水槽車配備
平成8年	3月	東消防署に高規格救急自動車配備
	4月	職員定数改正により職員256名となる。
平成9年	4月	藤代分署に救急車を配備、救急業務を開始する。 職員定数改正により職員268名となる。
平成10年	4月	弘前消防署及び東消防署に救急第一係、救急第二係を新設 消防本部の組織規則改正により消防本部総務課「庶務係」を「総務係」に改める。 消防署組織規程改正により分署の「消防係」を「消防第一係、消防第二係」に改める。
平成11年	1月	北分署に高規格救急自動車配備 目屋分署庁舎新築（4月業務開始）
	3月	消防本部・弘前消防署仮設消防庁舎での業務開始
	5月	東消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成12年	3月	職員定数改正により職員270名となる。
	4月	女性消防吏員採用 西分署に高規格救急自動車配備
平成13年	2月	消防本部、弘前消防署新消防庁舎での業務開始
	4月	消防本部の組織規則改正により「通信指令室」を「通信指令課」に改める。
	4月	南分署に高規格救急自動車配備
	12月	弘前消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成14年	2月	碓ヶ関分署に高規格救急自動車配備
	12月	枅形分署に高規格救急自動車配備
平成15年	1月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に係長兼務の主幹を設ける。
	4月	消防本部組織規則改正により消防本部警防課に救急救助係を新設
平成16年	4月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急係を救急救助係に改め、主幹兼警防係長の兼務を解除し新たに、警防係、予防係、救急救助係に専任主幹を配置

平成 17 年	1 月	東消防署にはしご付消防自動車（30m級）を更新配備
	3 月	藤代分署に高規格救急自動車配備
	3 月	市町村合併に伴い、3 月 27 日をもって藤崎町及び常盤村が脱退しその区域をもって、3 月 28 日から藤崎町が加入し、構成市町村が一市三町三村となる。
	4 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に課長補佐を設ける。
平成 18 年	1 月	市町村合併に伴い、平成 17 年 12 月 31 日をもって碓ヶ関村が脱退し、平成 18 年 1 月 1 日から平川市（旧碓ヶ関村の区域に限る）が加入し、構成市町村が二市三町二村となる。
	2 月	市町村合併に伴い、2 月 26 日をもって弘前市、岩木町及び相馬村が脱退し、その区域をもって、2 月 27 日から弘前市が加入し、構成市町村が二市二町一村となる。
平成 19 年	3 月	西北分署に高規格救急自動車配備
	4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急救助係を救急係に、警防係を警防救助係に改め、新たに総務係を新設し専任主幹を配置 藤代分署、西分署、柘形分署、南分署及び北分署の消防係を警防係に改め、新たに予防救急係を新設し、各分署に消防主幹を設ける。
平成 20 年	3 月	目屋分署に高規格救急自動車配備
	7 月	弘前地区消防事務組合に防火指導車配備（防災協会より寄贈）
平成 22 年	4 月	消防本部組織規則改正により「警防課 警防係」を「警防課 警防救助係」に、「警防課 救急救助係」を「警防課 救急係」に改める。
	12 月	弘前消防署に指揮隊車配備
平成 23 年	4 月	消防署組織規程改正により、分署の「主幹」を「副分署長」に改める。
	11 月	西分署新消防庁舎での業務開始（平成 24 年 4 月 1 日全面供用開始）
平成 24 年	9 月	弘前消防署に高規格救急車を更新配備（J A 共済より寄贈） 西分署に資機材搬送車配備（国有財産等無償使用）
平成 25 年	3 月	西北分署に燃料補給車配備（国有財産等無償使用）

旧黒石地区消防事務組合の沿革

(旧黒石地区消防事務組合平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 27 年 4 月	黒石町消防本部・署開設、職員 7 名
昭和 29 年 7 月	町村合併により黒石市消防本部・署となる。
昭和 37 年 8 月	温湯分署開設、職員 7 名
昭和 44 年 7 月	黒石市消防庁舎新築（鉄筋コンクリート造 2 階建）
昭和 46 年 4 月	黒石市と田舎館村により黒石地区消防事務組合発足 消防本部 1、消防署 1、分署 1、職員 38 名（条例定数 57 名）
10 月	田舎館分署開設
昭和 49 年 4 月	消防職員定数改正により職員 67 名となる。
昭和 52 年 4 月	消防職員定数改正により職員 77 名となる。
昭和 55 年 4 月	田舎館分署を田舎館消防署に昇格、1 本部、2 消防署、1 分署となる。 消防職員定数改正により職員 90 名となる。
昭和 55 年 12 月	温湯分署移転新築工事竣工、温湯分署を山形分署に名称変更 （鉄骨造平屋建 291.0 m ² ）
昭和 57 年 1 月	田舎館消防署車庫増築（鉄骨造平屋建 25.92 m ² ）
昭和 58 年 7 月	消防本部課制を施行する。
平成 6 年 10 月	消防職員定数改正により職員 95 名となる。
平成 7 年 10 月	黒石地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建 2,958.83 m ² ）
11 月	田舎館消防署竣工（鉄骨造平屋建 417.81 m ² ）
平成 9 年 4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
平成 12 年 1 月	田舎館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
4 月	消防本部に通信指令課を置く。
7 月	山形分署に広報車配備
12 月	山形分署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
平成 14 年 1 月	黒石消防署に化学消防ポンプ自動車（化－Ⅱ型）配備
平成 16 年 3 月	田舎館消防署に高規格救急車配備
4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
7 月	田舎館消防署に広報車配備 黒石消防本部に査察車配備
平成 19 年 1 月	山形分署に救急車（2 B 型）配備
4 月	消防職員定数改正により職員 100 名となる。
平成 24 年 3 月	黒石消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－B 型）配備 （C A F S : 圧縮空気泡装置搭載）
10 月	消防本部に連絡車配備
12 月	黒石消防署に救助工作車（Ⅱ型）配備

旧平川市消防本部の沿革

(旧平川市消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 44 年 4 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防本部及び平賀消防署開設 職員 36 名（条例定数 38 名）
10 月	尾上分署開設
昭和 45 年 4 月	消防職員定数改正により職員 41 名となる。
昭和 47 年 4 月	消防職員定数改正により職員 44 名となる。
平成 2 年 2 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建） 消防本部課制を施行する。 平賀消防署と尾上分署を廃止、名称を平賀尾上消防署とする。
平成 4 年 4 月	消防職員定数改正により職員 46 名となる。
平成 5 年 4 月	消防職員定数改正により職員 48 名となる。
平成 6 年 4 月	消防職員定数改正により職員 50 名となる。
平成 7 年 2 月	水槽付消防ポンプ自動車を配備
4 月	消防職員定数改正により職員 54 名となる。
12 月	救助工作車を配備
平成 8 年 4 月	消防職員定数改正により職員 58 名となる。 勤務制度を 2 部制から 3 部制とする。 高規格救急車を配備
平成 9 年 4 月	消防職員定数改正により職員 62 名となる。 消防本部 2 課（総務課、予防課）から 3 課（総務課、予防課、警防課）とする。
10 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防署庁舎増築
平成 10 年 3 月	救急車（2 B 型）配備（J A 共済より寄贈）
4 月	消防職員定数改正により職員 65 名となる。
7 月	「平賀・尾上地区消防等事務組合」に名称を改める。
平成 11 年 4 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。 消防署通信係を消防本部通信指令室とする。
平成 13 年 4 月	消防本部通信指令室を消防署通信指令室とする。 消防職員定数改正により職員 95 名となる。
9 月	化学消防ポンプ自動車を配備
平成 17 年 6 月	指揮車を配備
平成 18 年 1 月	平川市消防本部・平川市消防署発足 広報 2 号車を配備
平成 19 年 1 月	消防ポンプ自動車を配備
平成 20 年 12 月	高規格救急車を配備（日本損害保険協会より寄贈）
平成 22 年 10 月	広報 1 号車を配備

旧板柳町消防本部の沿革

(旧板柳町消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 42 年 4 月	板柳町消防本部及び板柳町消防署開設 職員 16 名
昭和 50 年 12 月	板柳町消防庁舎竣工（鉄骨造 2 階建） 職員 30 名
昭和 52 年 4 月	板柳少年消防クラブ結成
昭和 54 年 11 月	板柳町少年婦人防火委員会発足（後に板柳町幼少年婦人防火委員会に変更） 板柳婦人防火クラブ結成
昭和 60 年 1 月	幼年消防クラブ結成
平成元年 5 月	資機材搬送車配備
平成 2 年 5 月	司令車配備
平成 4 年 8 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）配備（損害保険協会より寄贈）
平成 9 年 12 月	救急車（2 B 型）配備
平成 15 年 2 月	高規格救急車配備
平成 21 年 9 月	消防ポンプ自動車配備（CD-I 型、CAFS：圧縮空気泡装置搭載） 消防職員定数 38 名

消 防 年 報

～平成28年版～

編 集：弘前地区消防事務組合消防本部 警防課

所在地：〒036-8203 青森県弘前市大字本町2番地1

TEL：0172-32-5103

FAX：0172-33-9117